



R7. 10. 27 6年生授業の様子

笑顔のスタート

久しぶりの子供たちとの再会。ドキドキするけれど、お互いのあふれる笑顔に観察実習でつくったつながりを感じます。どんどん子供たちとの仲を深めよう。

10月28日(火)

10月28日(火)

○3週間の全体で統一する目標

「意図」をもった行動

「脱学生」
→ 数回になるため
→ 何故が問いがけ

「脱学生」意図をもって
常に考え考えさせる

① 問いがえし
価値づけるほめ

② 変化の把握
お返しを目標にするまかけ

③ この取組の活用 → 行動を促す

R7. 10. 27

5年生学年会の様子

脱学生

教育実習に向けて「教師としてのスイッチ」を入れる。目的を持って実習に取り組む姿勢が「脱学生」という言葉に表われている。スタートに大切な話合い。



R7. 10. 27 教材研究の様子

試行錯誤

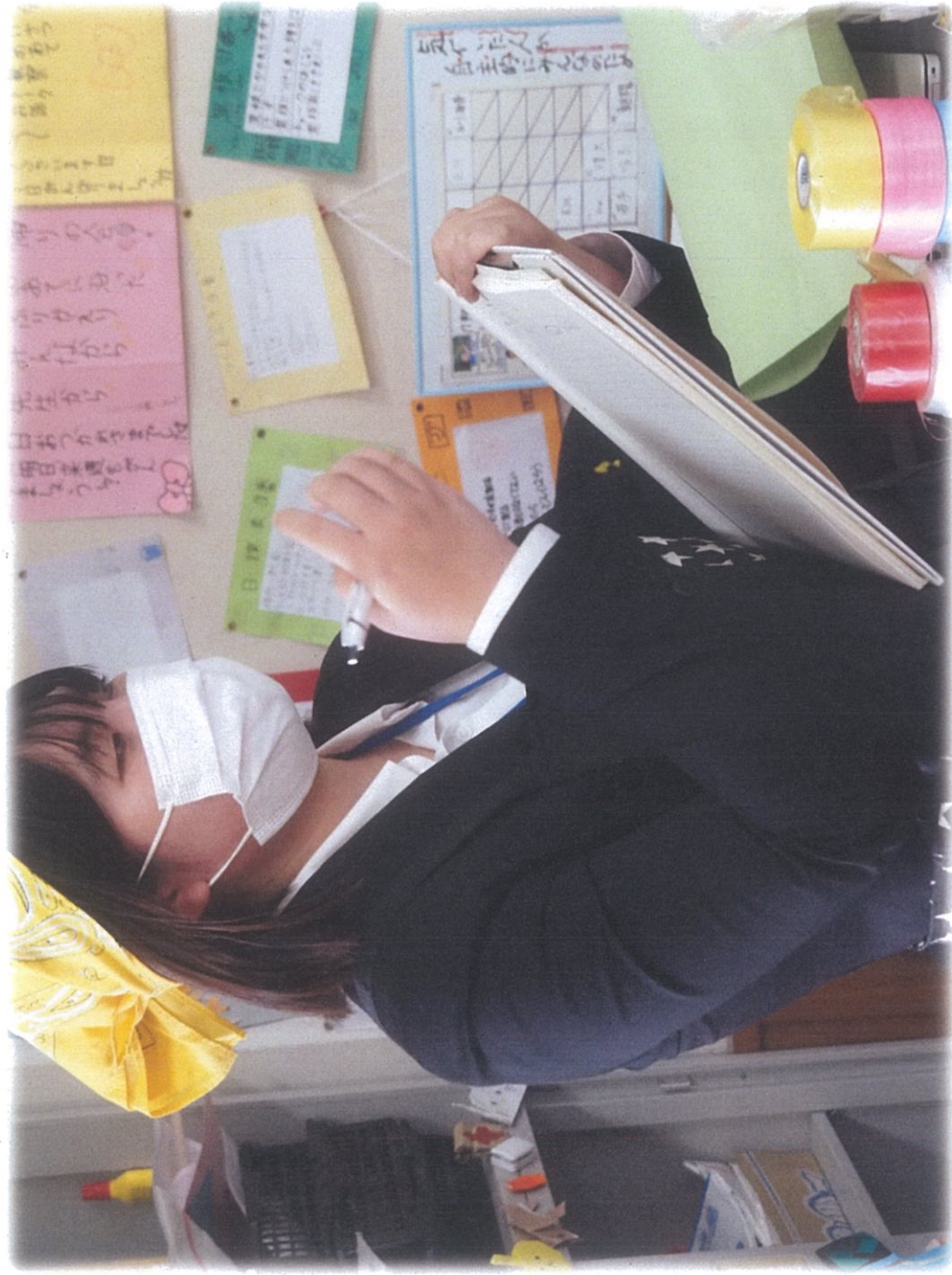
授業に向けて、仲間と議論しながら、指導案を作る。試行錯誤を繰り返しながら、子供たちにとってよりよい授業になるように考える。現場に出ても同じです。



R7. 10. 27 | 1年生授業の様子

さいかい、

教育実習が「再開」しました。子供たちとの「再会」はどうでしたか？教室で迎えてくれた子供たちの笑顔に「最快」を感じていました。



R7. 10. 27 5年生給食の様子

採用後につなぐ

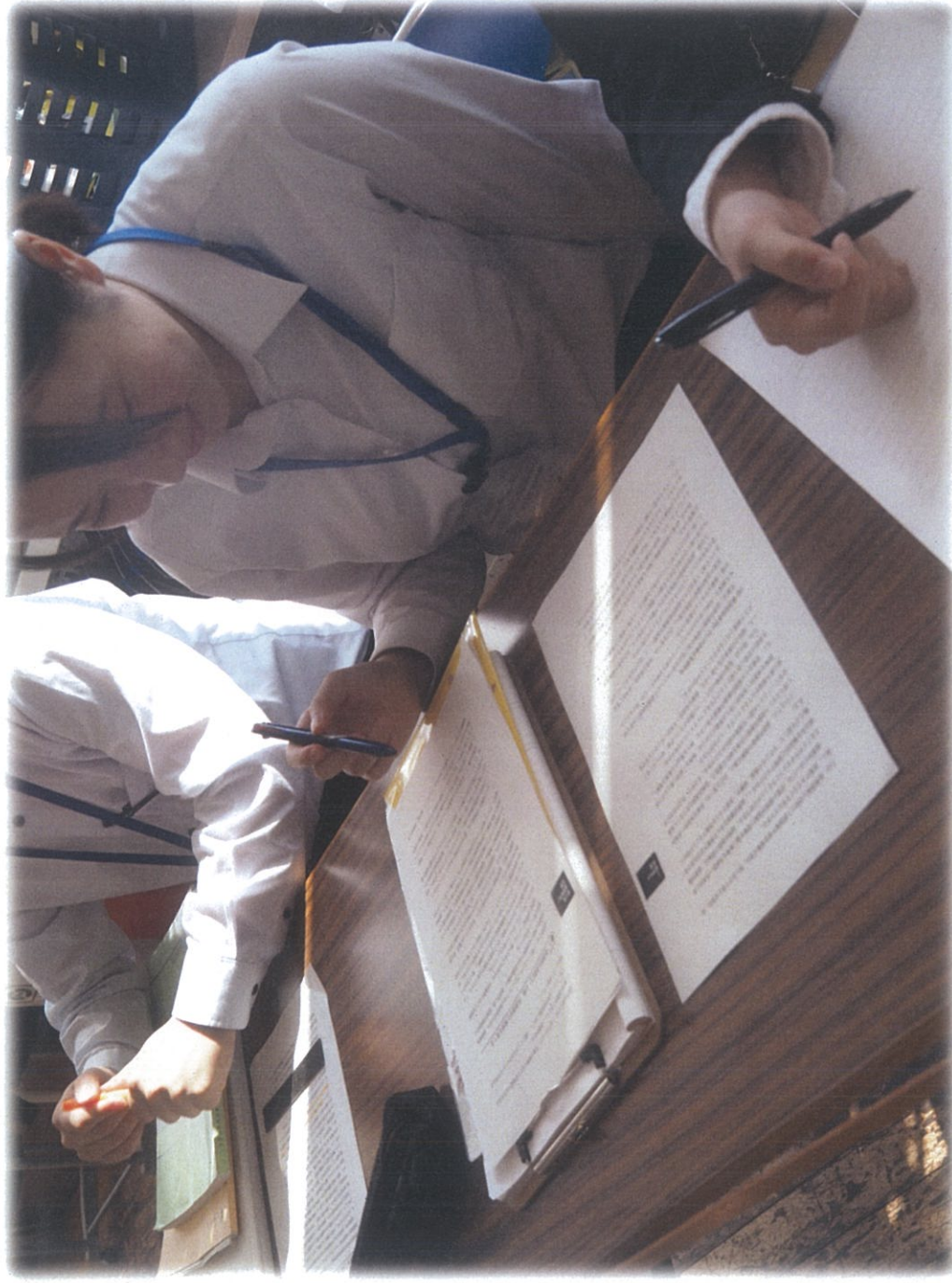
新採用者の困りから学びを得る。給食中にも記録をする。給食指導のルールやマナーについて、意図や意義を知る。採用後の自分の指導につながる学びの姿。



R7. 10. 27 3年生学年会の様子

教師としての責任

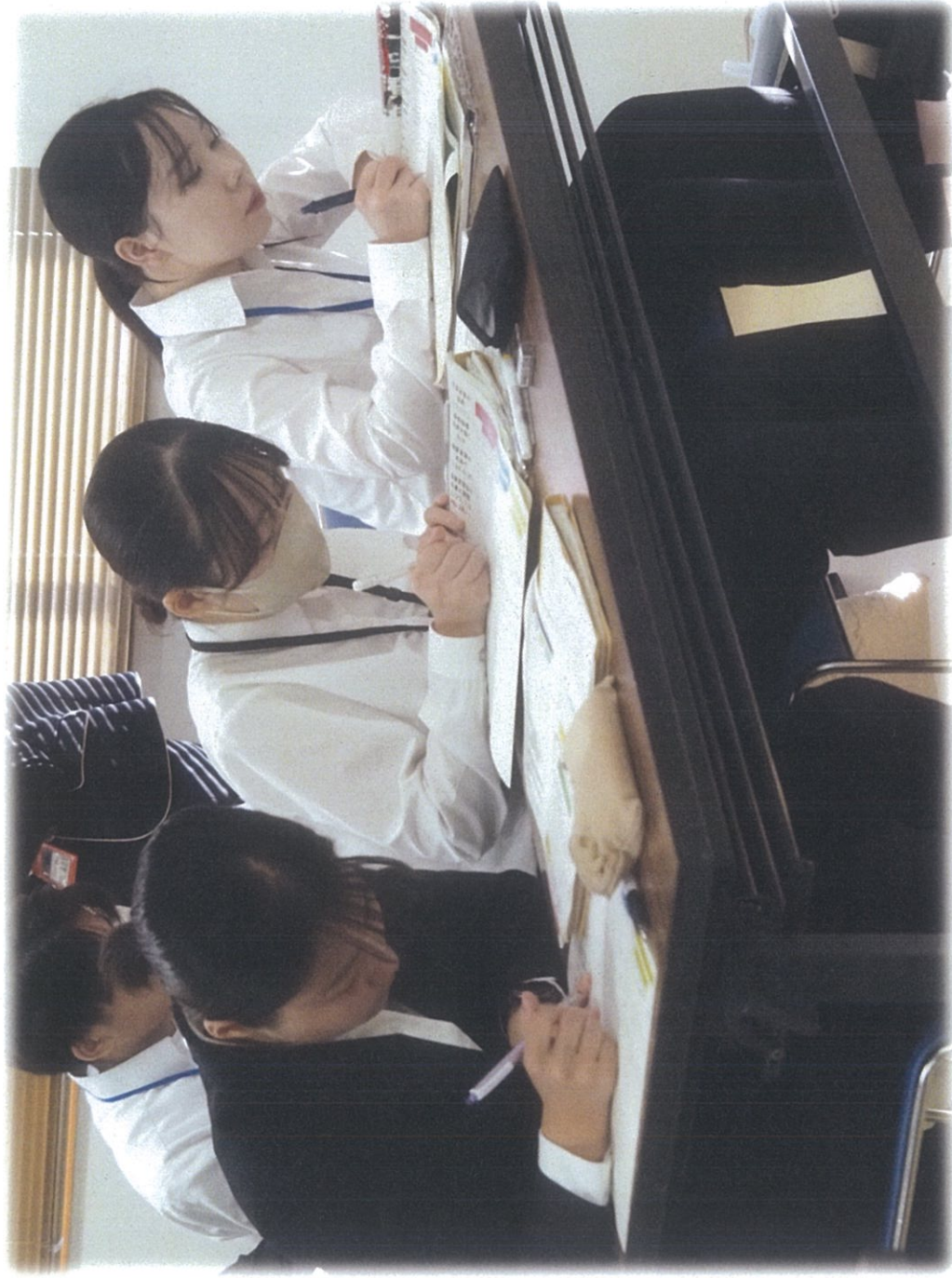
指導すべきことはきちんと指導すること
を学ぶ。指導することは教師としての責任。
指導をすることでできる子供との信頼関係もある。



R7. 10. 27 5年生教材研究

情報活用能力

教材研究の手立てとして「学習指導要領解説」を準備して読み込む。つきたい資質・能力について考えるのに大いに役立つ。情報を手に入れ上手に活用する。



R7.10.27

本実習オリエンテーション

目的意識

「何のための教育実習なのか?」「教育実習で自分は何をするのか?」有意義な3週間にするために、もう一度、自分の目的意識を明確にする。



R7. 10. 27 4年生授業観察

0からのスタートじゃない

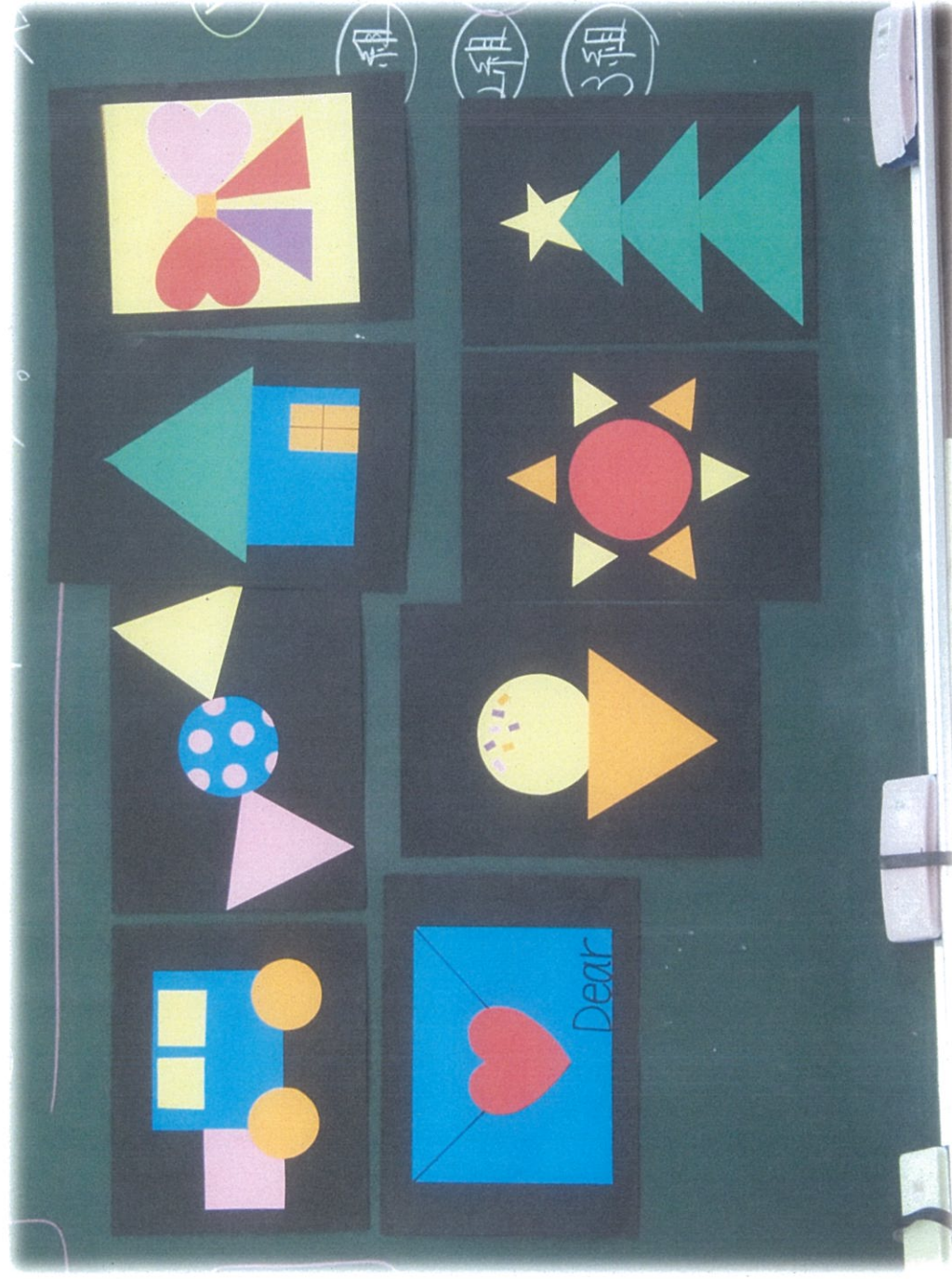
いよいよ本実習がスタート。観察実習や
中学・幼稚園実習の経験を生かす。ゼロか
らのスタートではなく、学びを積み上げ
ていく。アドバンテージを生かす。



R7. 10. 27 廊下の様子

安全配慮

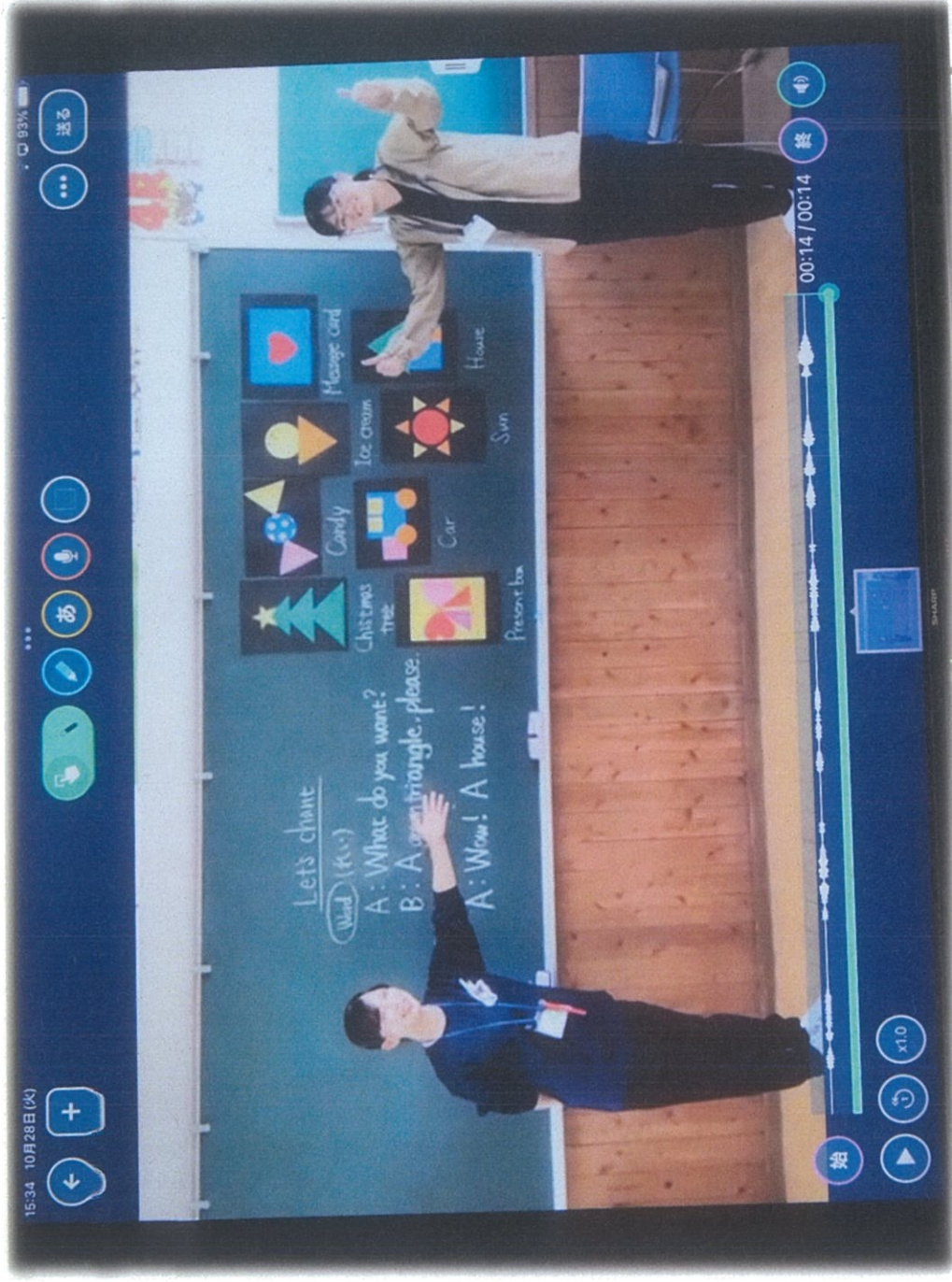
机や椅子の置き方でも子供たちに危険がないよう環境整備に努める。これも教師の仕事の一つ。安全配慮の視点で自分たちにもできることをやってみよう。



R7. 10. 28 3年生学年会の様子

やる気を引き出す教具

外国語活動で使う“Sentence” “Word”
に合わせて教具を作成する。子供が「作っ
てみたい!」「やってみたい!」と思う、
ステキな色鮮やかな教具。



R7. 10. 28 3年生教材研究

アクティブな教材研究

外国語活動の授業に向けて、教材研究で動画を作成する。Small Talkでのやり取りを動画にして学年研で提案する。イメージがつかみやすい工夫したプレゼン。



R7. 10. 28

授業観察の様子

学びの姿勢

どんどん子供の側に行って、様子を見取り記録する。積極的に近くで子供の目線に立って考える。多くのことを子供から学ぼうとする意欲的な姿勢。



R7. 10. 28 2年生校外学習の様子

安全確保

校外学習で気を付けないといけないことは児童の安全。引率の際には、教師はどの位置に付けばいいのか、どこを歩けばいいのかを考えることが大切です。



R7. 10. 28 6年生学年会の様子

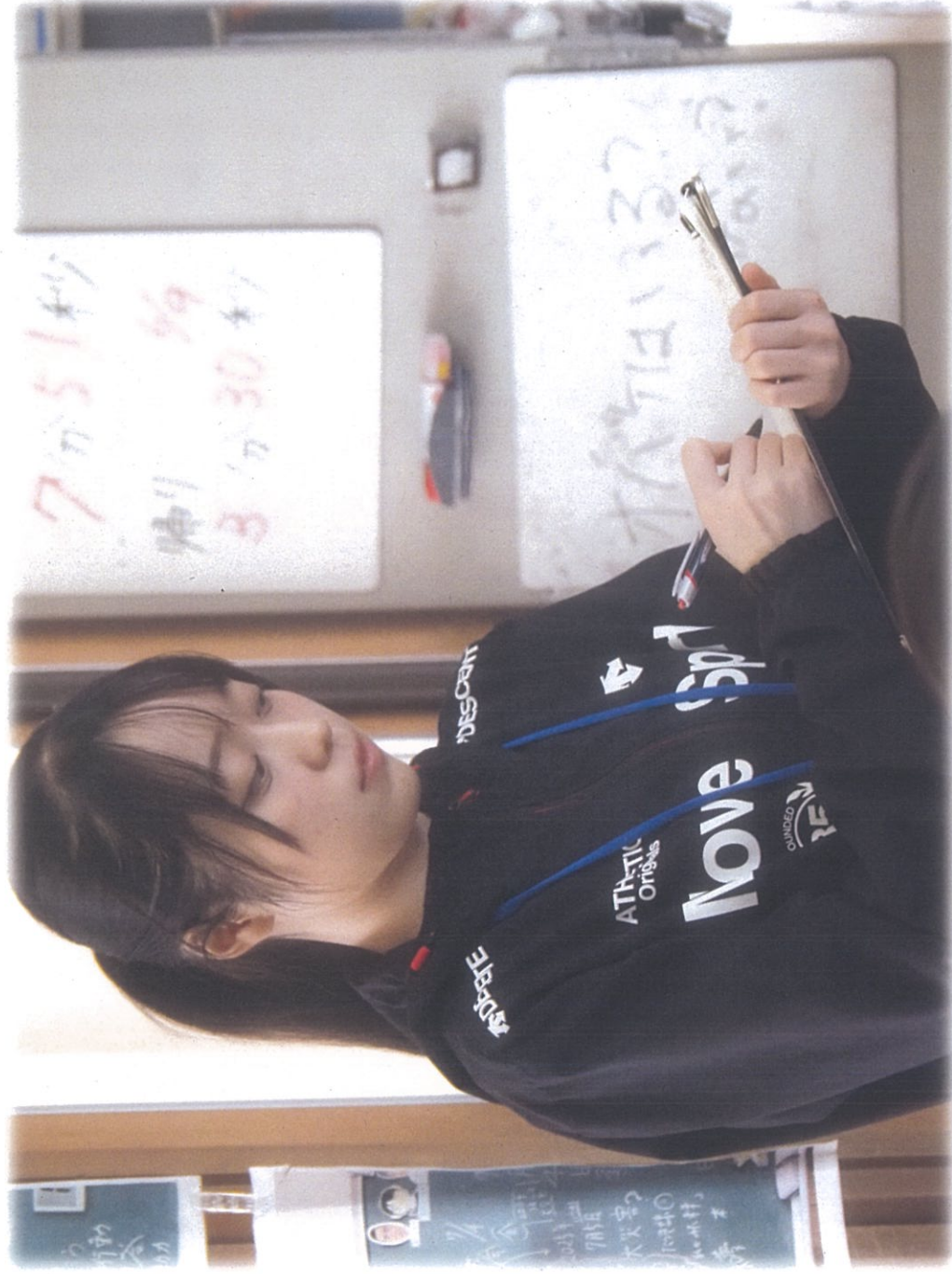
出すべき時に声を出す

今日の学びや課題について、しっかりと自分の言葉で語る。学年会の中で共有すること、自分の学びが他の仲間の学びにもつながる。



近距離

全員が授業づくりに参加し、意見しやすくするように、貞兼さんの一言で近くに集まって顔を見合わせながら、話し合う形になりました。
状況や場面を考えての、**叱咤の最適なアイデア、行動力、素敵です！**



R7. 10. 28 6年生授業の様子

見取りの達人

授業を前から見取る。前から授業を見ると発言だけでなく、全ての子供たちの表情や様子が分かる。1人1人の子供を大切にした見取りの達人の姿。



R7. 10. 28 6年生授業の様子

姿で“見せる指導

教室の床に落ちていた雑巾。気が付いたらそのままにせず、片付ける。落ちているものを放っておかない姿は、子供のいいお手本。姿で“見せる指導”。



R7. 10. 28 キラキラ掃除

アグレッシブな見取り

子供の様子を動かずに一定の場所から見
るのではなく、場所を変えながら、目線の
高さを変えながら、子供の姿を見取り、記
録をする。アグレッシブさを心がける。



R7. 10. 28

朝の様子

学年学級は関係ない

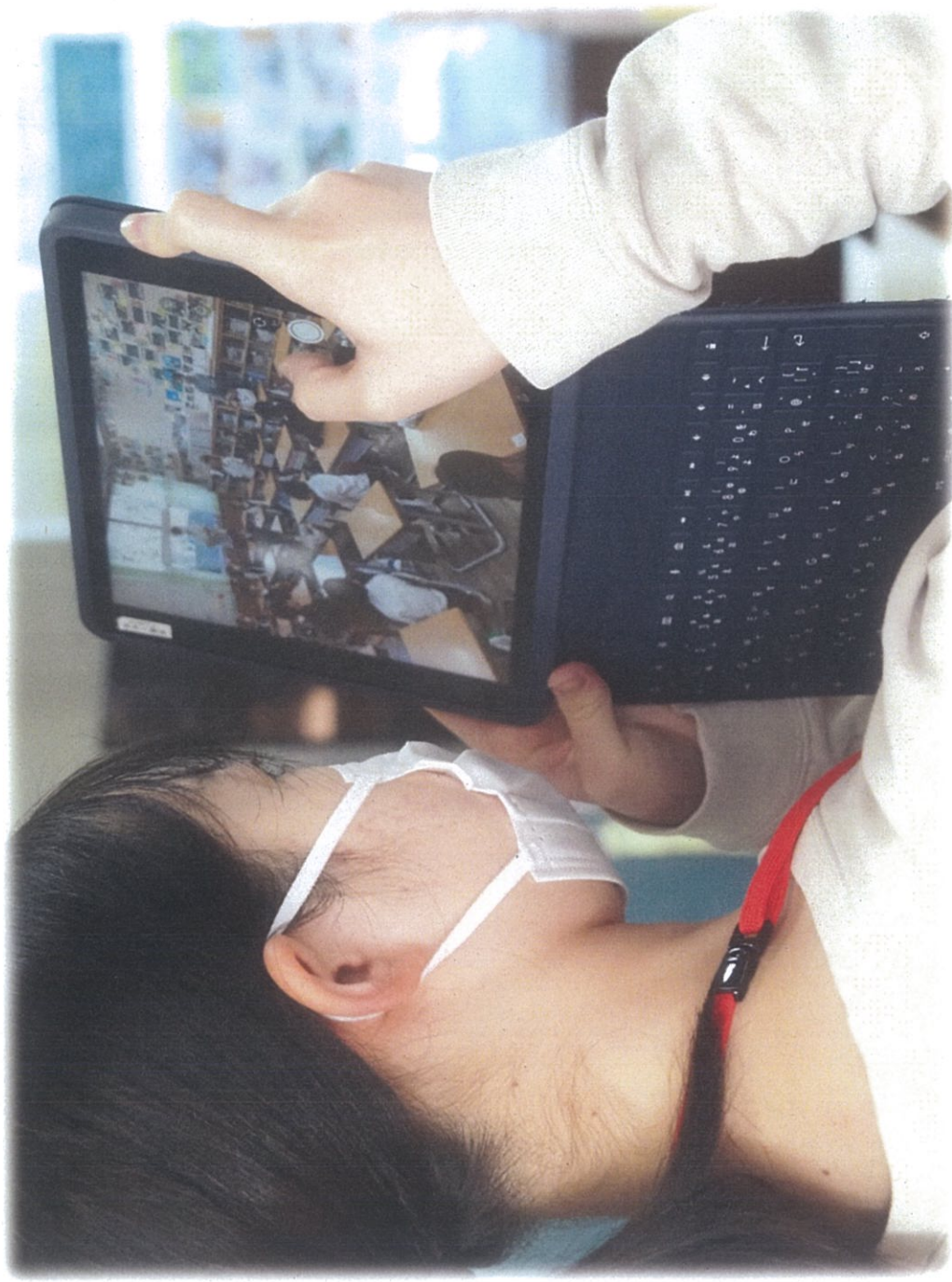
すれ違う子供たち！人！人とあいさつを
交わす。学年学級関係なく、誰にでも笑顔
で声をかける様子からは、子供を大事に
しようとする思いが伝わってきます。



R7. 10. 28 3年生朝の様子

コミュニケーションチャンス

朝の時間、子供たちが宿題や連絡帳を提出にcomingことを活用して、話しかける。全員の子供と話せる児童理解のチャンス。積極的にコミュニケーションを！



R7. 10. 28 2年生朝の会の様子

シャッターチャンス

フリートークの子供たちのよさやがんばりを画像で記録。後の振り返りで、画像を見せながら、具体的な姿で価値づける。シャッターチャンスを逃さない。



R7. 10. 28 6年生授業の様子

学級担任のマインド

担任が子供に話している言葉一つ一つに注目する。「何を大切にしているのか？何を伝えたいのか？何を考えて欲しいのか？」担任のマインドが表れている。



R7. 10. 28 キラキラ掃除の様子

課題も大切

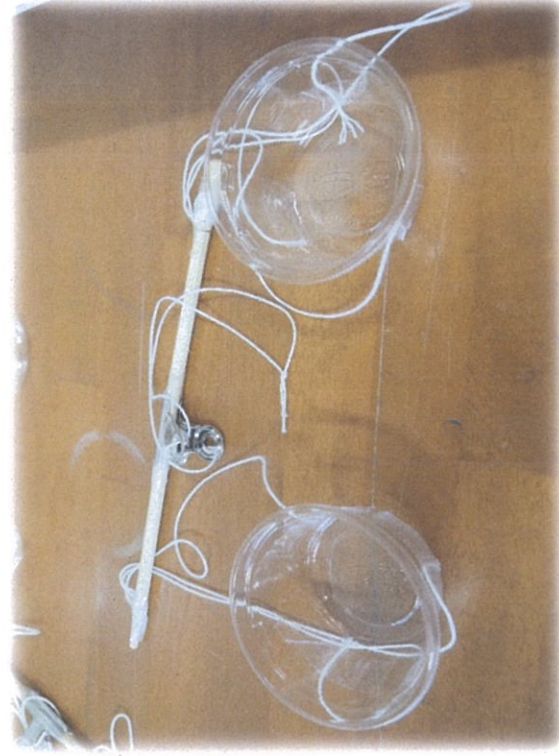
キラキラ掃除で子供の姿を見取ったことを振り返りで価値付ける。よさやがんばりと共に課題も伝える。課題も子供たちの明日への学びのステップです。



R7. 10. 29 昼休みの様子

無邪気に遊ぶ

休み時間、運動場で子供と思いっきり走り回る。元気いっぱい子供と一緒に遊ぶことで、子供との関係性が知らないうちにできているものです。



R7. 10. 29 3年生教材研究の様子

授業準備

子供がよりよく学べるように、教具を考え準備をする。ていねいで工夫された授業準備。実はこの準備の段階からもうすでに授業は始まっているのです。



R7. 10. 29

1年生帰りの会の様子

帰りの笑顔は明日の活力

学校での一日の最後をしめくくる帰りの会。いろんなことがあったかもしれないけれど、みんな笑顔で終われることは明日への活力。まずは教師から。

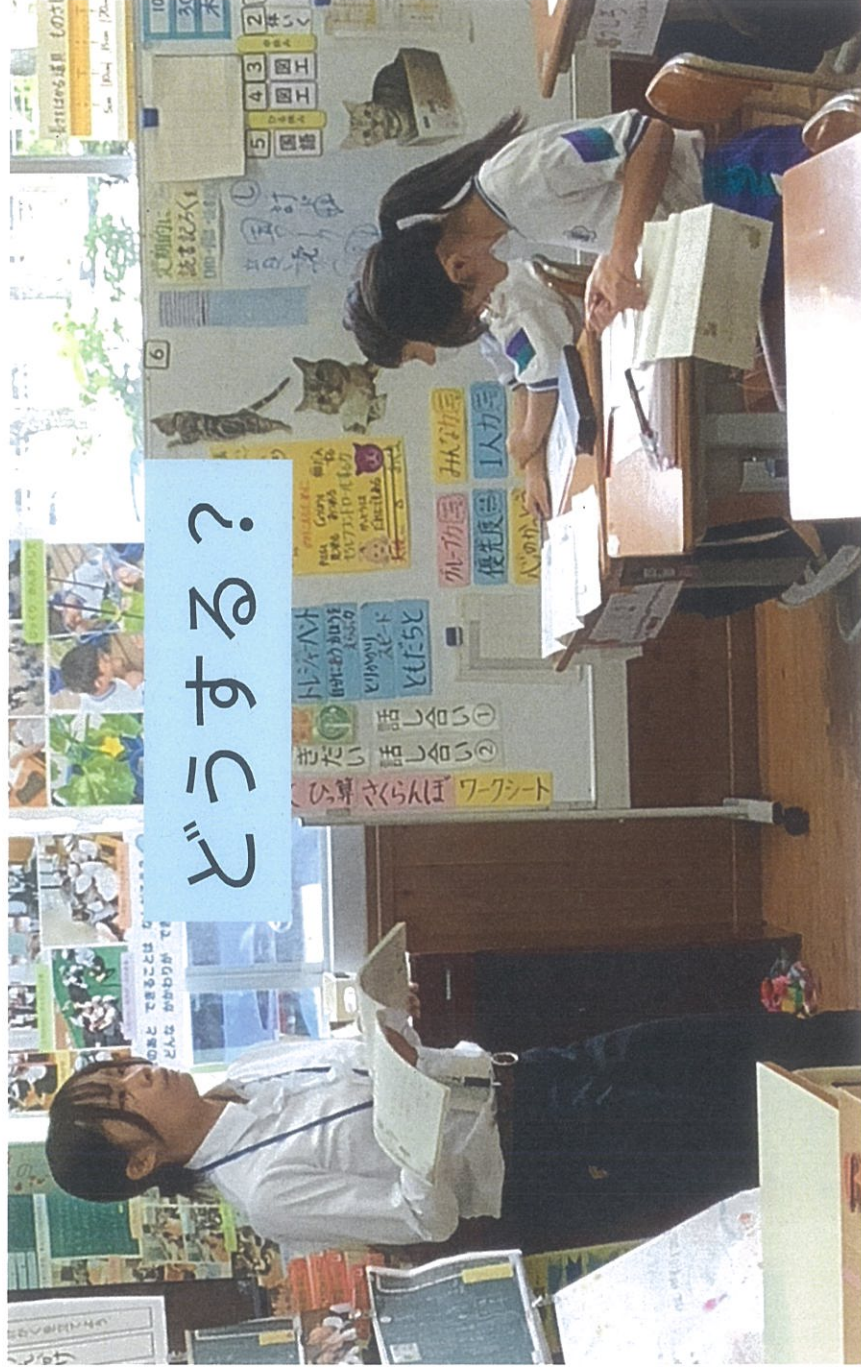


負けてられないぞ3年生！

この写真は、10月29日の教職入門ゼミに来た1年生（C班）の皆さんです。

梅木先生恒例の「今どんな気持ちですか？」の質問1発目で、これだけの人が挙手しました。やる気のある後輩がいることは、自分の成長に繋がるため、とても幸せなことです。

ぜひ、3年生のプライドをもって、1年生に負けないように、ガンガン行動に移しましょう！



決めるのは子供

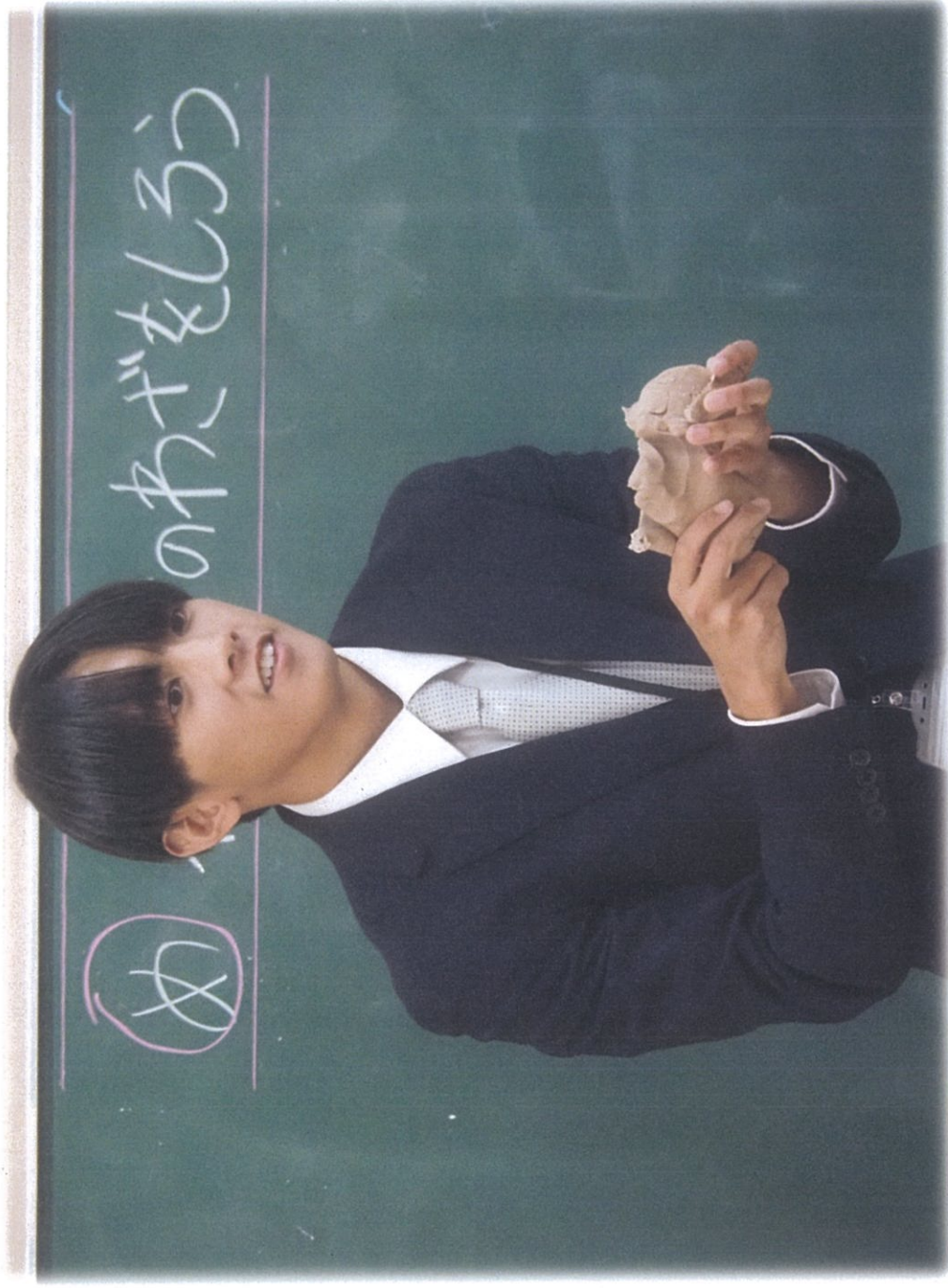
「どうする?」「それでいい?」
と、先生が簡単に決めてしまわ
ず、子供達に決定を委ねること
で、**子供中心の授業**づくりができ
ていました。
何気ない一言一言が大切です。



R7. 10. 29 3年生グローバルタイムの様

うなずきが生む安心感

子供の話を聴きながら、うなずく。先生のうなずきが、話をちゃんと聴いてくれているという子供の安心感になり、また話したいという意欲になります。



R7. 10. 29 1年生授業の様子

優先するのは子供の言葉

子供の考えから出た言葉を大切にする。
自分が指導案上で想定していた言葉と変わっても、目的や意味が同じであれば子供の生きた言葉の方を優先していく。



R7. 10. 29 4年生授業の様子

記録の量は学びの量

授業で何を見取るか？教師の言動だけでなく、児童の姿を見取る。発言、活動、思考、ノート、表情、仕草など。記録に残したことが自分の授業づくりに役立つ。



R7. 10. 29

登校の様子

朝から一緒

朝、出会った子供たちと一緒に登校する。
楽しく話しながら昇降口に入っていく様
子、つないだ手に子供との心の距離が近
付いていることを感じる。



R7. 10. 29 4年生授業の様子

対話のキャッチボール

子供の発言に「どんな時に?」「みんななど
う思う?」と問い返していく。子供との対
話をつなげる、広げる、深める。「問い返
し」で対話のキャッチボールをしよう。



R7. 10. 30 | 1年生学年会の様子

授業づくりを楽しむ

教材研究をして、授業をつくっていく。どうすれば子供たちにとってよりよい学習になるのか考えるのは難しい。けれど、その中に楽しさを見出す。



R7. 10. 30 6年生授業の様子

参観⇒参観

参観と観察の違い。①前から子供を見取る ②子供の側で見取る ③子供の姿（考え・言動）を記録に残す この3つができてこそその授業観察。



R7. 10. 30 2年生授業の様子

地道な努力

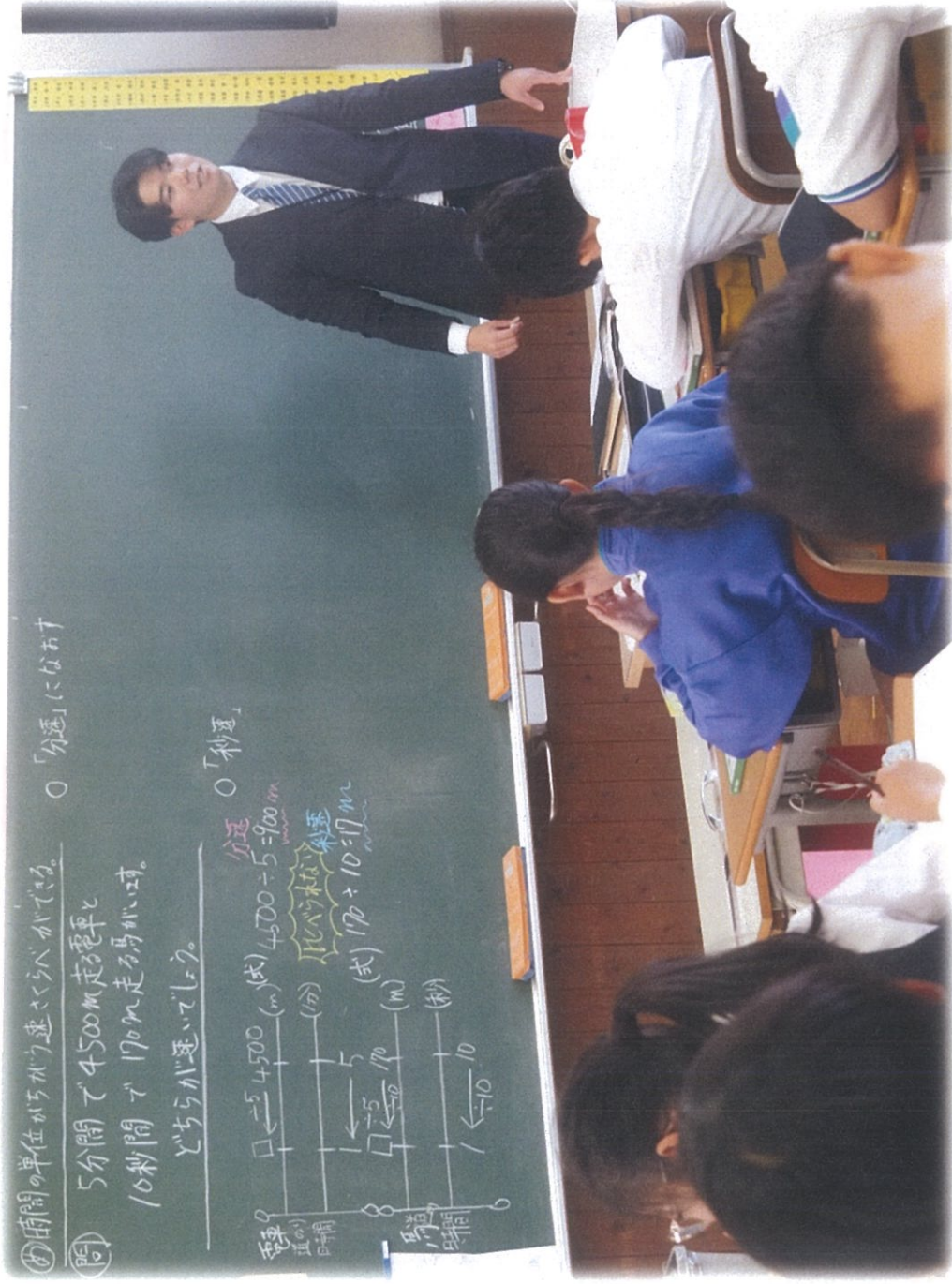
子供の側に寄り添って、子供の学びを見取る。どんな視点で何を見取っていくのか？毎日の地道な見取りの努力が、自分の授業力の向上につながる。



R7. 10. 30 1年生学年会の様子

問題提起

学年研の図工の授業づくりについて、子供
の姿から感じた疑問を学年部の仲間に
語る。学習指導要領の内容と関連づけな
がら、みんなで検討していく。



R7. 10. 30 5年生授業の様子

困りは考える必要感

分速と秒速と違うので、どちらが速いか
比べられないという子供の困りから、ど
うすれば比べられるかを考える。困りは
子供の思考の必要感を生むポイント。



R7. 10. 30 5年生教材研究の様

言式す

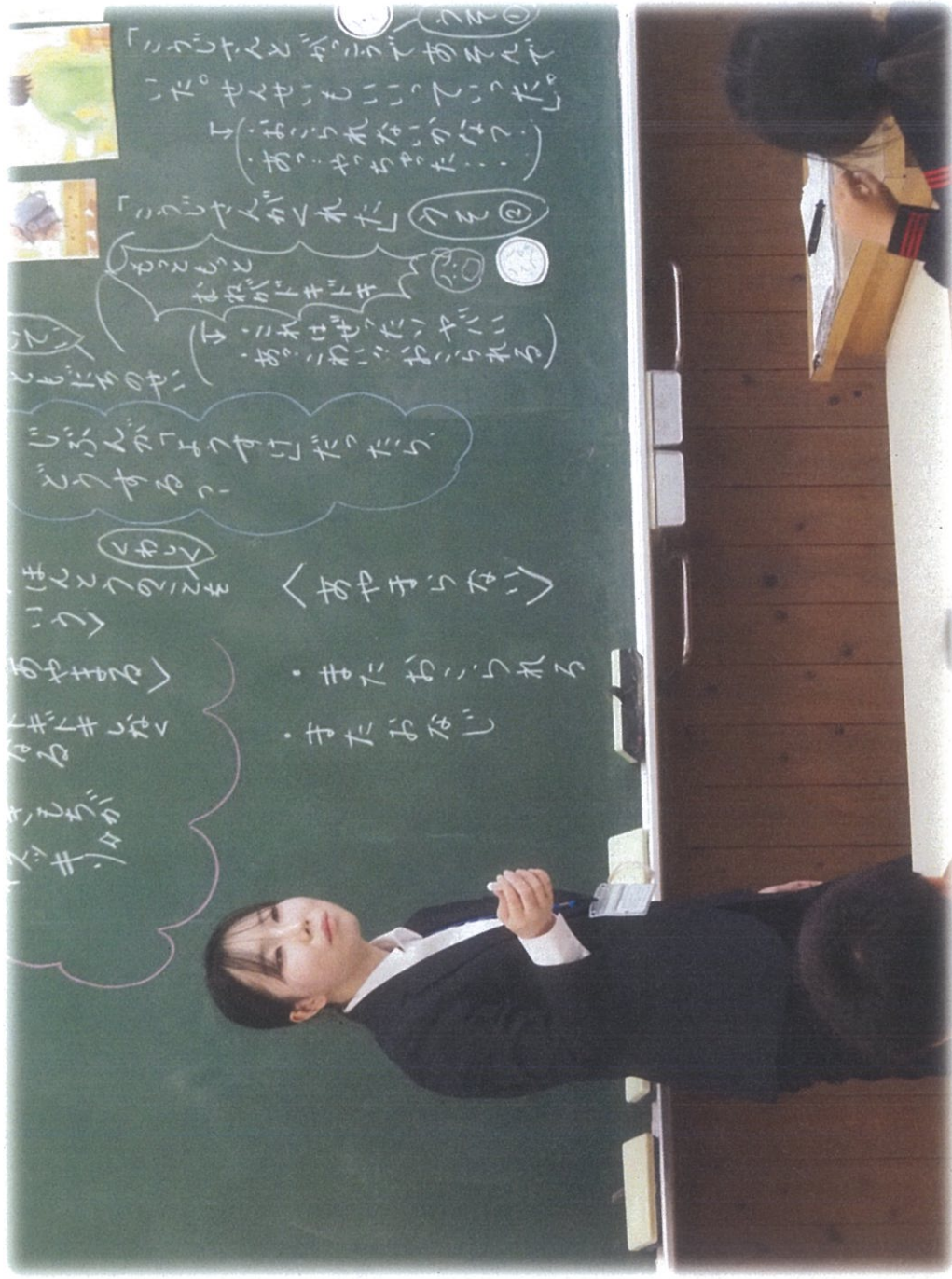
授業がどうなるかを確認するために、シミュレーションをしてみる。何事も事前にやってみることで、流れや時間配分、発問、板書の仕方を掴むことができます。



R7. 10. 30 2年生授業の様子

一斉に子供の側に

子供がワークシートに自分の考えを書き
始めたら、一斉に子供たちの側に行き、書
かれている内容を次々と記録。子供の思
考を積極的に見取ろうとする姿が見事。



R7. 10. 30 | 1年生授業の様子

心の弱さによりそう

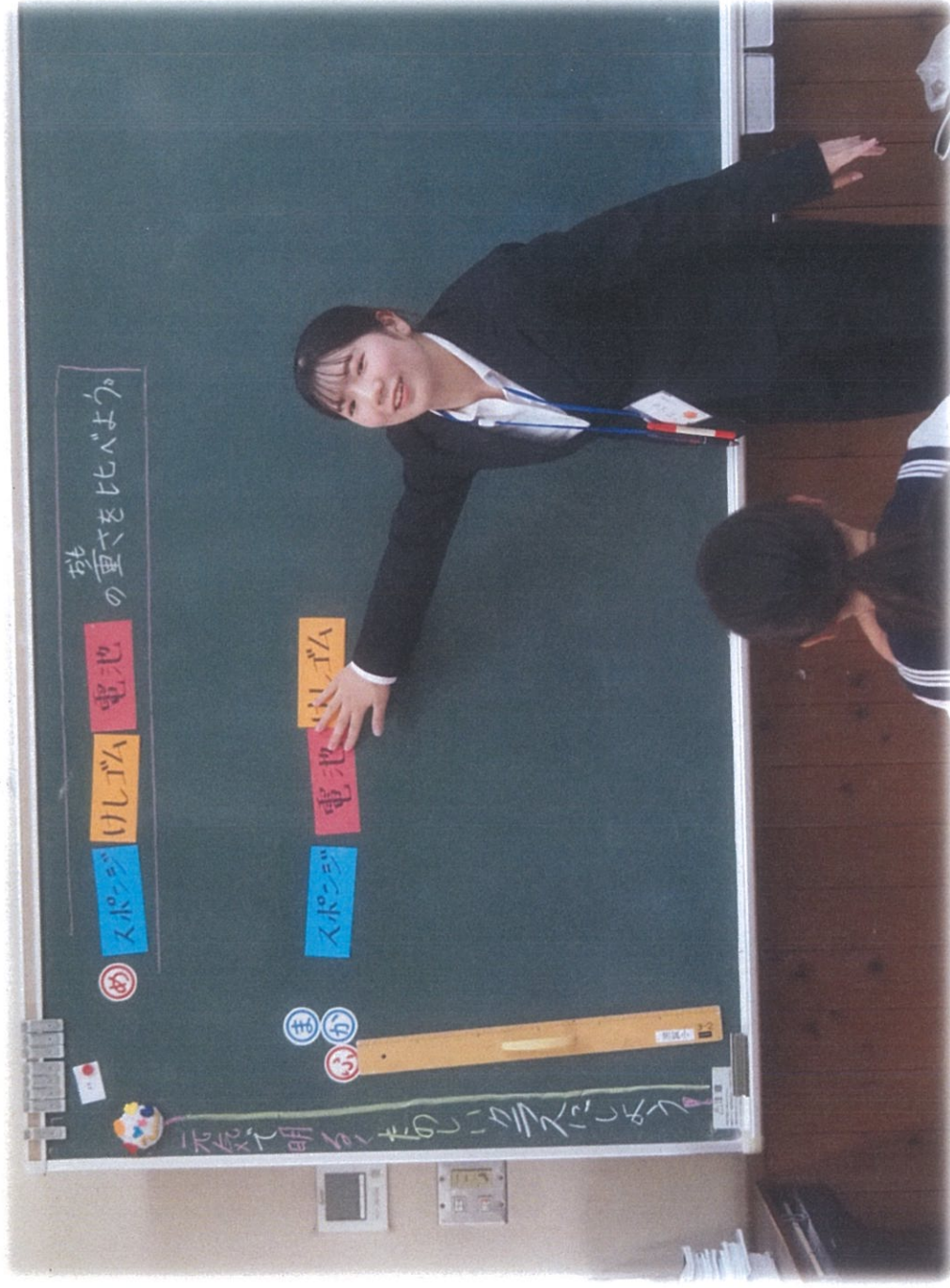
うそをついてしまった登場人物の気持ち
を考える。誰もがいついつしてしまう心
の弱さに着目することは、自分のこれま
での言動を振り返るきっかけとなる。



R7. 10. 30 4年生帰りの会の様子

今日のエピソード

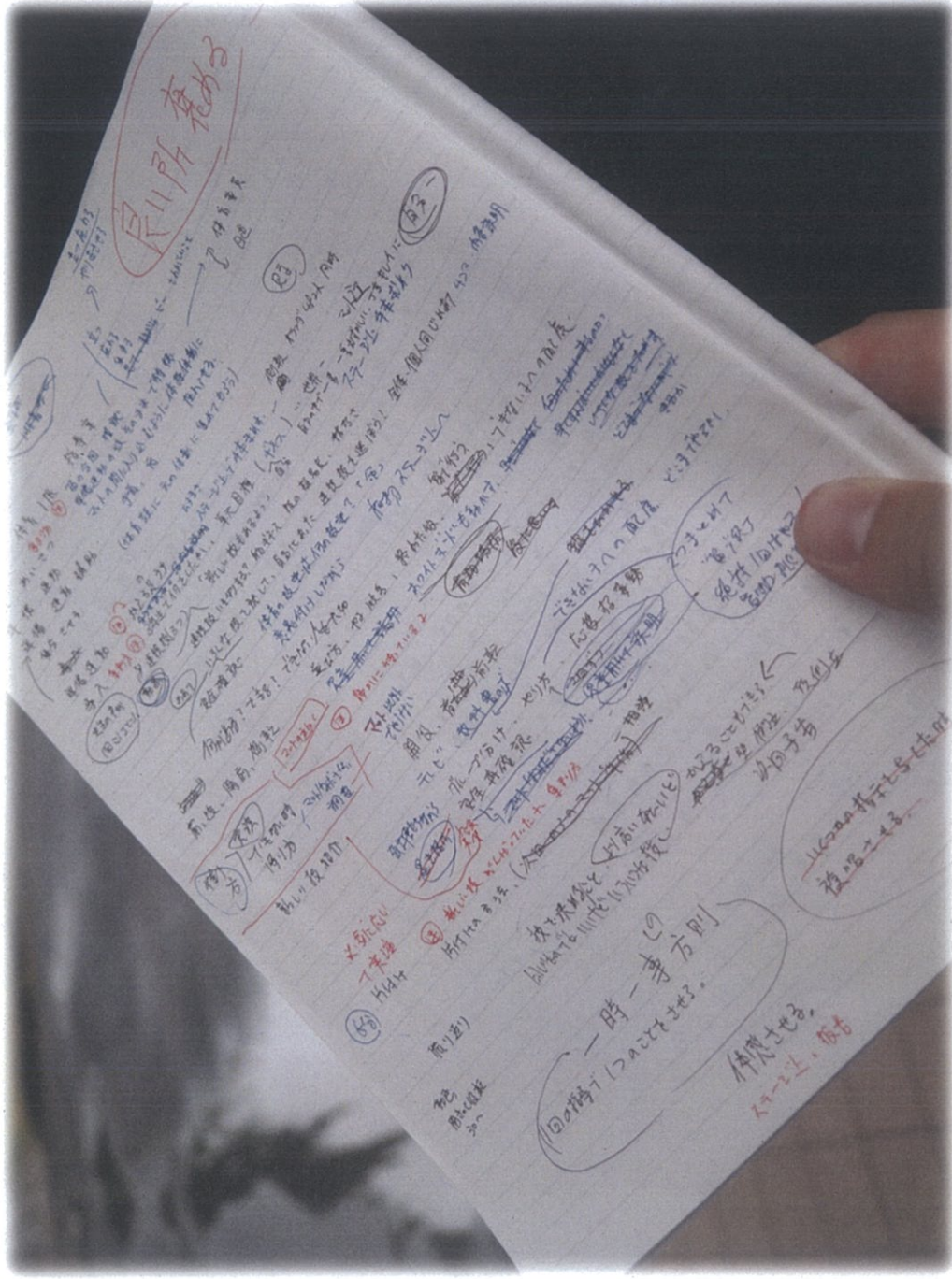
帰りの会で今日の子供たちとのエピソードを語る。子供たちとの1日の関わりの中で自分がうれしかたことをメッセージで伝える。



R7. 10. 30 3年生授業の様子

子供の予想を覆す

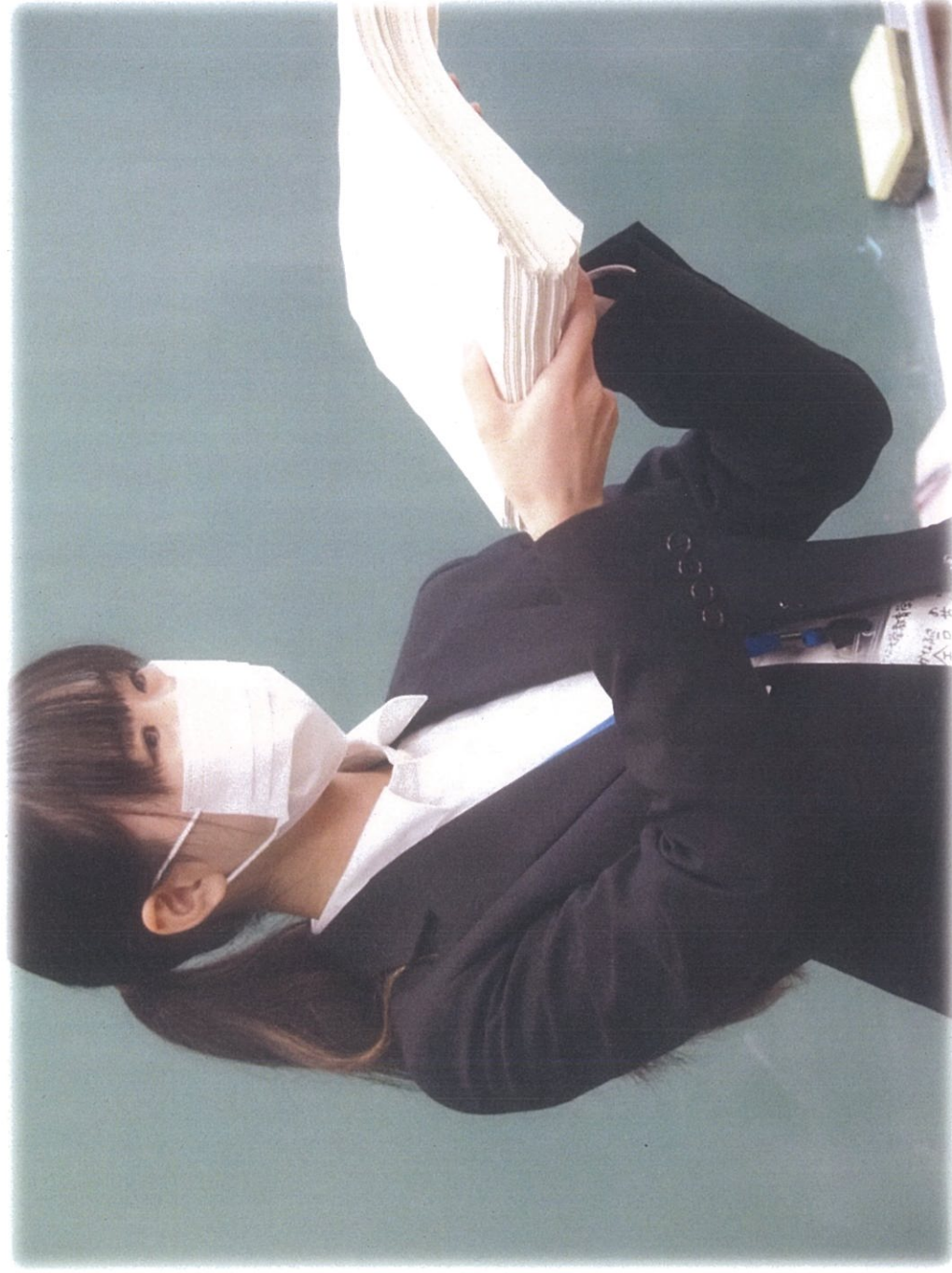
3つの中で一番重いのは電池という子供の予想。実際に比較すると、一番重いのは消しゴム。予想と違うことで、量ることの必要感が生まれ、次の学習につながる。



R7. 10. 31 4年生教材研究の様子

細案は努力の跡

授業に向けて、ノートに細案を作る。授業をするために大切なことや流れを書いて確認している姿に努力の跡を感じる。学級経営を意識した視点も入っている。



R7. 10. 31 6年生授業の様子

具体物を提示する

子供たちがイメージをつかむことができ
るようにするには、具体物を提示する。角
柱の体積が積み重なってできていること
を紙の束で見せる。



R7. 10. 31 2年生従業の様子

共感から始まる自分事

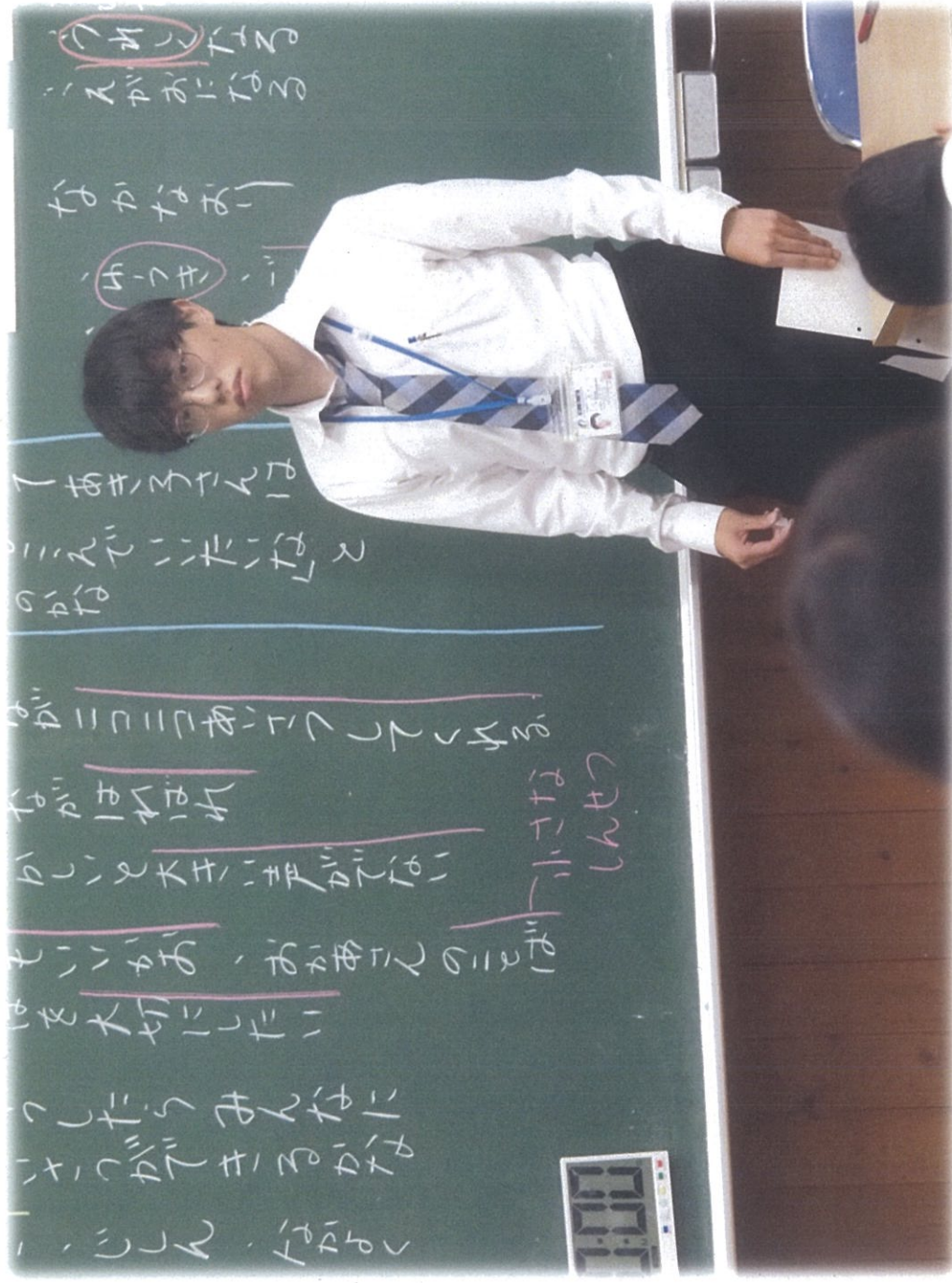
道徳の授業、教材の登場人物の言動や友達
達の思いに寄り添い共感する。「分かる
〜。」という思いで次々と発言をする。自
分事として、考えている一つの証。



R7. 10. 31 4年生授業の様子

アンテナを備える

担当教諭が学級経営につながる児童の前
で話す内容に注目する。自分が児童の前
で話す時に生かす。気が付くアンテナ、発
信するアンテナのどちらも備える。



く 極 く 極

結果だけでなく理由を考える。次の授業改善に大事なのは、「なぜうまくいったのか？ いかなかったのか？」を振り返ってみる。前へ前へ進んでいこう！



R7. 10. 31 6年生授業の様子

教科の特性を意識

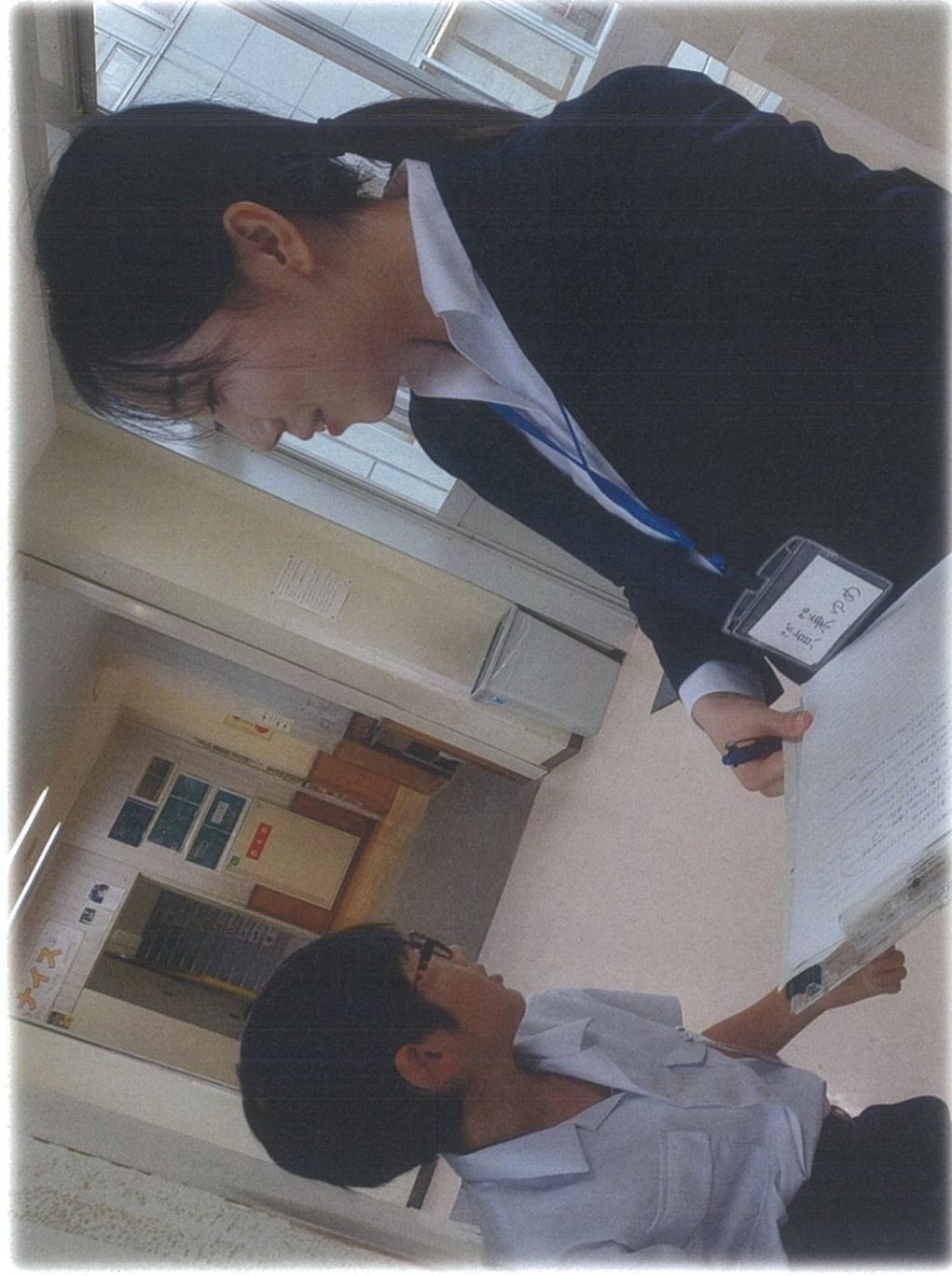
国語の授業で、国語辞典を活用して分からない言葉の意味を調べるようにする。国語の授業だからこそ、言葉にこだわっていく。教科の特性を意識した手立て。



R7. 10. 31 キラキラ掃除前の様子

子供を待つ

掃除の時間前に担当場所に行き、子供たちが来るのを待つ。子供たちより早く来ること、取りかかりの様子を見たり声かけをしたりできる。見取りへの意欲。



R7. 10. 31 昼休みの様子

日常対話

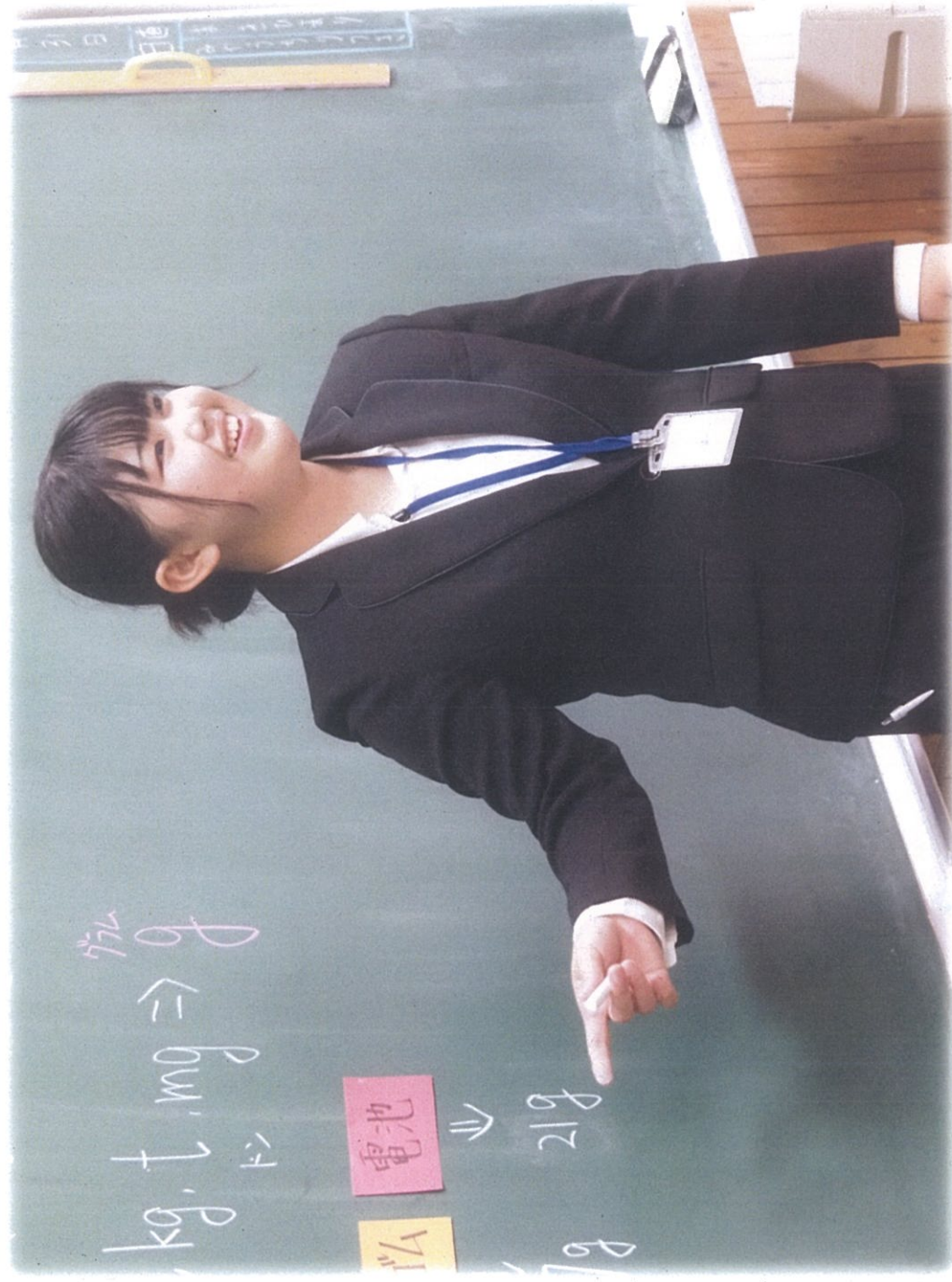
授業で大切になる子供との対話。授業だけではやろうと思ってもうまくはいきません。日頃から、子供との対話を楽しむことが、授業での対話を自然と生み出します。



R7. 10. 31 4年生授業の様子

片付けまでが授業

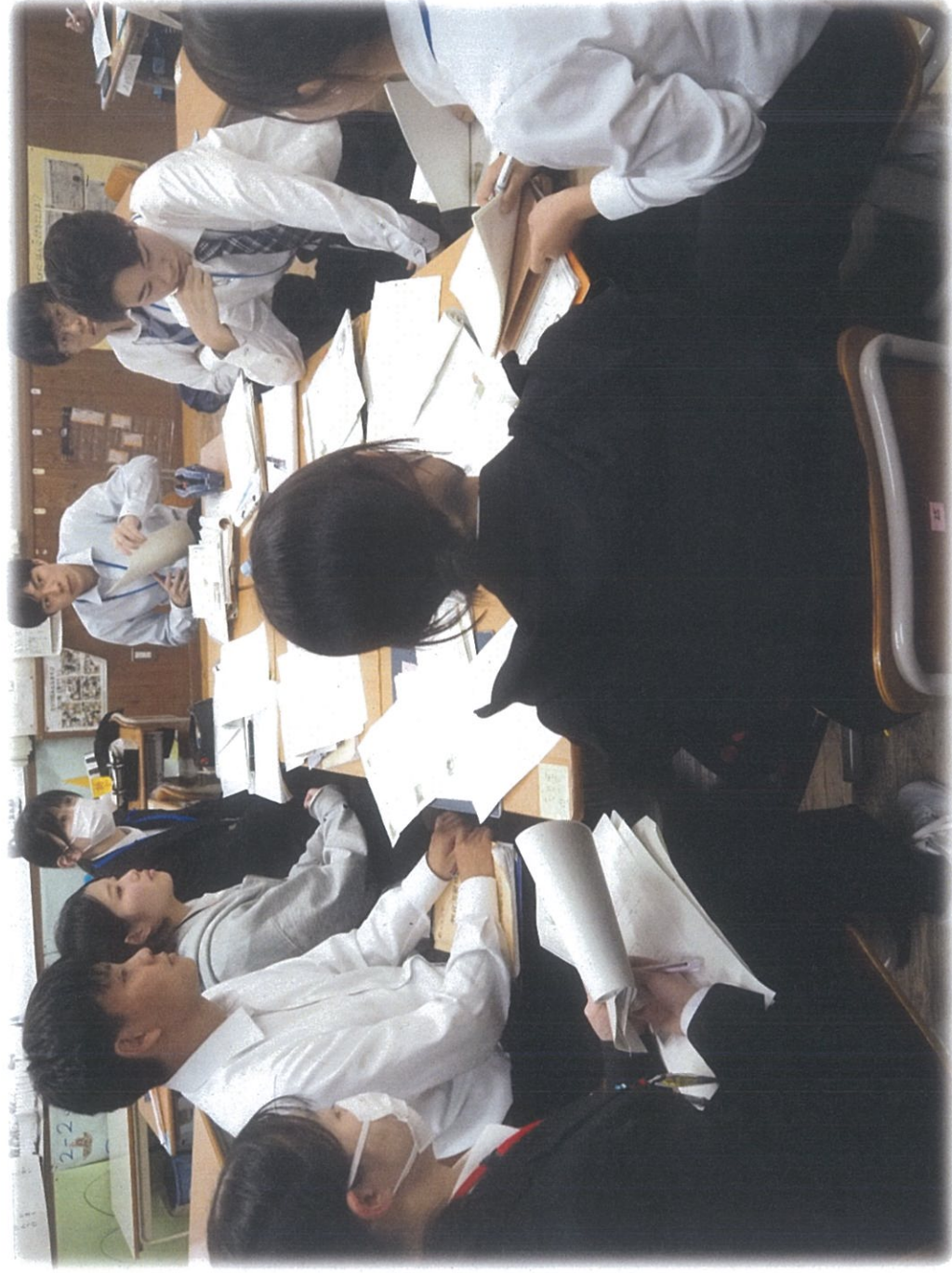
体育や図工では、最後の使った道具の片付けまでが授業。授業計画の中に、片付けの仕方もイメージしておくことが必要。次に使う人のことも考えて見かじめを。



R7. 10. 31 3年生授業の様子

ユーモアをプラス

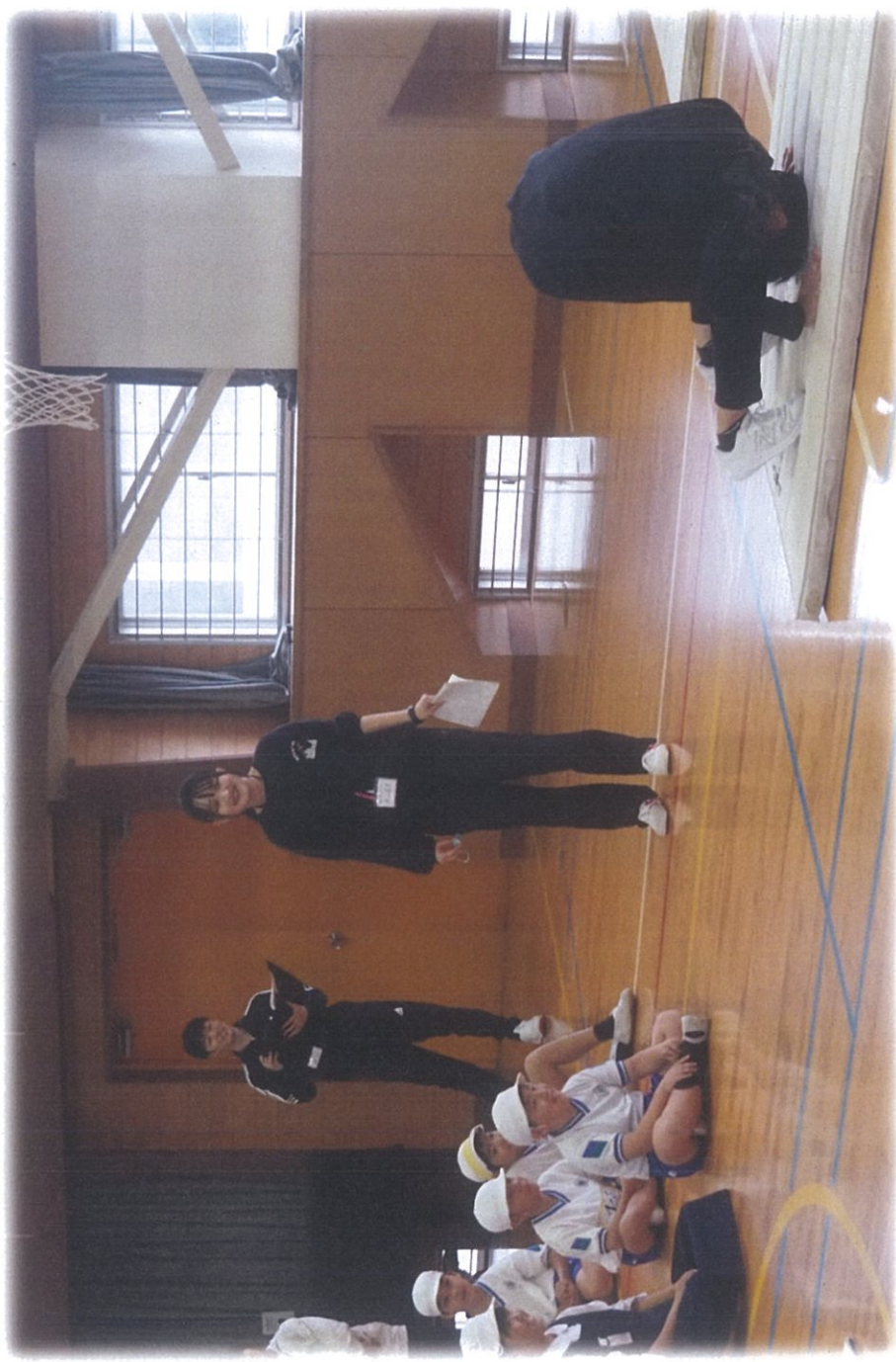
授業中、子供とのやり取りを楽しむ。教師のユーモアのある発言は場を和ませ、子供たちのやる気のアップにもつながる。授業の+αのエッセンス。



R7. 10. 31 2年生学年会の様子

山に登るが如し

授業づくりは、山に登るようなもの。簡単にはいかない。でも登っていかないと見えない景色もある。登る過程を大切に。がんばれば大きな達成感が待っている。



R7. 10. 31 4年生授業の様子

憧れを持つように

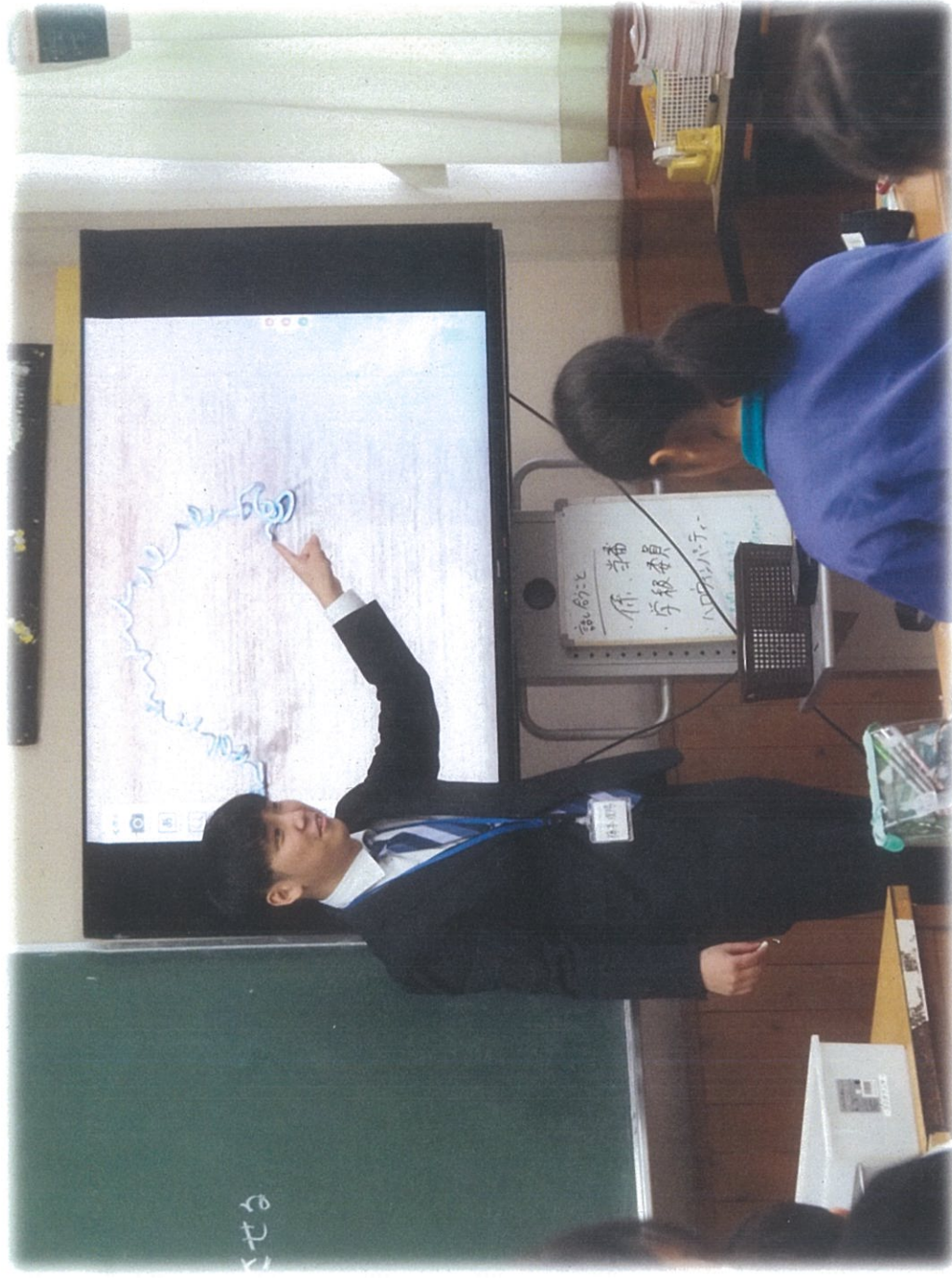
授業の導入では、子供たちが「やってみたい!」「できるようになりたい!」という思いや願いを持つようにすることが大切。モデルを見せるのも大事な手立て。



R7. 10. 31 | 1年生授業の様子

観察力を磨く

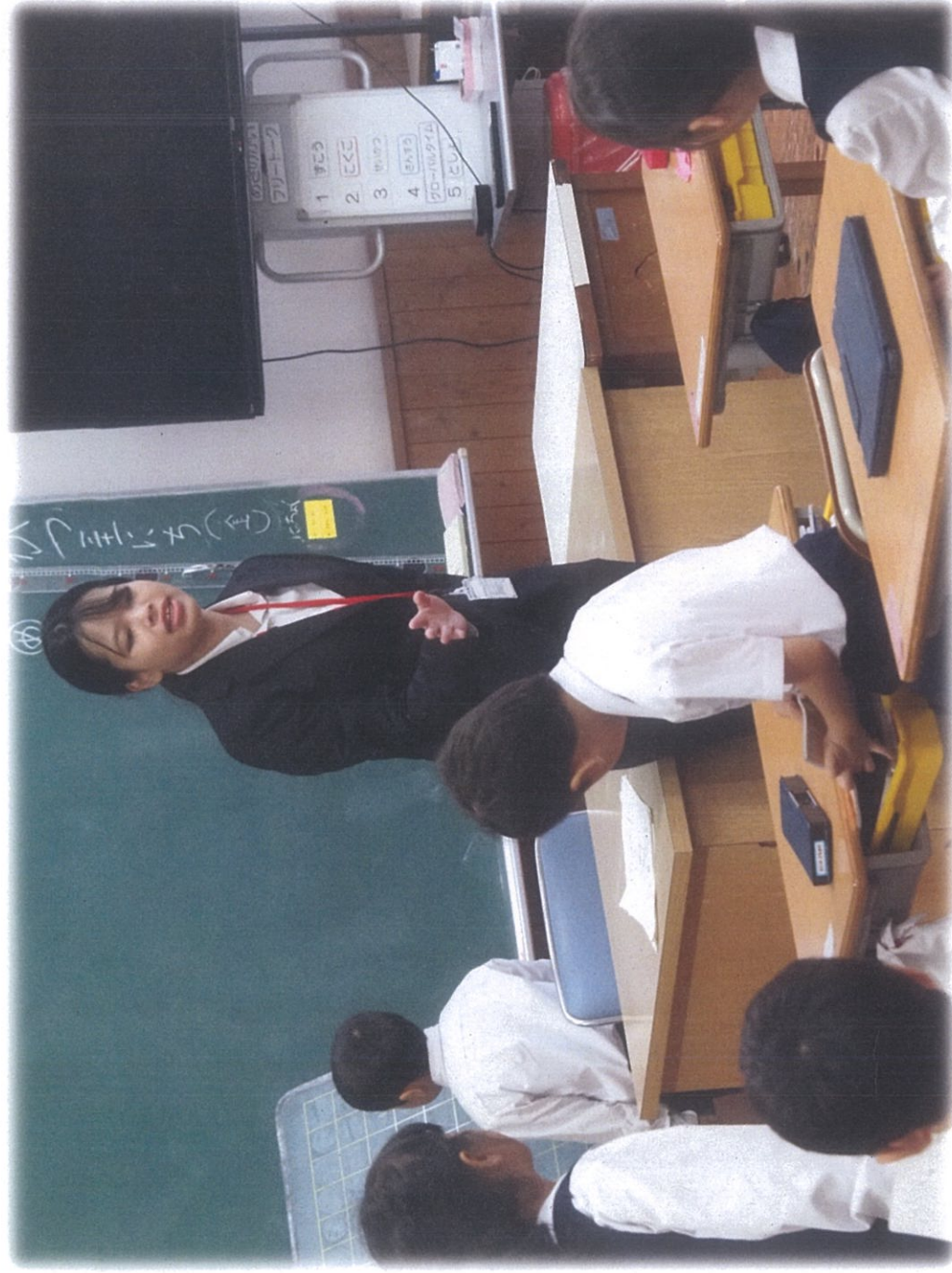
児童の間に入って積極的に記録をとって
いく。放課後の学年会で、記録を見返して
みると、授業中の児童の言動から成果や
課題がだんだん分かってくる。



R7. 10. 31 5年生授業の様子

機動能力

ICT機器のよさは、子供のノートや作品を動いて撮影し、画像をすぐに子供たちにフィードバックできること。授業で積極的に活用をしていきましょう。



R7. 10. 31

1年生 5分休みの様子

担任としての責任感

一日学級担任。担任としての責任を持って取り組む。自分がしないといけないこと、すべきことを考えながら、子供を見て、感じて遠慮なく自分から動く。



R7. 11. 4 2年生授業の様子

自由度を高める

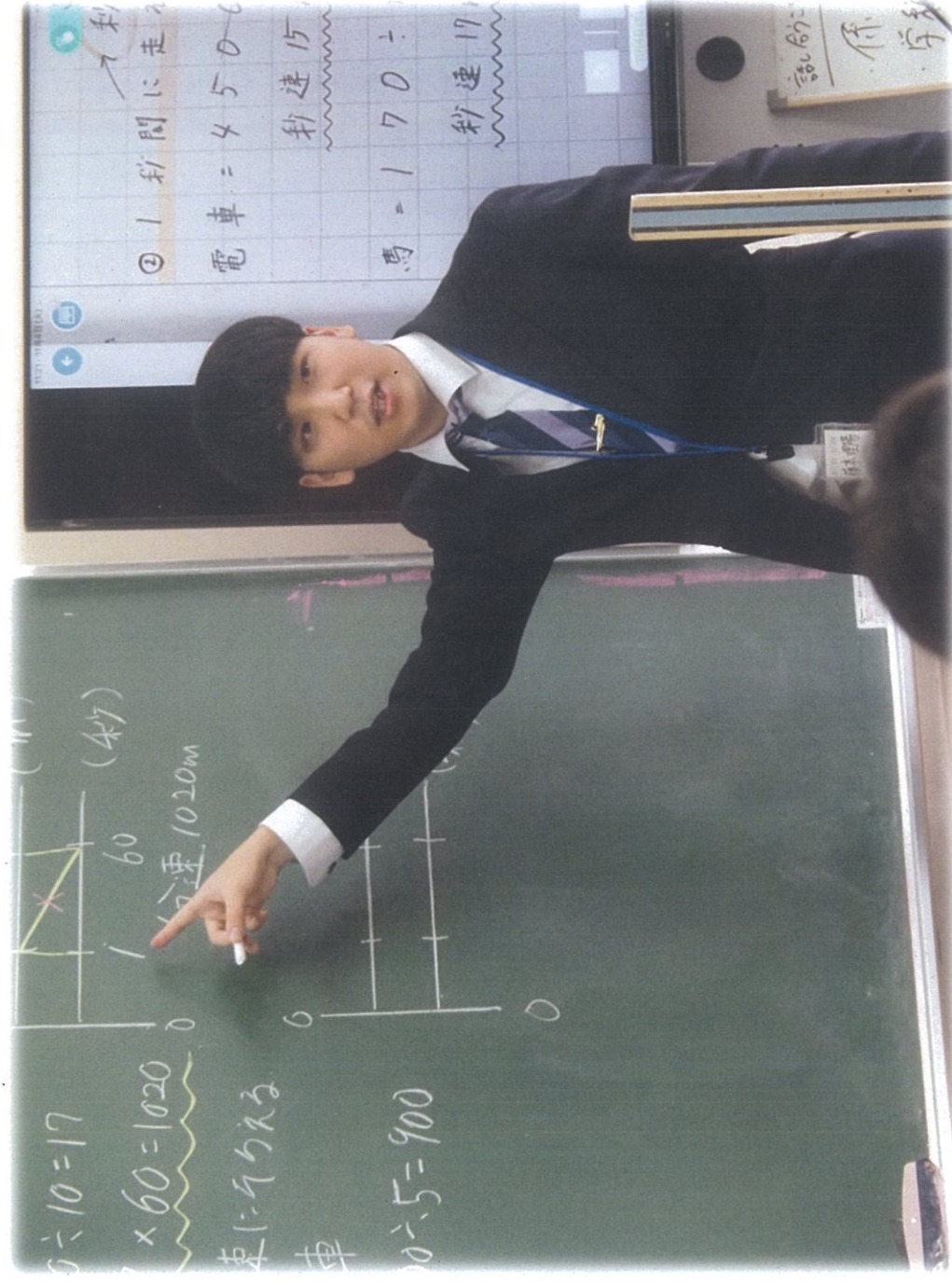
子供たちの考えを交流するために、席を離れて、自由に友達と話ができるようにする。じっと1時間席に座っているだけでなく、席を離れて話せる時間も確保。



R7. 11. 4 | 1年生授業の様子

学級経営の視点

授業中の子供たちのがんばっている姿を見取って、価値づける。授業の中にも学級経営の視点を意識した指導をすることができています。



R7. 11. 4 5年生授業の様子

違いから考える

前時の授業と違うところはどこかを問う。違いから本時の課題が見つかり、考えるための必要性が自然と生まれてくる。前時とのつながりを意識した授業展開。



R7. 11. 4 4年生学年会の様子

場作り

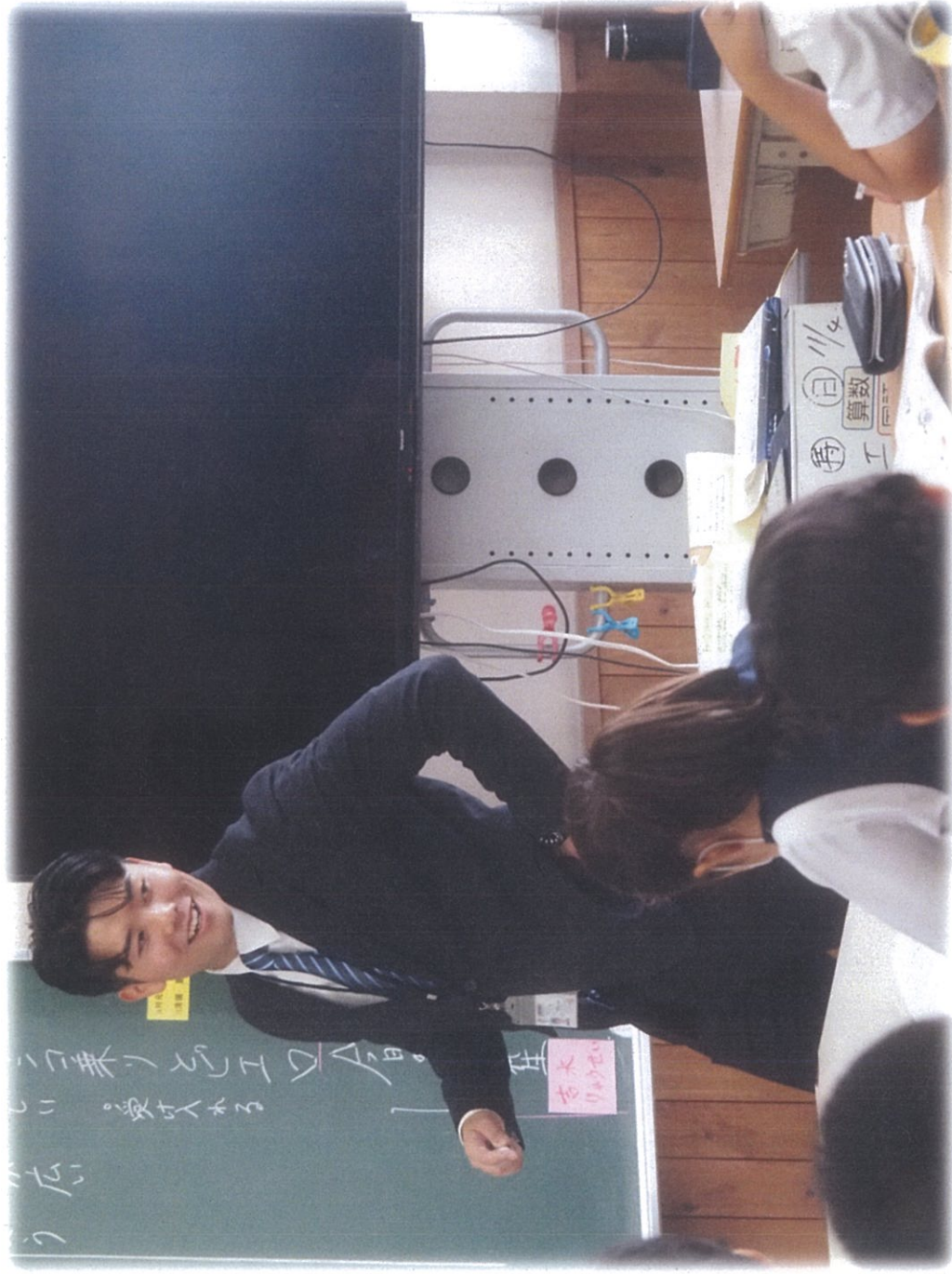
体育の授業で大切なのが「場作り」です。
子供たちができるようになるためには、
どんな場を工夫すればよいのか。子供の
困りの理由から考える。



R7. 11. 4 2年生授業の様子

子供に注目

子供の発言を座席表にメモをする。発言だけでなく、つぶやきや行動にも注目して記録に残す。自分が授業をする上でも、子供の様子を見逃さないことに繋がる。



R7. 11. 4 5年生授業の様子

本音で語れるように

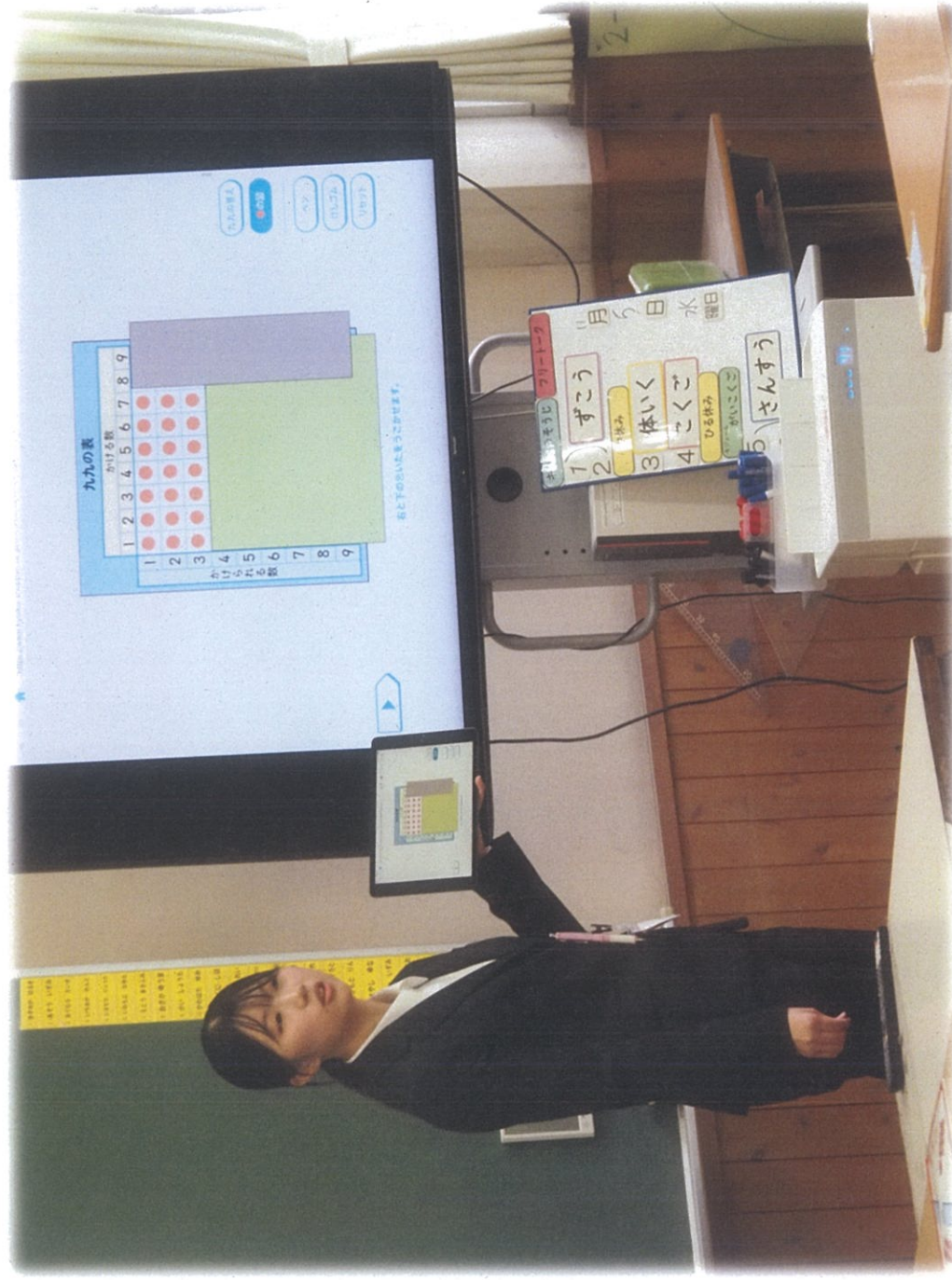
道徳で大事なことは、子供たちが本音で語れるようにすること。寛容な心で行動することの難しさについて、自分の素直な思いを語っていた。



R7. 11. 4 | 年生授業の様子

経験を問う

「ドキドキした経験のある人？」と子供たちに経験を問う。登場人物と自分の経験を比較することで、教材の内容を自分事として考えられるようにする。



R7. 11. 5 2年生授業の様子

重点ポイントを押さえる

かけ算の授業で、かけられる数とかける数の関係は、必ず押さえるべきポイント。子供の気付きから重要なことをきちんと確認ができている。



R7. 11. 5 2年生授業の様子

きめ細かな指導

机間指導を通し、子供の理解や活動の様子をつかむ。必要があれば、子供に寄り添って支援をする。1人1人を大切にしたいきめ細やかな指導を心がけている。



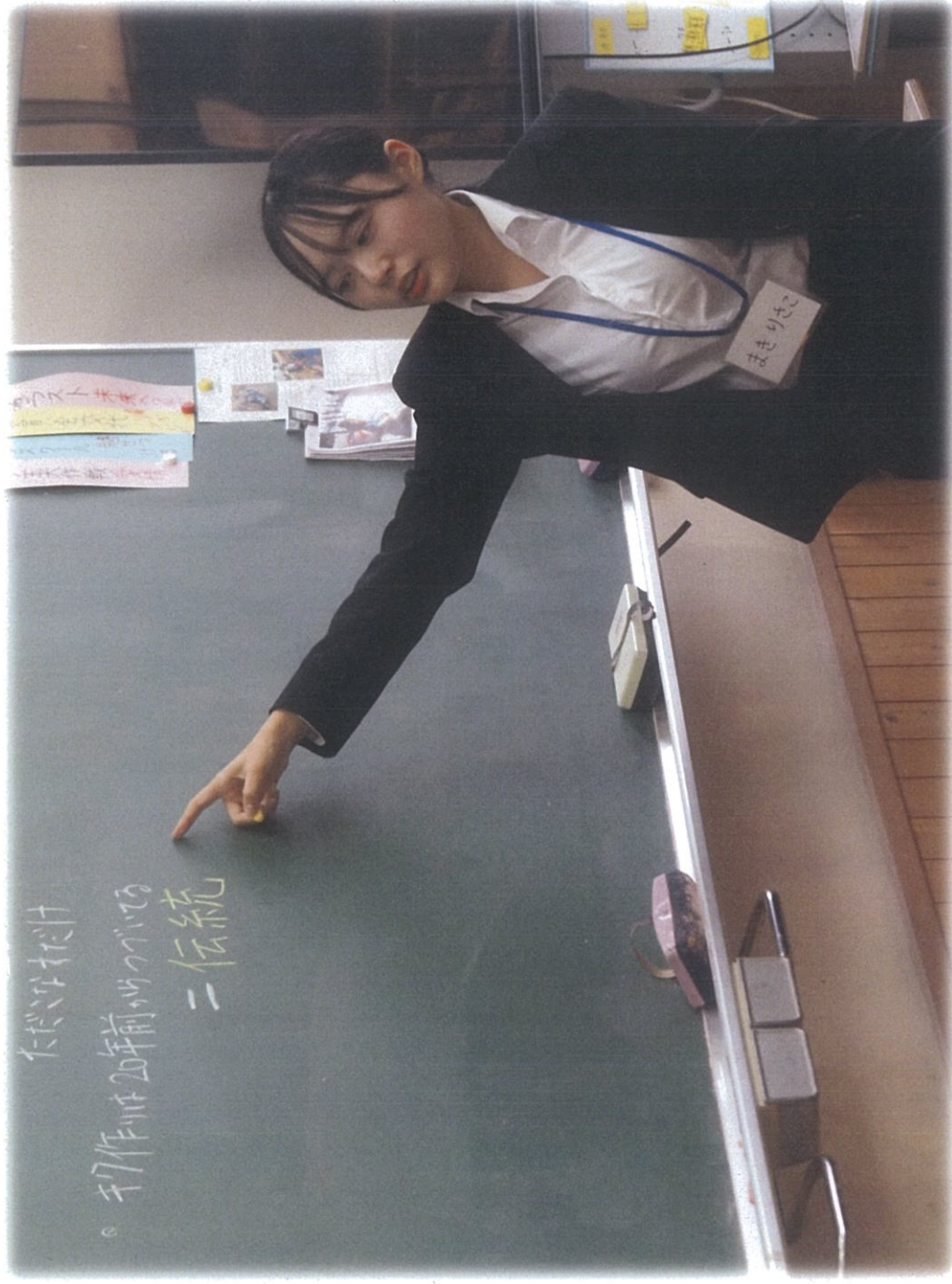
R7. 11. 5 2年生授業の様子

具体的な場面のイメージ

言葉だけでは通じにくいことも、絵や写真があれば分かりやすくなる。言葉から具体的な場面のイメージができるようにしていくことも大事な手立て。

徹底した教材研究

教材研究を徹底してする。授業でする単元について、いろいろな資料から調べた内容を自分でノートにまとめることで、教材に対する理解が深まる。



R7. 11. 5 6年生授業の様子

未来への挑戦

大事なことは、今だけでなく1年半後に
つなげること。日々、授業にチャレンジす
ることは、今後の成長へ向かうため。教育
実習は未来への挑戦の時間。



R7. 11. 5 2年生授業の様子

発達段階と系統性

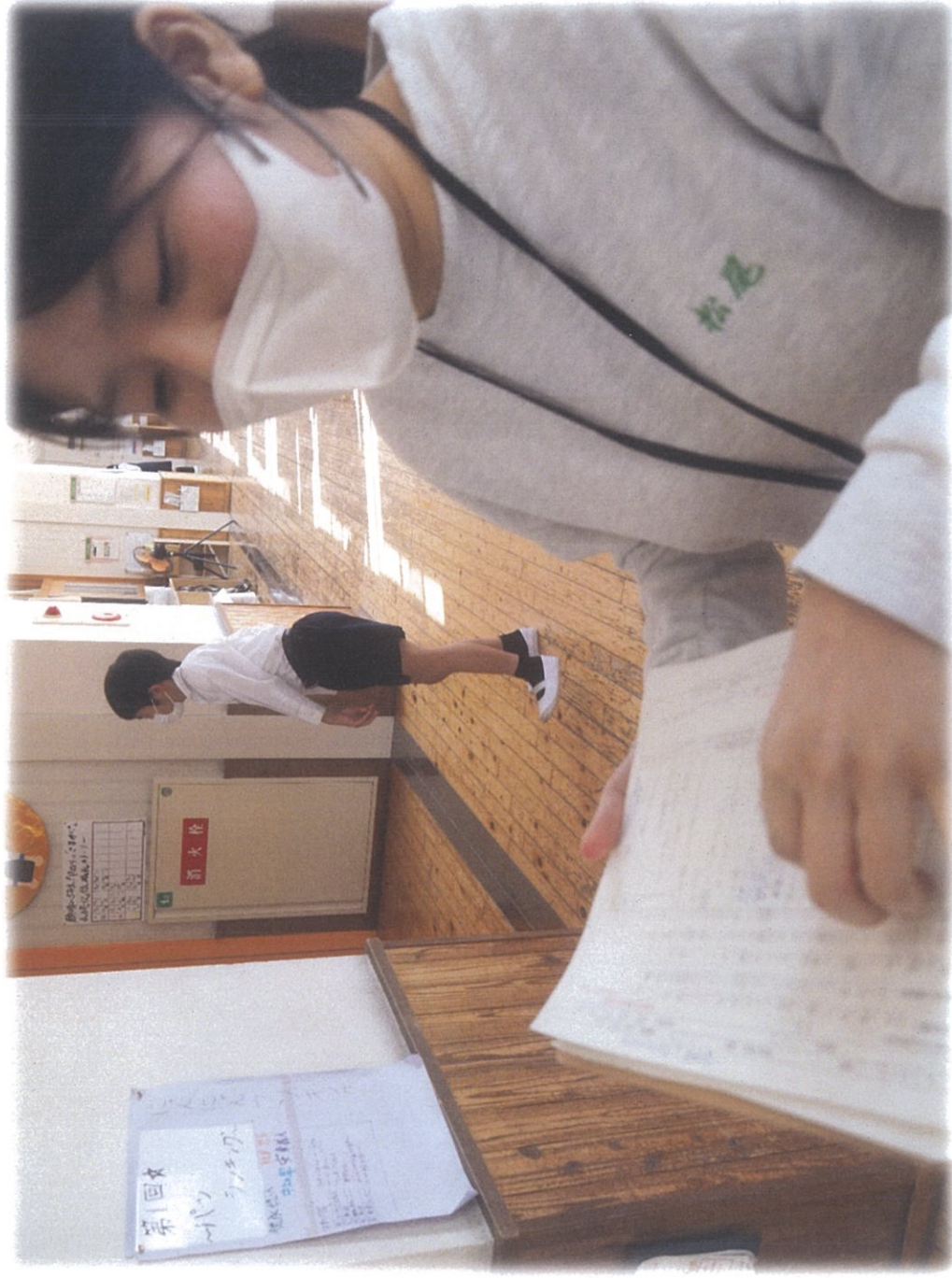
他学年の授業観察。自分の担当学年の児童との発達段階の違いや授業内容の系統性を見取る。児童理解や教材研究に役立てる。学年が変われば声かけも変わる。



R7. 11. 6 朝の様子

自遊時間

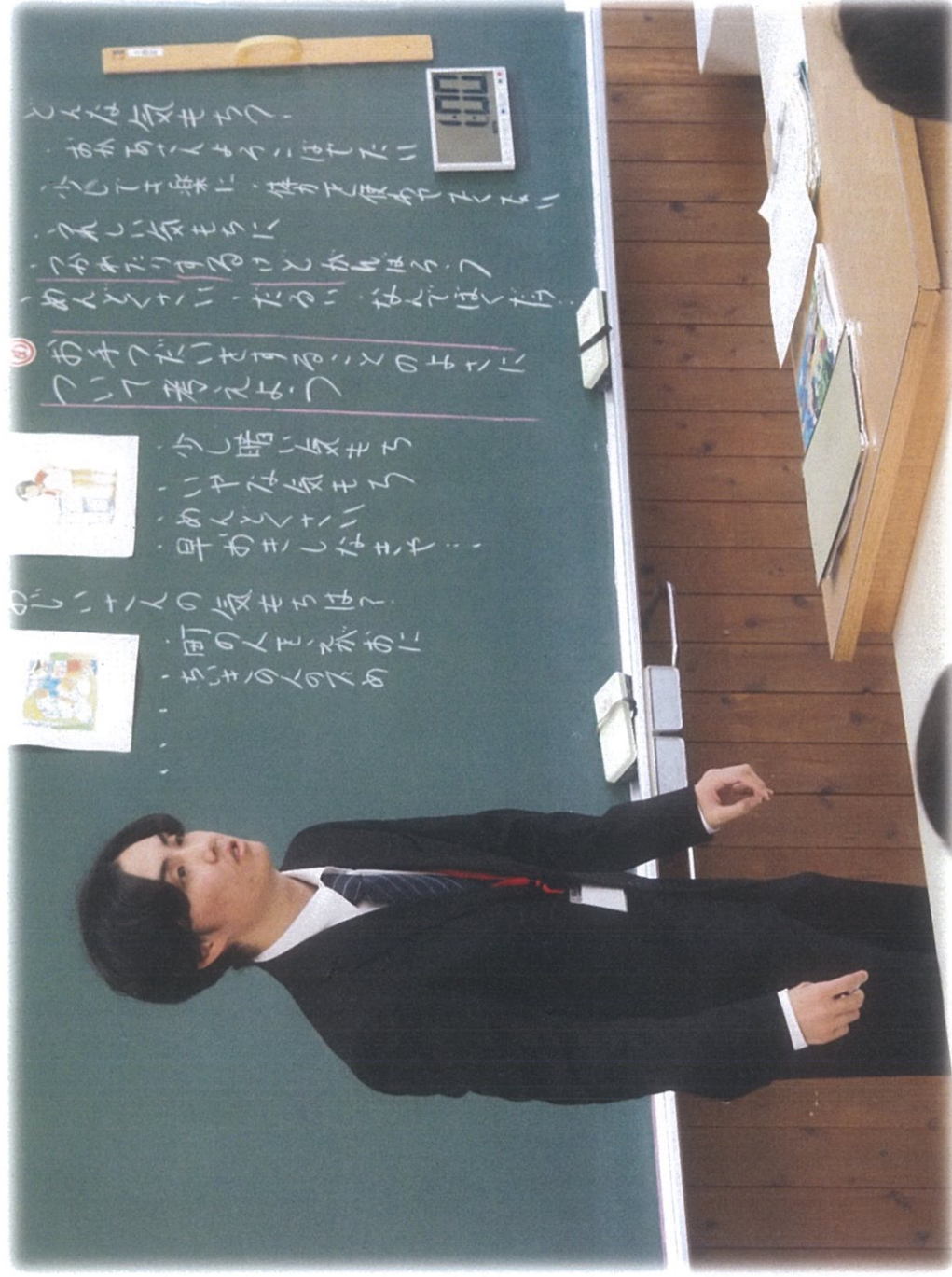
朝休み、子供と長縄で遊ぶ。一日のスタートを子供たちと一緒に楽しく過ごすごとで気持ちよく始めることができる。時間を見つけ、自ら遊ぼうとする思いが素敵。



R7. 11. 6 5年生教材研究の様子

攻めの学び

学級経営や授業について積極的に質問したり自分の授業についてアドバイスをもらったりしにくる。待っているだけでなく攻めの学び。向上心を感じます。



R7. 11. 6 3年生授業の様子

広がる視野

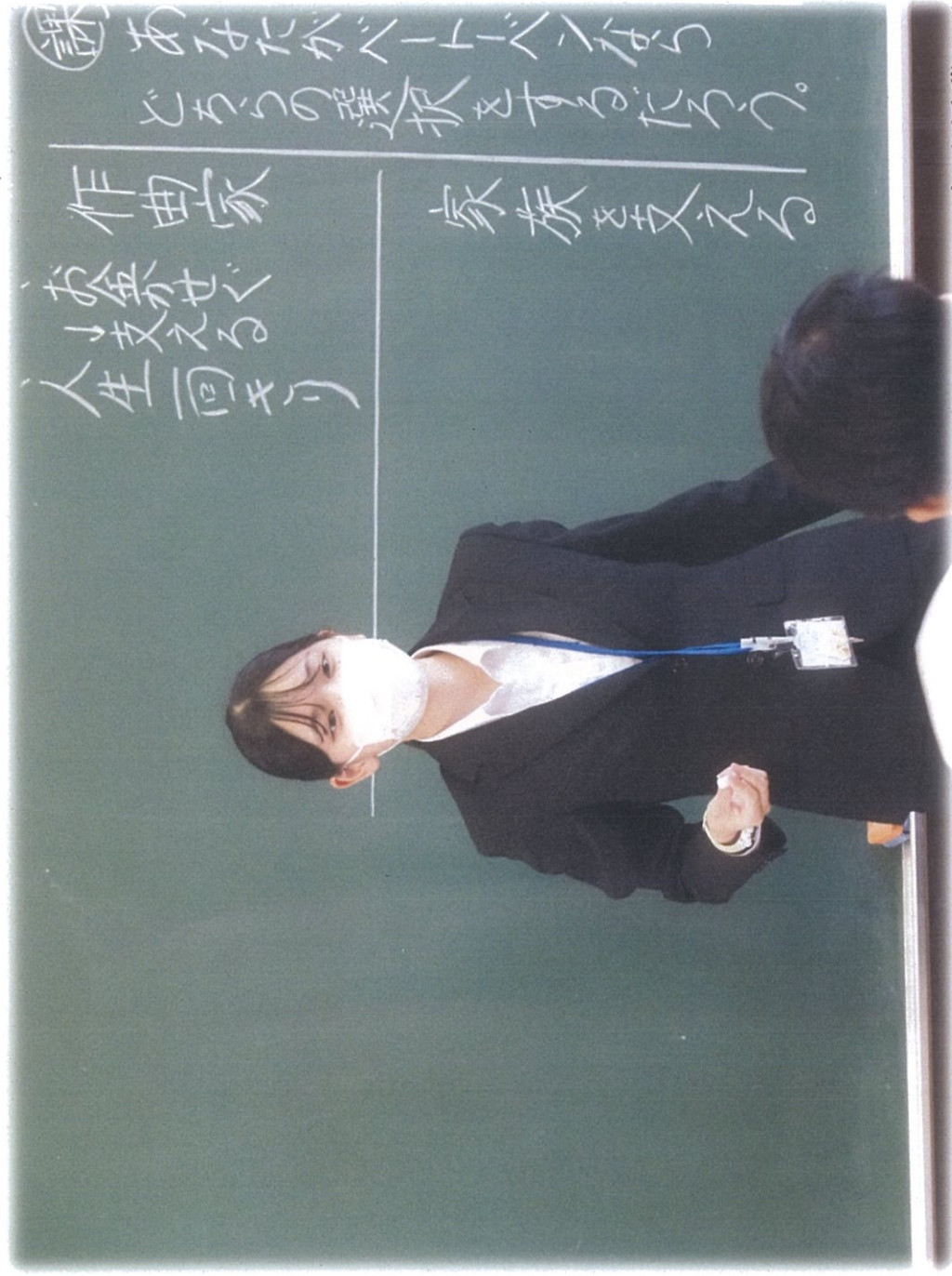
授業観察と教材研究、授業実践を繰り返す中で、これまでとは違う子供の姿や授業の見方ができてきています。どんどん視野を広げていきましょう。



R7. 11. 6 キラキラ掃除の様子

課題も提示

掃除の様子を見取り、気が付いたことを
子供たちに伝える。よさやがんばりだけ
でなく修正点も話す。次の日の掃除の改
善点になり、子供の成長のきっかけに。



R7.11.6 5年生授業の様子

対立から考える

ベートーベンの夢に向かう悩みについて、自分だったら「作曲家」「家族」のどちらを選ぶか、二つの立場から考える。多面的、多角的に捉えるきっかけになる。



R7. 11. 6 3年生授業の様子

グループワーク

グループで物の重さ比べをする。グループですること、自分だけでは気付かなかったことを学び合うことができる。活動の効率化も図れます。



R7. 11. 6 1年生授業の様子

子供が説明

算数の解き方の説明を子供たちでし合う。教師がどうしてもしたくなくところをグッとがまんして子供に委ねる。子供同士の言葉の方が伝わるときもある。



R7. 11. 6 5年生授業の様子

授業スキルアップ

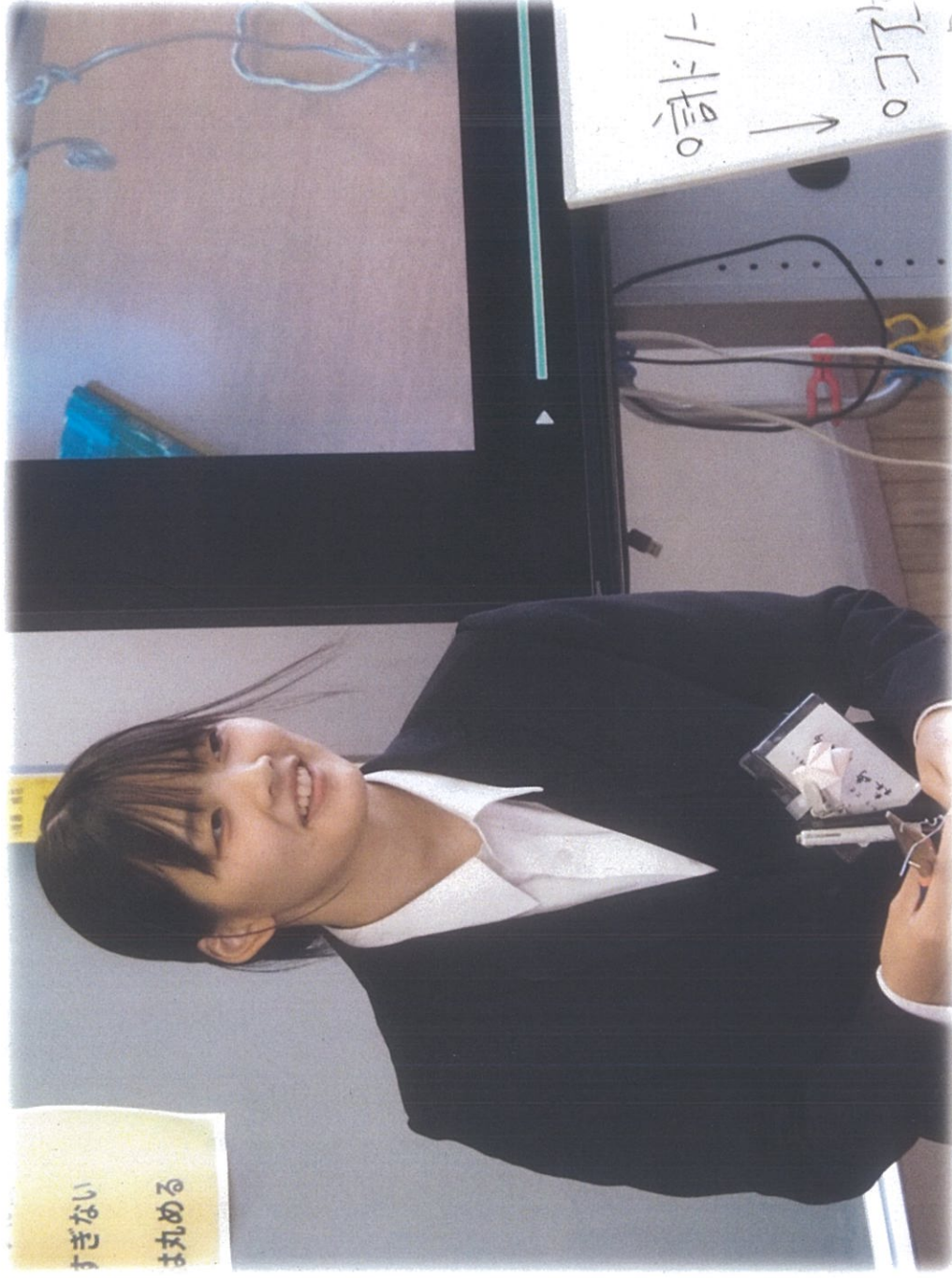
子供とのやり取り、授業中の見取り、話し方、目線…どんどん授業のスキルがアップしているのを感じます。これまで努力した成果の表れですね。



R7. 11. 7 3年生授業の様子

Classroom English のシャワー

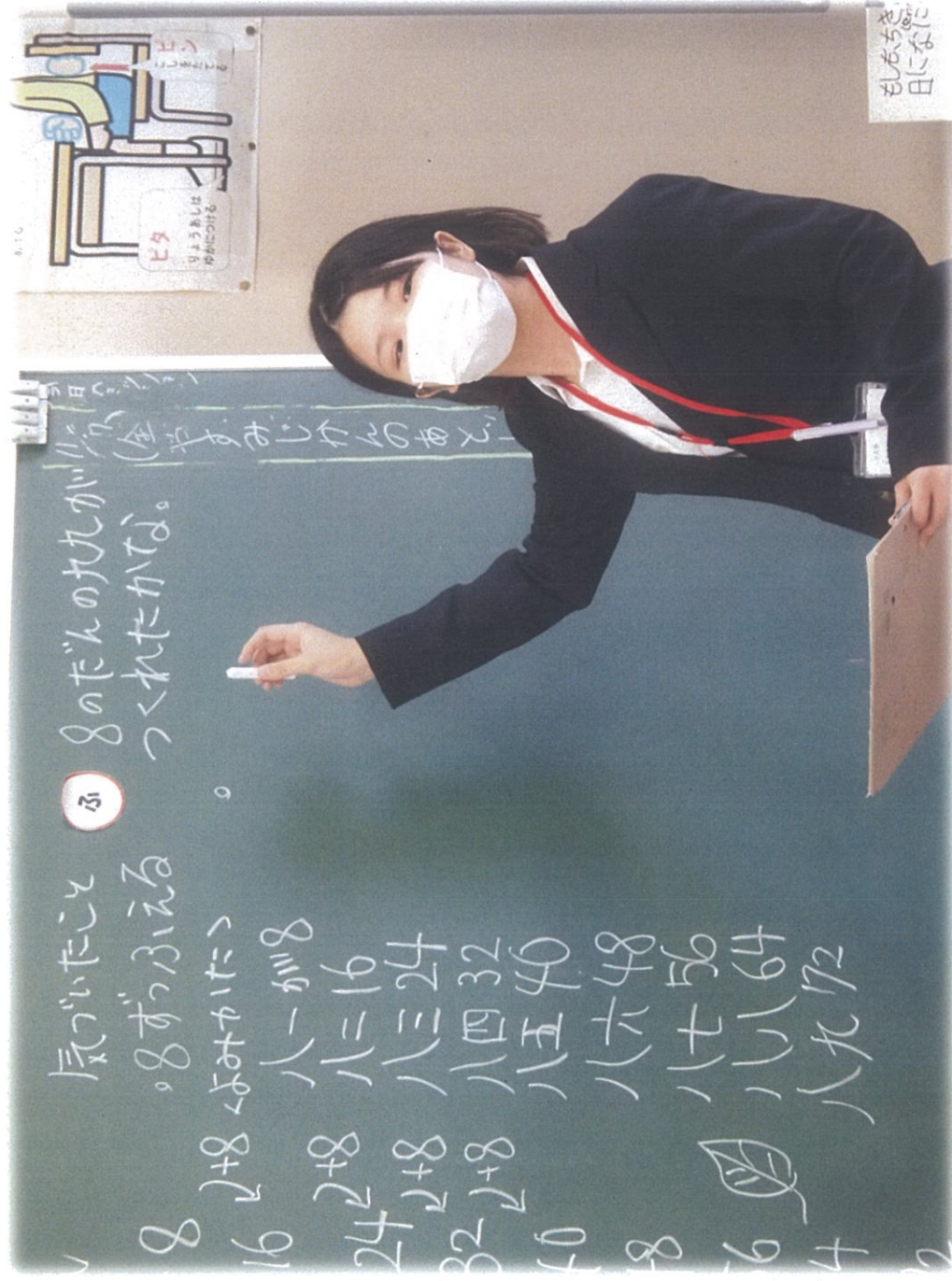
外国語活動の授業で、Classroom English を積極的に使う。子供たちが自然に英語の表現に慣れ親しめるように、まずは教師からチャレンジしていく。



R7. 11. 7 5年生授業の様子

階段を上る

授業観察・教材研究・授業実践・振り返りを繰り返す中で、高まっていく授業力。教職へ向けた階段を確実に上っているのを日々感じます。



R7.11.7 2年生授業の様子

振り返りの重要性

授業では振り返りが重要。自己の学習を見つめ直す大事なこと。学習内容、学習方略、今後への適用を理由も含めて考えることができるように。授業評価に生かす。



仁興泉

かけられる数とかけられる数の関係性について、ピザの絵を提示しながら、確認できるようにする。8人分なのか4人分なのか、一目瞭然でつかむことができる。



R7. 11. 7 6年生帰りの会の様子

担任としての言葉かけ

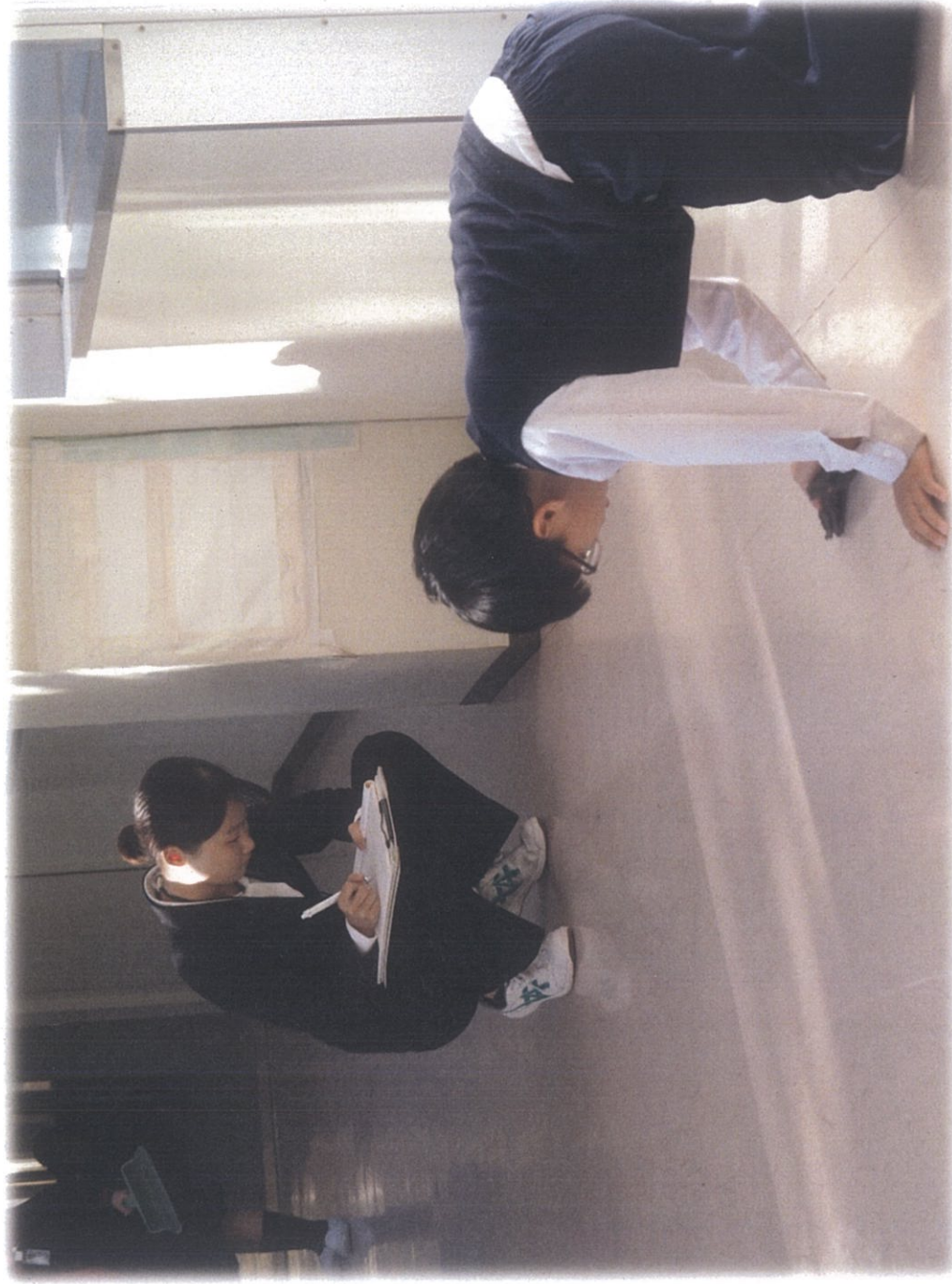
帰りの会で1日を締めくくる。担任として学級の現状をふまえたこれからの期待を込めた言葉をかける。学級づくりを意識した1日担任としての考動。



R7. 11. 7 2年生授業の様子

憧れに近付く

担任の先生の道德の授業に憧れを抱く。
 どうすれば近付けられるのかを考えながら、
 授業づくりをしていく。めざす目標があれば、きっとできるようになる。



R7. 11. 7 キラキラ掃除の様子

目線を下げる

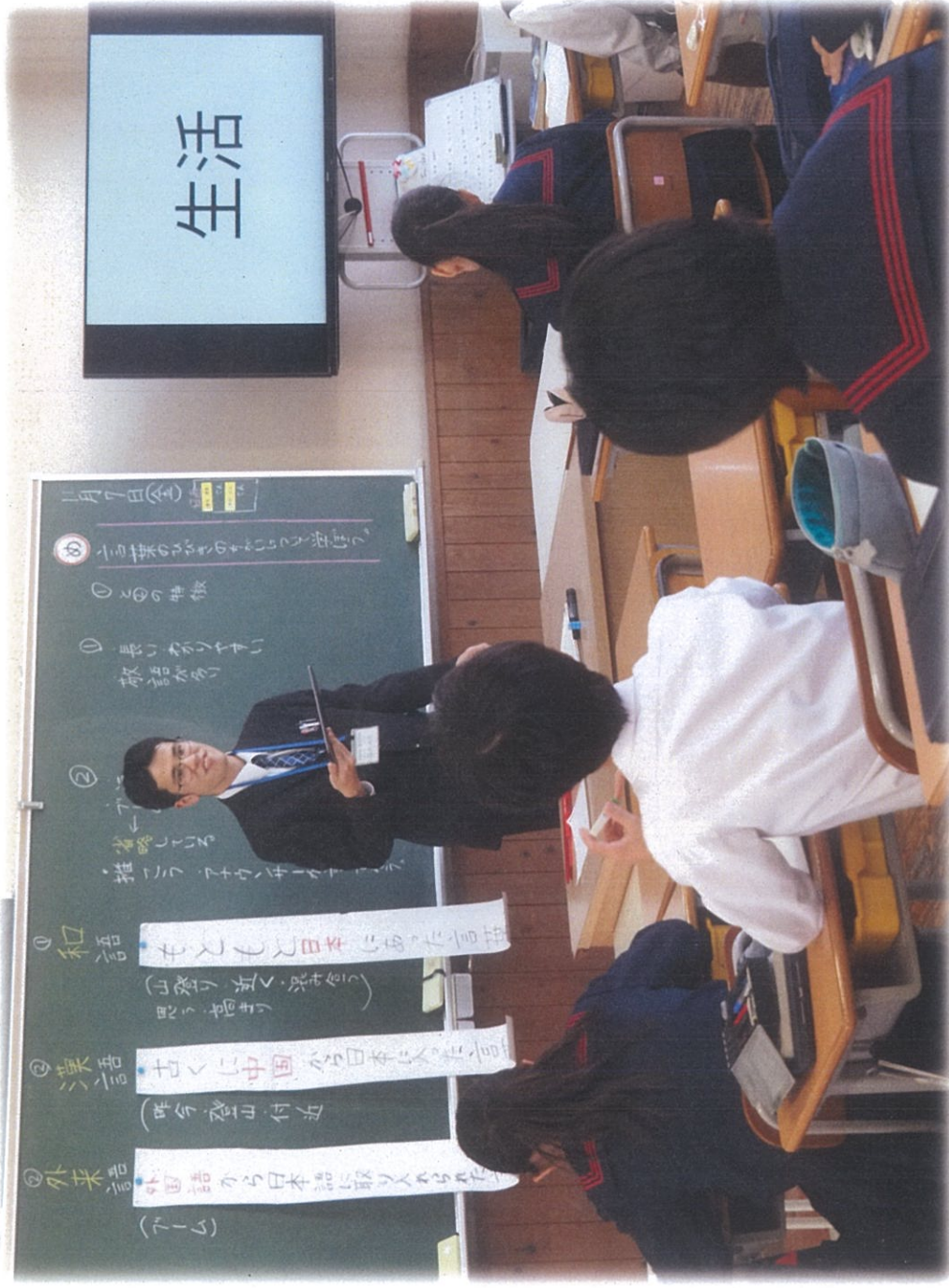
子供たちの掃除の様子を見取るために、
目線を下げて見る。掃除中の子供の表情
や何をしているかが分かる。子供が何を
思い、考え掃除しているかが分かる。



R7. 11. 7 1年生学年会の様子

ねらいにこだわる

ねらいを考える。授業のゴールをどこにするのか？ねらいの達成を意識して「授業をする、授業を見取る、授業を振り返る」ことが重要。



R7. 11. 7 5年生授業の様子

ゲームを活用

子供たちは、ゲームやクイズが大好きです。授業の中に取り入れることで、楽しく学習が展開できます。目的や振り返りを大切にして、やってみましょう。



R7. 11. 7 キラキラ掃除の様子

伝えたいから

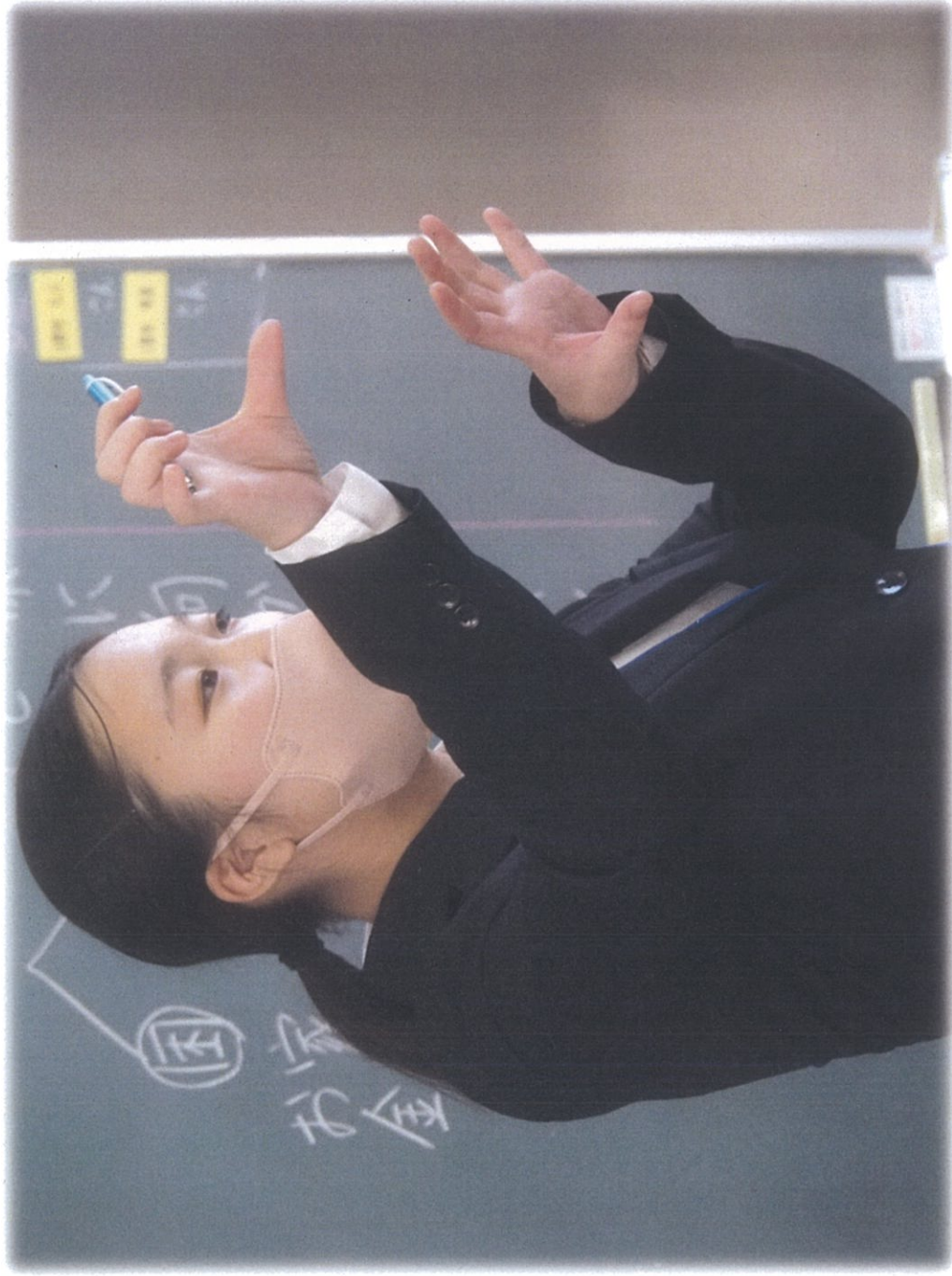
掃除の振り返りで価値づけをする。掃除の様子を子供たちにちゃんと伝えたいから、自然と視線が子供たちの方に向き、体も曲がってくる。相手意識が姿に表れる。



R7. 11. 7 5年生授業の様子

目的意識と実践意欲

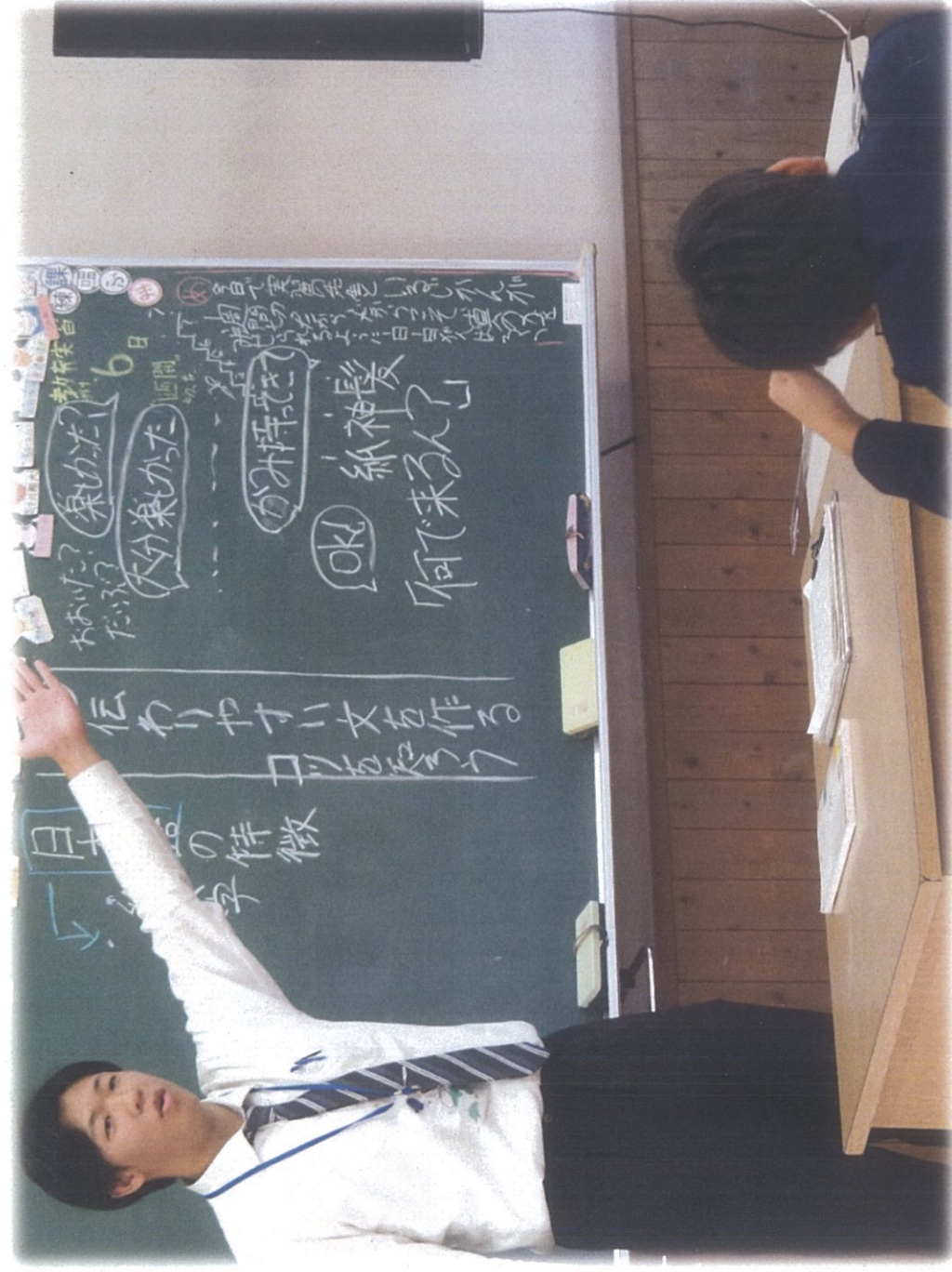
自分の投書を見直すという目的が明らかだからこそ、和語・漢語・外来語の違いについて理解を深め、活用して修正をしようとする実践意欲も高まる。



R7. 11. 7 5年生授業の様子

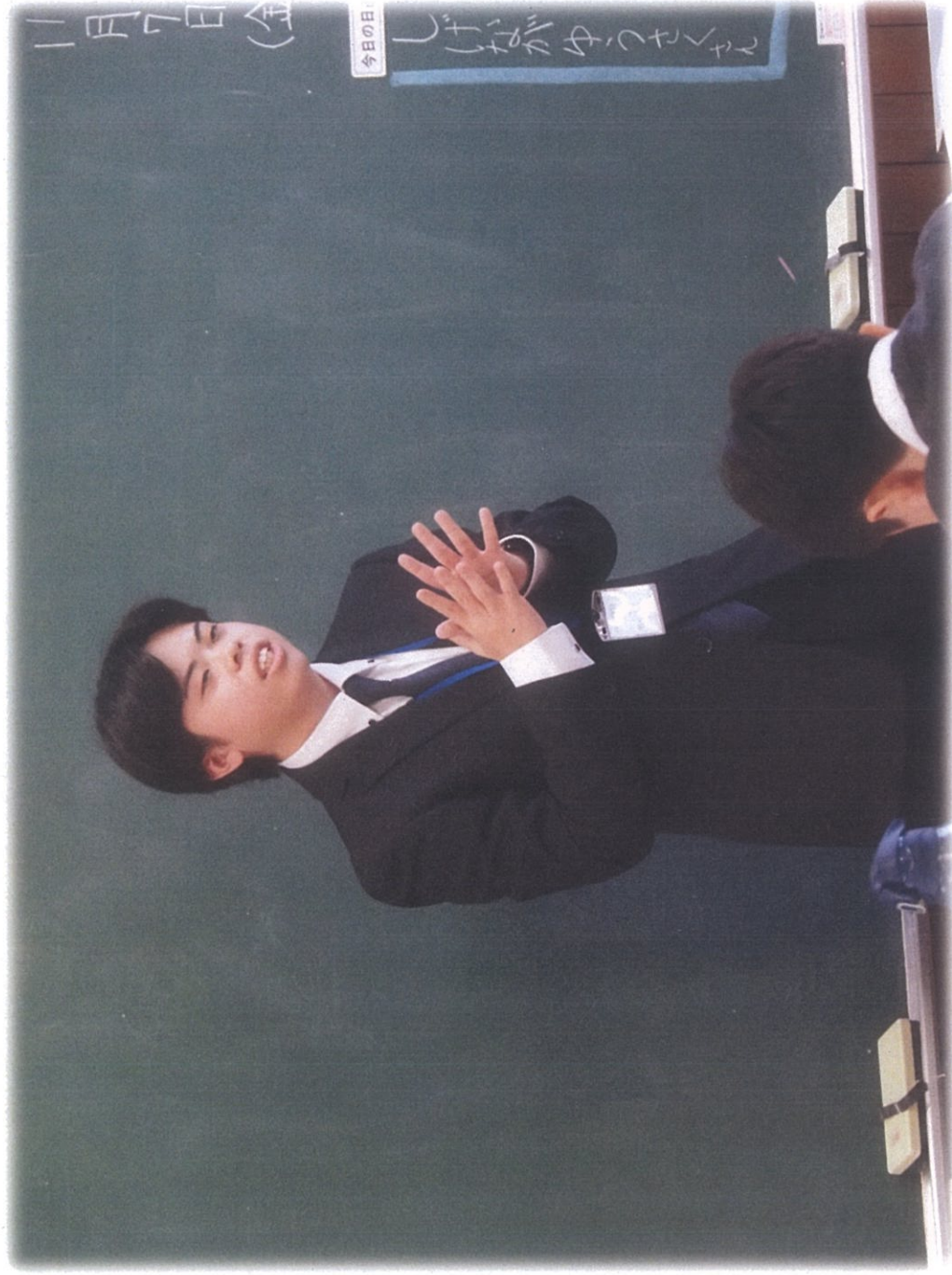
多面的・多角的

二つの立場で考えるだけでなく、それぞれのプラス面とマイナス面も考えるようにする。幅広い視点で、登場人物の言動を多面的・多角的に考えることができる。



授業はLIVE

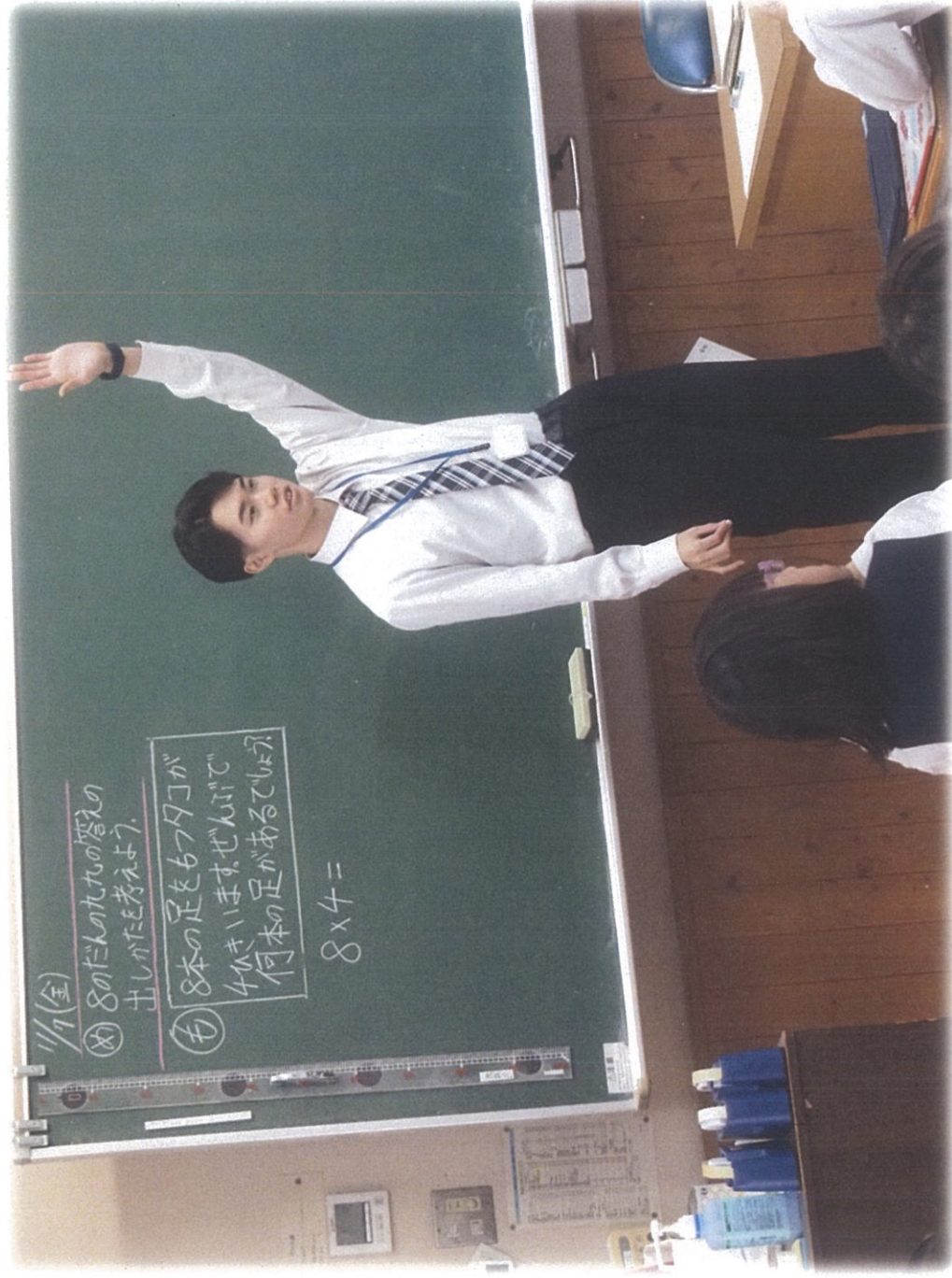
子供たちも教師も笑顔でやり取りを楽しんでいるのが伝わってくる授業。子供が興味や関心を持つネタ、ジェスチャーやトークで盛り上げる。授業はLIVE。



R7. 11. 7 4年生授業の様子

つかみの一言

道徳の授業の導入、「みんな何歳？」と問う。直接授業に関係のない一言だけど、子供たちが誰でも答えられる問いをするこ
とで、学習に向かう姿勢が変わる。



R7. 11. 7 2年生授業の様子

アイディア

かけ算8の段の学習、タコの問題を提示。
基本タコは8本足だから8本ずつ4匹は
 8×4 。 4×8 は足が4本でおかしいこと
に気付く。被乗数と乗数の関係が明確。

5-3 の

技

底を丸く!

立体で、立たせる

太さでバランス

ペンキで固定

まきつける

ぶらさげる

ーカをこめて!

R7. 11. 7 5年生授業の様子

中間指導

活動を一度ストップし、困りの解決やよさの共有を図る。中間指導は、前半の活動を見直し、後半の活動の修正につないでいく有効な手立て。



R7. 11. 7 4年生学年会の様子

場の改善

体育のマット運動に向けて、場の改善を図る。子供たちのできるようになりたい
という思いを実現できるようにするため
の手立てをよりよいものにする。



R7. 11. 10 4年生授業の様子

運動量の確保

体育の授業で大切なのは運動量を十分に確保すること。45分の中で、どれだけ思考させながら、運動をできるようにするかを考えた授業展開。

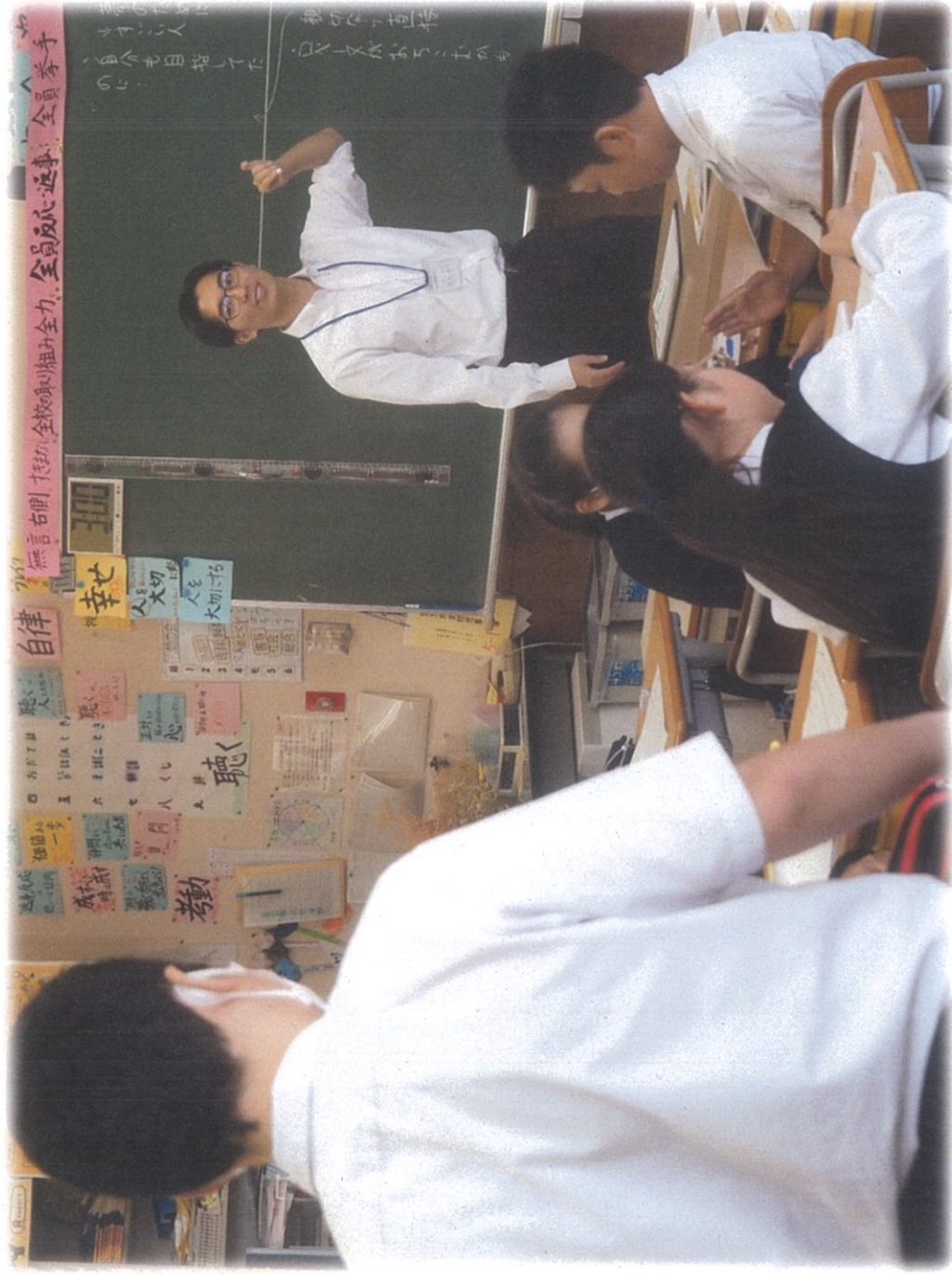


R7.11.10

4年生学年授業研究事後研の様子

教師のふるまい

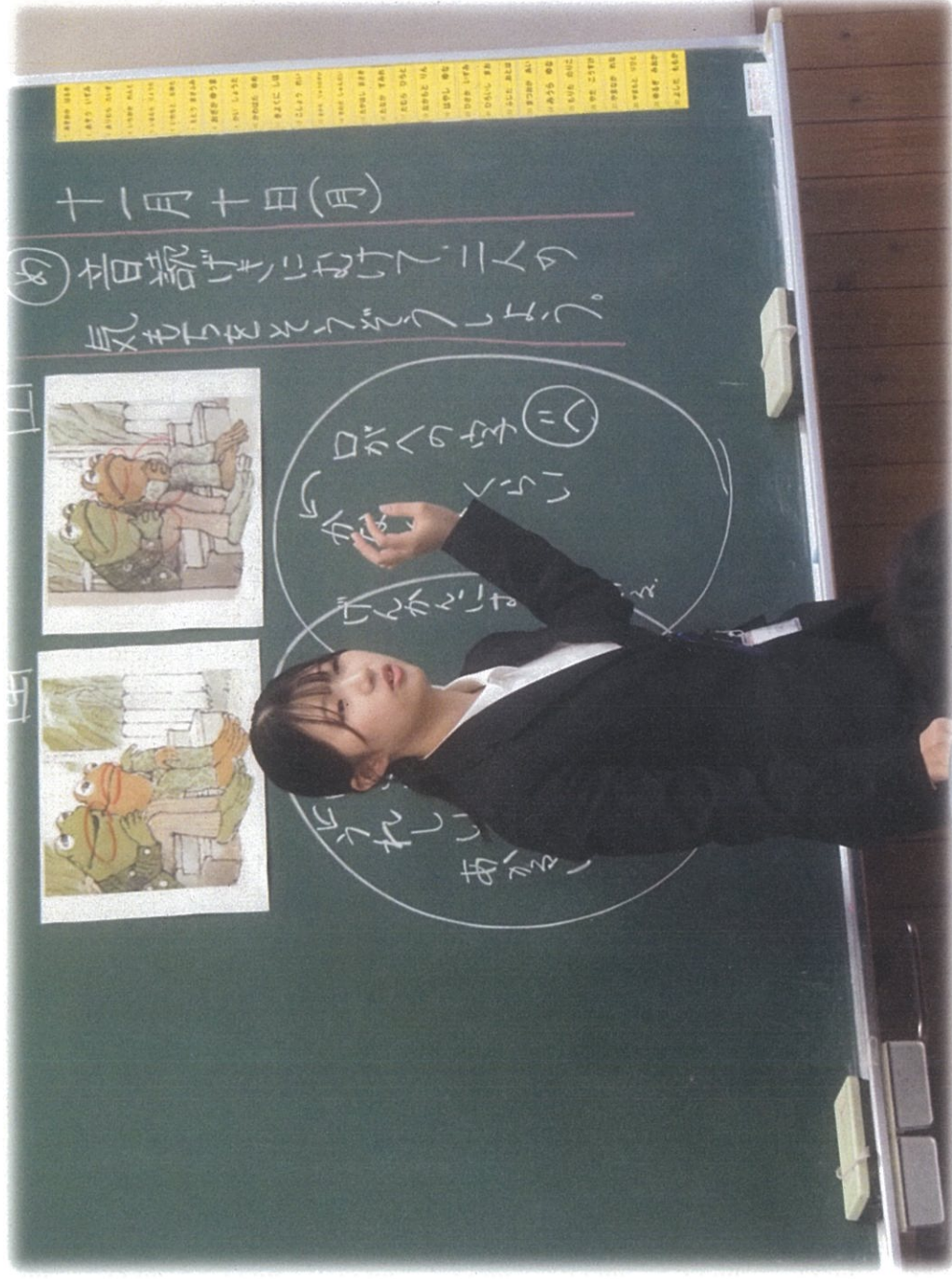
笛の吹き方（音量・強さ）、声の張り、立ち方、児童の動かし方など教師の授業中のふるまいが、実は大切である。細かな授業技術についてアドバイスをいただく。



R7. 11. 10 5年生授業の様子

巻き込み力

「2つの意見をどう思う？」とみんなに問いかける。1人の子供との一対一のやり取りだけでなく、学級全体を対話に巻き込む発言。みんなが授業をつくる意識。



R7. 11. 10 2年生授業の様子

挿絵の力

音読劇に向けて、登場人物の気持ちや場面の様子を比較しながら考える。挿絵を見ながら考えることで、具体的な心の違いを姿からイメージすることができる。



R7. 11. 10 4年生授業の様子

選択決定

運動する場を工夫することで、子供たちが自分の取り組みたい技を選んで練習できるようにする。自分のチャレンジしたい意欲と技術の向上につながる。



R7.11.10

キラキラ掃除の様子

違いを見つける

昨日と今日の掃除の違いを見つけて、振り返りで伝える。具多的な変化を話すことで、成長を実感することができてとても分かりやすい価値づけでした。



R7. 11. 10 キラキラ掃除の様子

前のめりに

子供たちの掃除の姿を見取ろうと、ぐつと身体を乗り出そうとする。児童理解に向けた前のめりな姿勢に3週間の成長を感じます。



R7. 11. 10 4年生授業の様子

魅力ある板書

子供たちが学びやすいように板書を工夫する。授業のねらいに合わせたていない教材作りで、子供たちの理解度を高めることにつながっている。



R7. 11. 10 5年生授業の様子

記録をもとに語る

授業について、ねらいに近付くことができたかを、子供の姿で語る。根拠になるのは、自分がとった記録。子供をしっかりと見取ったからこそ、語れる改善点。



R7. 11. 10 6 年生学年授業研究事後研の

手立ての有効性

授業の中で活用した動画が、視覚的に印象づける上で効果があった。ねらいにせまる手立ての有効性について意見を語る。



R7. 11. 10

4 年部学年授業研究事後研の様子

ねらいをもとに振り返る

授業を振り返る時の視点として、ねらいが達成できたかを考える。ねらいと実際の授業がどうだったのかを比べることは、授業力向上への第一歩。



R7.11.10 1年生学年授業研事後研の様子

ブラッシュアップ

学年研の授業について、リフレクションをする。成果、課題、改善点を話し合う。学年部の仲間、担当教諭、大学の先生からの言葉を元に授業をブラッシュアップ。



R7. 11. 10 3年生授業の様子

つぶやきを拾う

「g (グラム) ってどう書くん?」。何気ない子供のつぶやきを拾い、書き方を練習する。子供の言葉に耳を傾けているからこそできる。子供を大切にした授業。



R7. 11. 10 1年生授業の様子

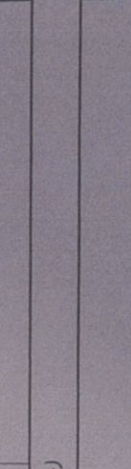
協働的な学び

子供たちの学びが広まり深まるように、
互いの考えを友達と交流する時間を確
保。協働的に学習を進めることの効果を
活用する。

どちらか選ぶ

[illegible]

単元のふり返り

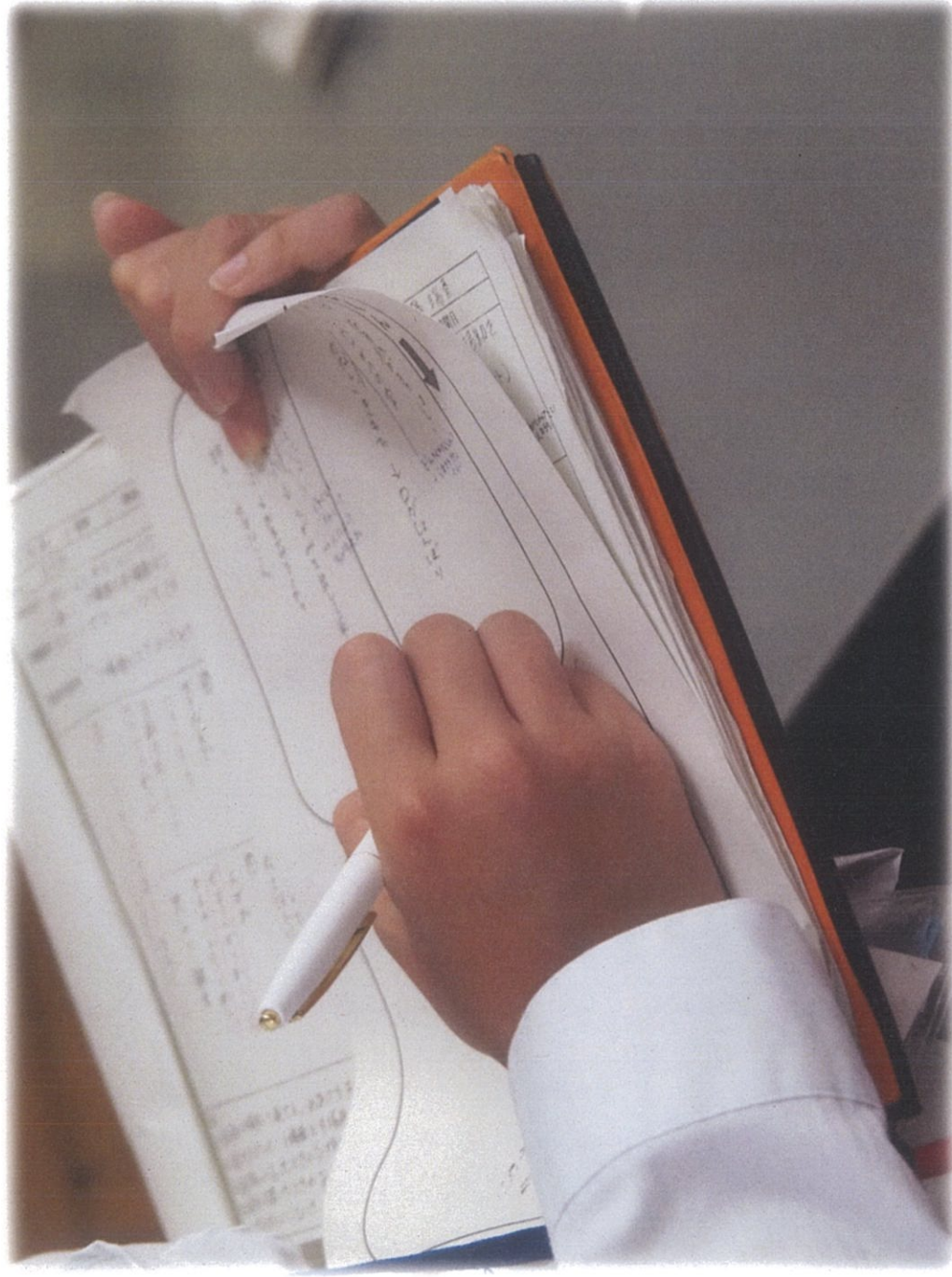


100

4年生授業の様子

1. 1. 1. 1. 1.

子供の考えを記録し、蓄積するためのワークシート。内容を工夫することで、単元や授業の見通しや自己の課題を持つために役立つスーパーアイテムになる。



R7. 11. 10 2年生授業の様子

記録力UP

授業記録の工夫。子供たちの考えをより把握するために、子供と同じワークシートに記録をしていく。見取り、記録する力が確実にUPしている。

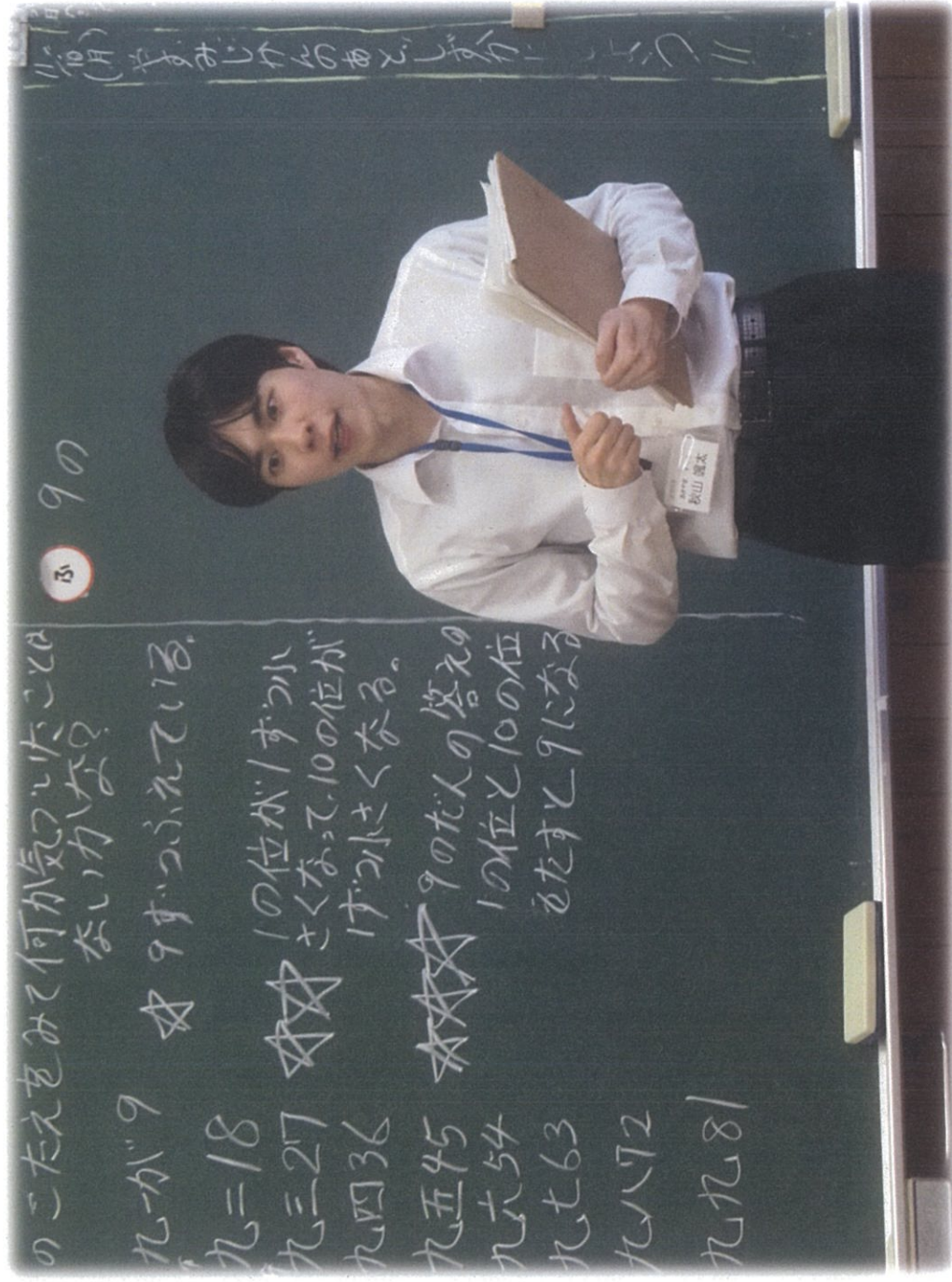


R7.11.10

5年生学年授業事後研の様子

見えなかったものが見える

授業観察と授業実践を繰り返す中で、今まで気付かなかったことが分かる。経験を積み上げてきたからこそ、子供の姿から語れる内容も変わってくる。



R7. 11. 11 2年生授業の様子

学ぶことの喜び

かけ算9の段の構成から、算数の規則性
のおもしろさを見つけるようにする。各
教科・領域の魅力を伝えることは、学ぶこ
との喜びを子供たちが実感できます。



R7. 11. 11 キラキラ掃除の様子

数値で伝える

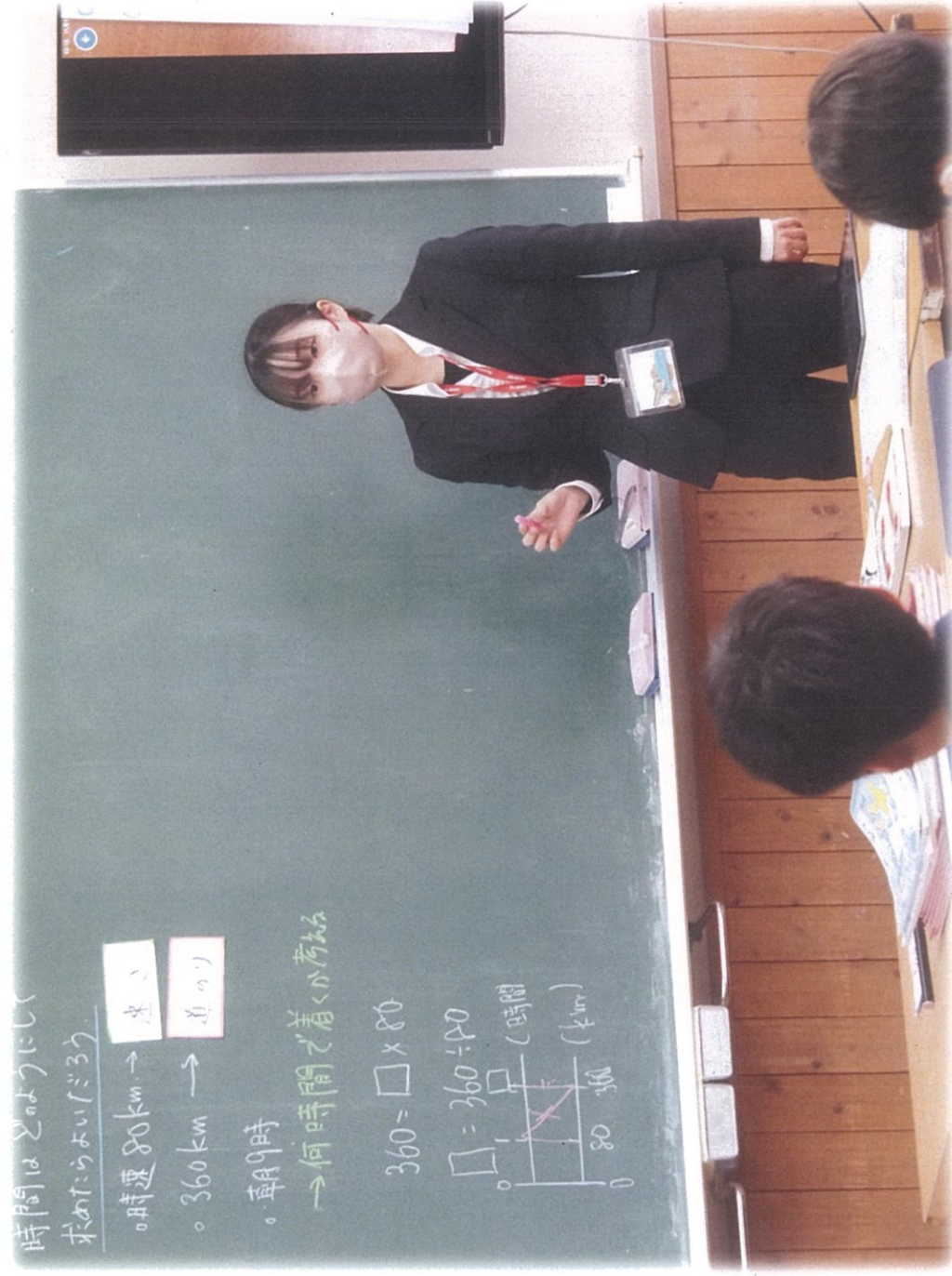
掃除の振り返りで課題を伝える時に、数値を出す。具体的に何分、時間がかかったかを話すことで、どれくらいでやらないといけないか見通しを持てる。



R7. 11. 11 3年生授業の様子

経験値獲得

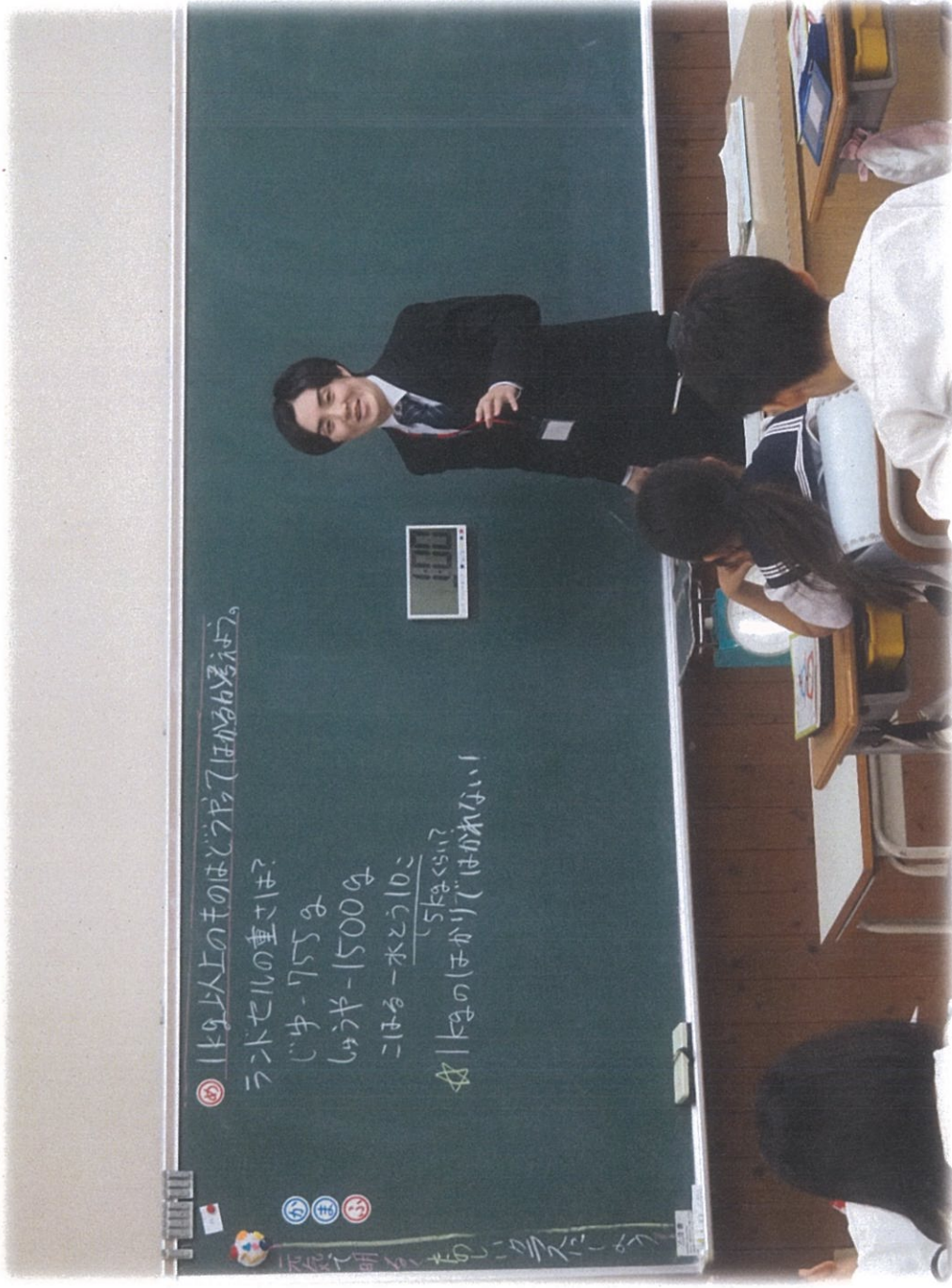
自分で作成した板書指導案で授業をする。授業を繰り返すことで見えてくることやできることも増えてくる。大きな経験値獲得。



R7. 11. 11 5年生授業の様子

Full Jump

これまでの実習中に考えたことや身に付けてきたことを全てやってみる。最後までチャレンジを続ける。自分の目標に向かって Full Jump !



R7. 11. 11 3年生授業の様子

知りたい

自分のランドセルの重さが何 kg かを測る。子供たちの知りたいと思う気持ちを生かすことで、学習の必要感を高めることができる。



R7. 11. 11 1年生授業の様子

目を輝かせる

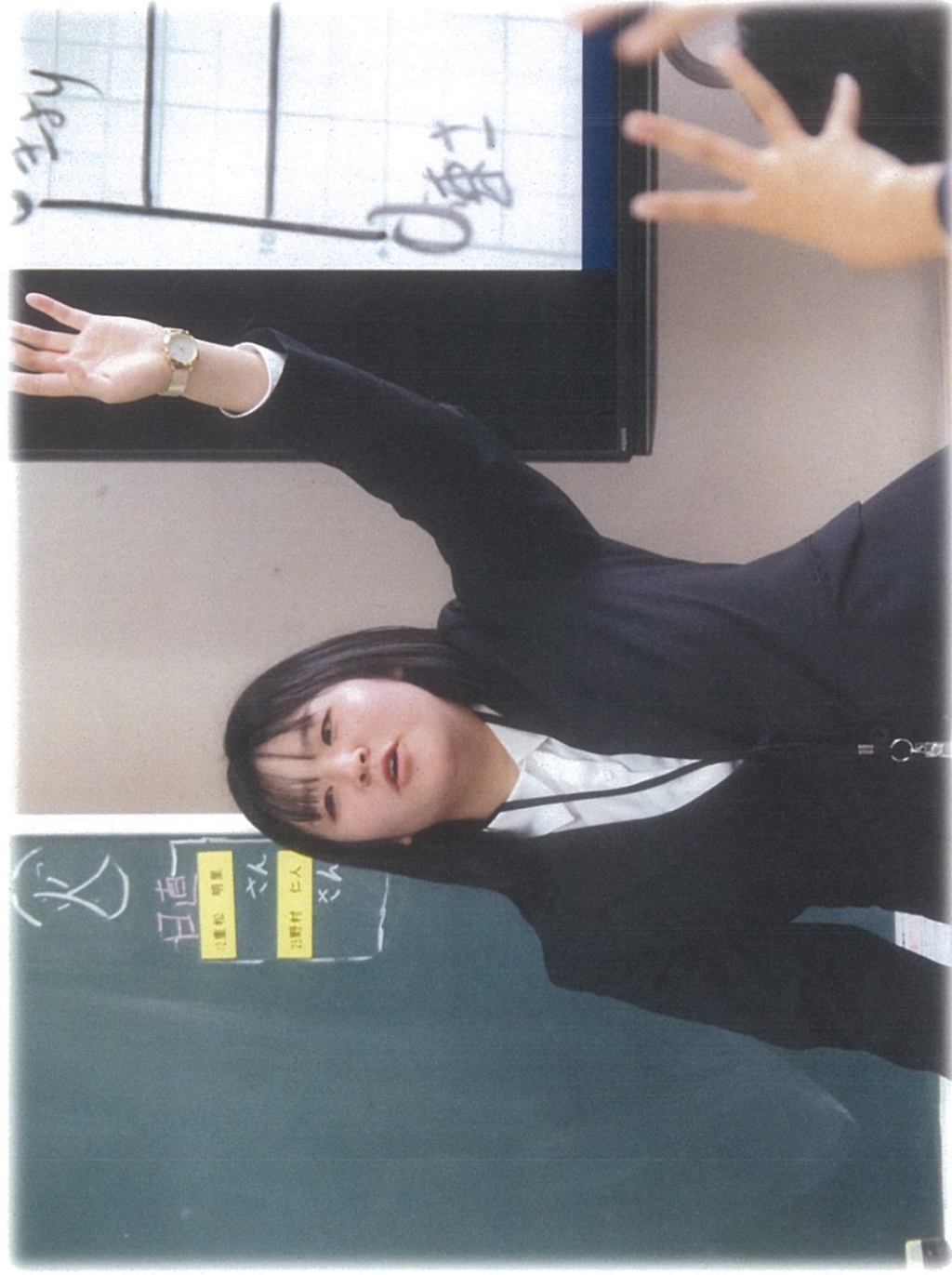
授業の導入で「クイズをやってみるよ。」
と声をかける。その言葉に楽しそうと輝
く子供たちの目。ちよっとの言葉の違い
が、子供たちのやる気につながる。



R7. 11. 11 引き渡し訓練の様子

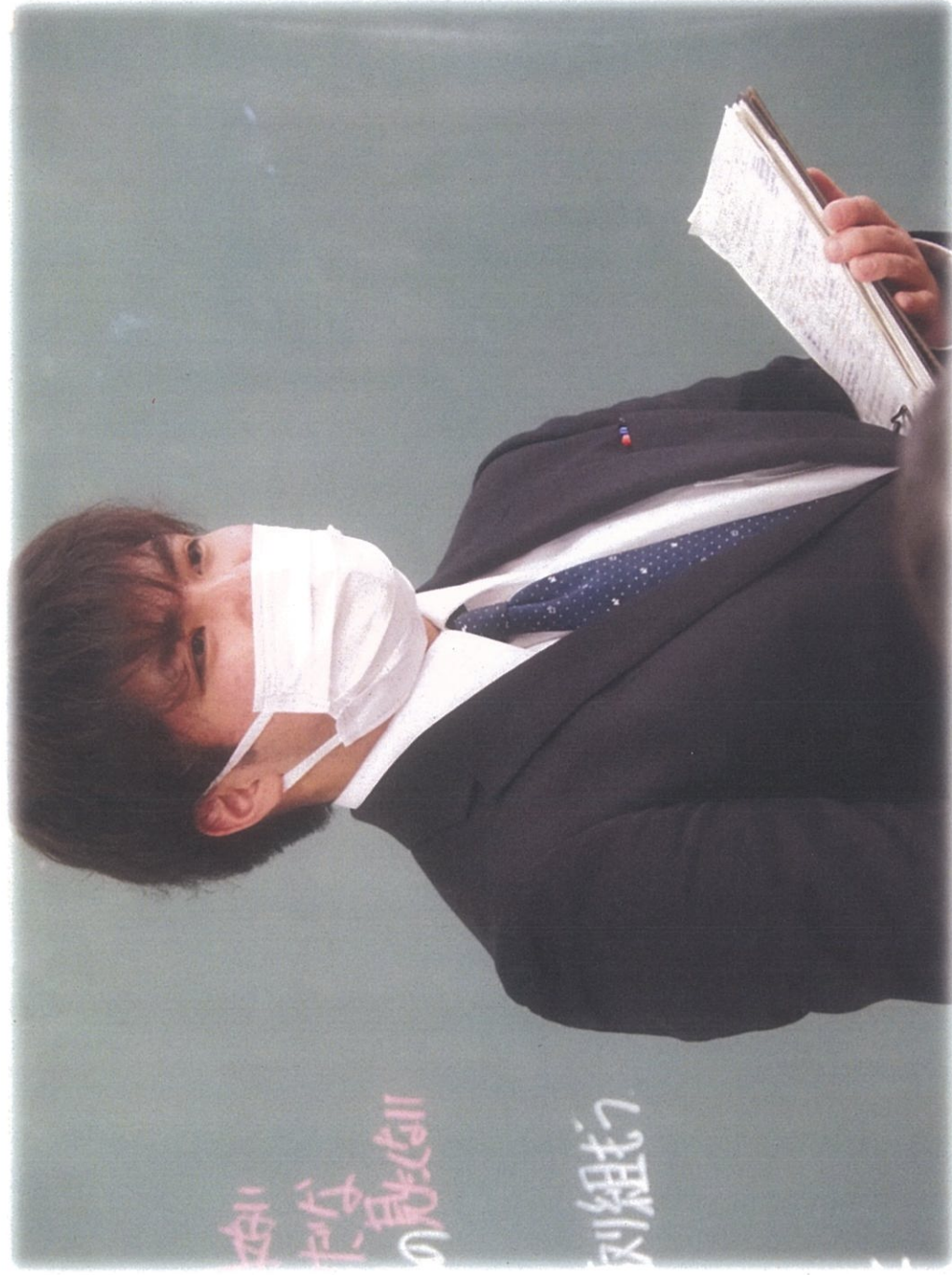
訓練の目的と意義

引き渡し訓練で、担任がどんな手順で何を確認しながら、行っているかを見取る。児童の安心安全を守るために必要なことを考えるチャンス。



授業は楽しい

本実習予定の3本の授業を超えてどんどん授業をする。最後までチャレンジする姿が頼もしい。「授業は楽しい」の言葉が充実した4週間を表している。



R7. 11. 11 6年生授業の様子

鍛金東

子供にとってよりよい授業になるように
考えて授業に臨む。うまくいったことも
いかなかったことも全てが糧になる。授
業力を鍛えようとする意識の高まり。



R7. 6. 5 読書会

公を意識する

ひるやすみのスマイルガーデン。しずかに本を読むふたり。スマイルガーデンのすごし方がよく分かっています。公の意識が大きくなっていますね！



R7. 5. 29 2年生算数の授業

きょう力してかいけつ

長さをはかりたいけど、ものさしが足りない！どうする？ものさしをつなげば、はかれる。友だちと力を合わせてかいけつできた！



前むき

教える人もしつもんする人も学習することの前むき人です！しんげんな目と手に、**学習や友だちに對して、前むきな心**があらわれていますね。

小学校のじまんは？



しんせつにするとき大せつなことは

R7. 11. 12 2年生学年会の様子

学級経営に目を向ける

教室に掲示してある「価値語」について、目的や取組方を質問する。進んで学級経営について目も目を向け、学ぼうとする姿。毎朝のフリートークにも目的がある。



R7. 11. 12 2年生授業の様子

実習生を採せ

教室を見ると、実習生の姿がない…？いやいやよく見ると、こんなところに。しっかり子供の側で膝について見取っています。すてきな見取りの姿です。



R7. 11. 12 2年生授業の様子

全力投球

これまで積み上げてきた実習の成果を生かして、全力で授業をする。一生懸命にひたむきに授業に取り組み姿がカッコいい。



R7. 11. 12 4年生授業の様子

学び取る

待っているのではなく、自分から学び取りに行く。最後まで、子供たちや担当の先生から、たくさんのことを学び続けようとする姿が素晴らしい。



R7. 11. 12 2年生グローバルタイムの様

覚悟を持って

いよいよ実習も残り少なくなってくる。

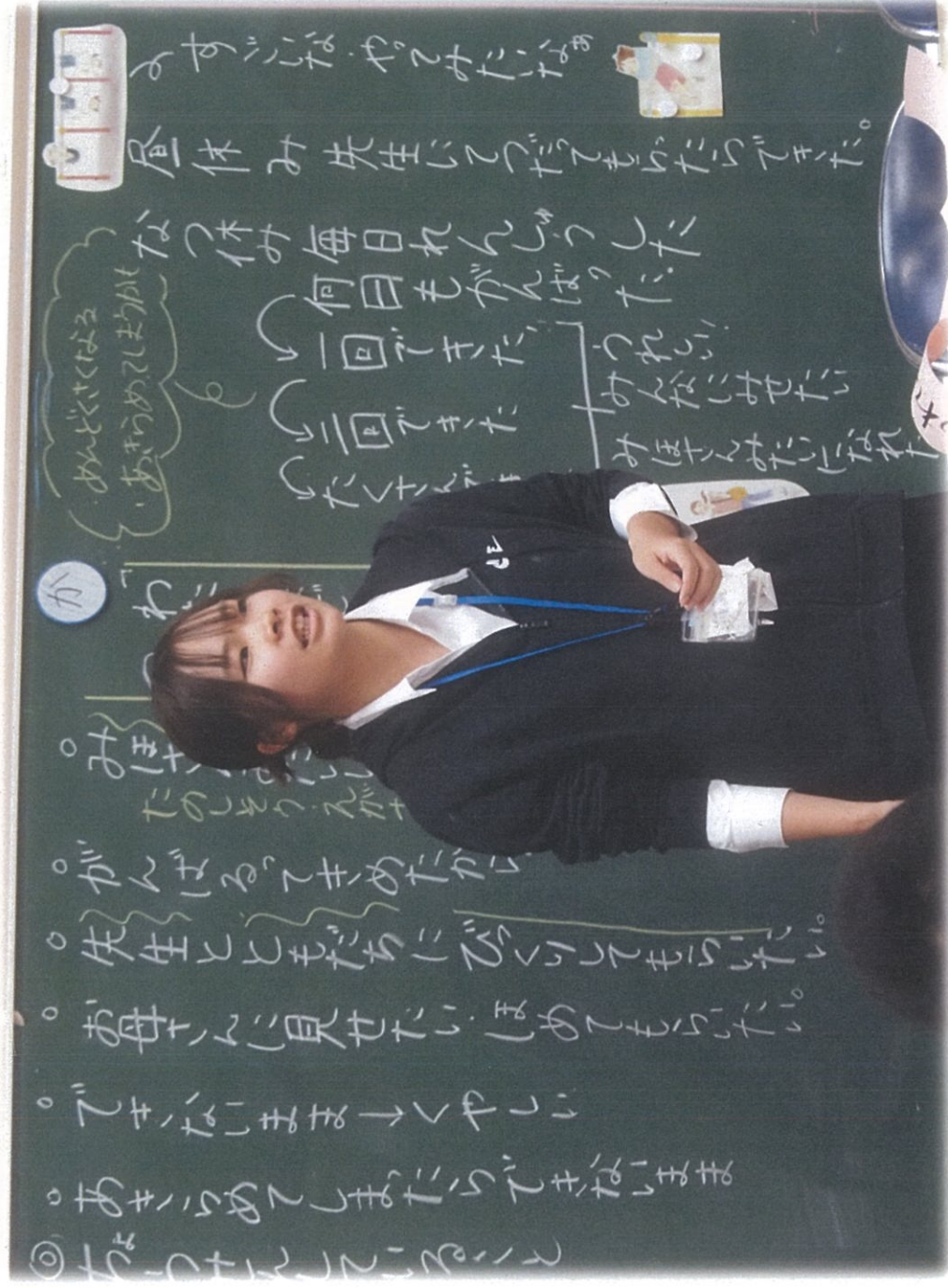
最後まで自分の実習への思いや願いを持って、実践に取り組む。残りの時間を最大限に生かそうとする覚悟が感じられる。



R7. 11. 12 4年生授業の様子

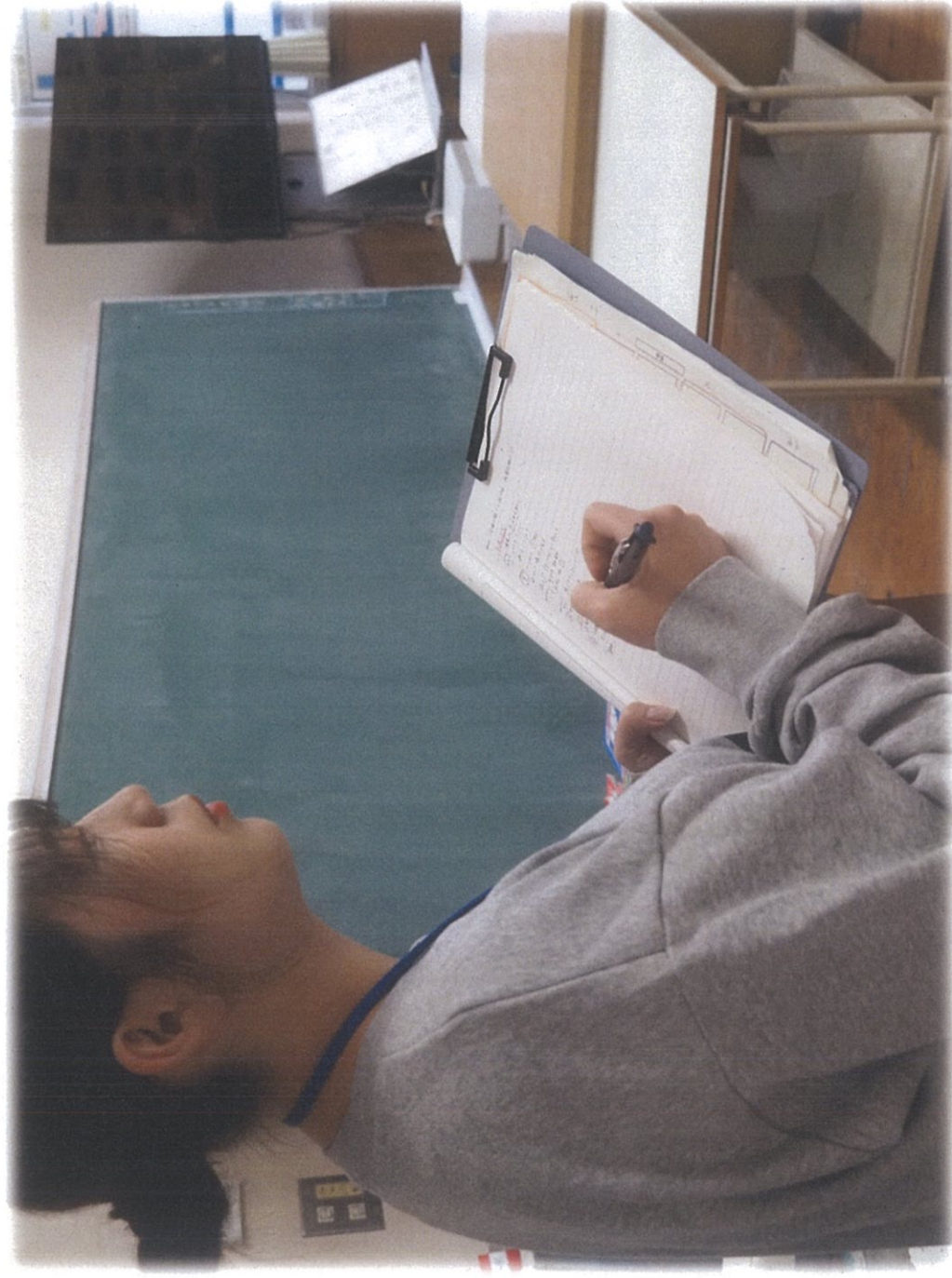
本気の本気に学いぶ

附小が校内研究で取り組んでいる自己調整学習の様子を附小の先生の授業から学いぶ。本気の本気の授業からは、新しい学いぶことが多かったことでしょう。



生
体
主
✓
舞

予定の本実習3本の授業を終えて、さらにもう1本授業をやる。実習中にできることを精一杯やっておこうとする姿勢に、学びへの意欲が表れていました。

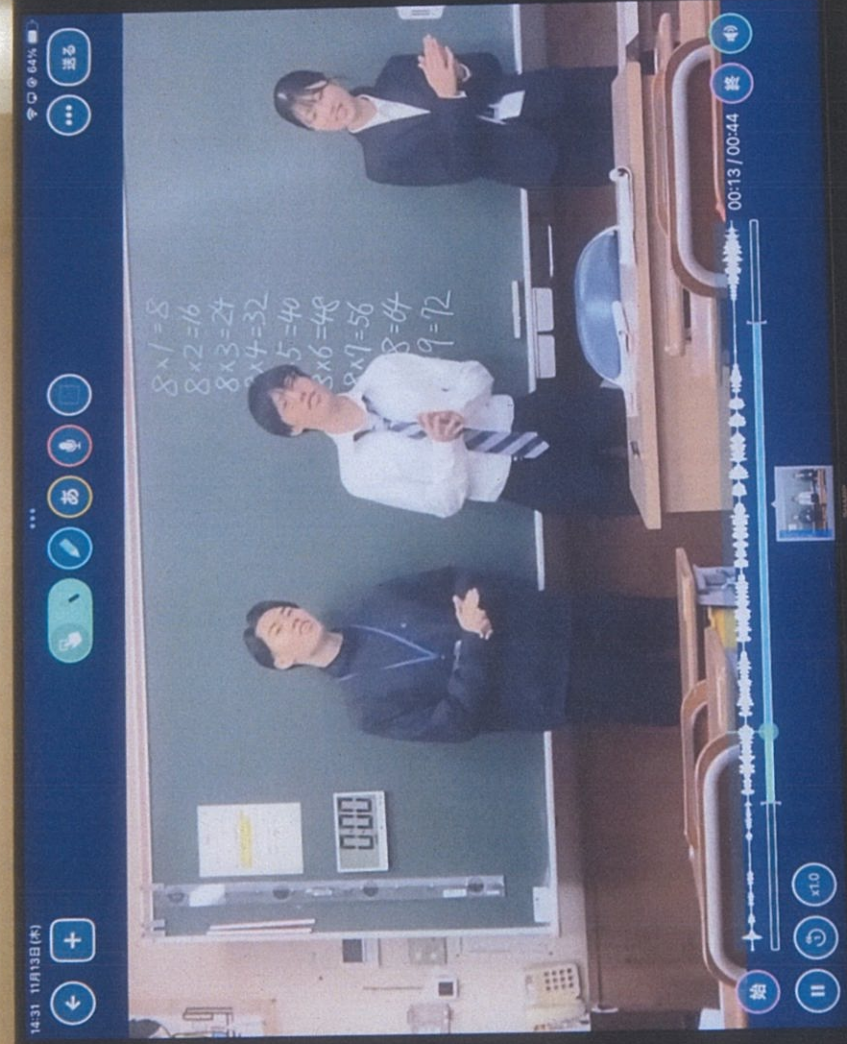


R7. 11. 13

3年生朝の会の様子

聴く姿を価値付ける

フリートークでめざすことは、あたたがい受容的な雰囲気を学級につくること。そのために大切なのは聴くこと。よく聴いている子供の姿を見取り価値付ける。



R7. 11. 13

2年生授業の様子

定着のための工夫

かけ算九九を定着できるようにするために、「九九の歌」の動画を作成する。身近な実習の先生の明るい動画に、子供たちも楽しく復習ができる。見事な手立て。

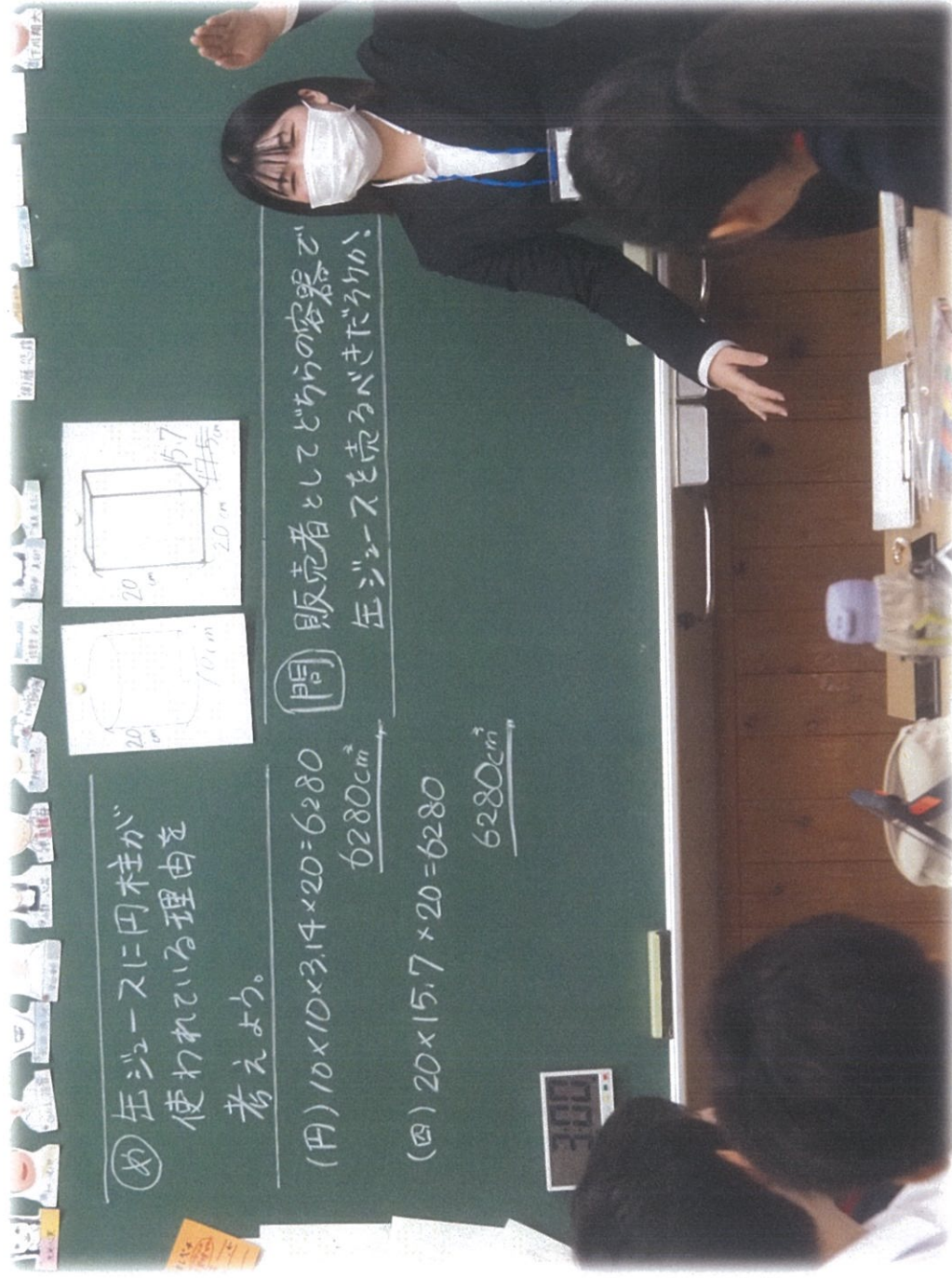


R7.11.13

単元設定の理由書き方講座

最後まで学び続ける

指導案の「単元設定の理由」の書き方を学び。教材観、児童観、指導観を書いてみる。難しいけれど、この3週間の学びがあれば分かることも多かったはずです。



R7. 11. 13 6年生授業の様子

課題解決的な学習

グループを会社に見立て、体積が同じ角柱と円柱のジュースの缶、どちらを選ぶかを算数的に考える。必要感を持ち、意欲的に学習に取り組む課題。



R7. 11. 13 キラキラ掃除の様子

期待する

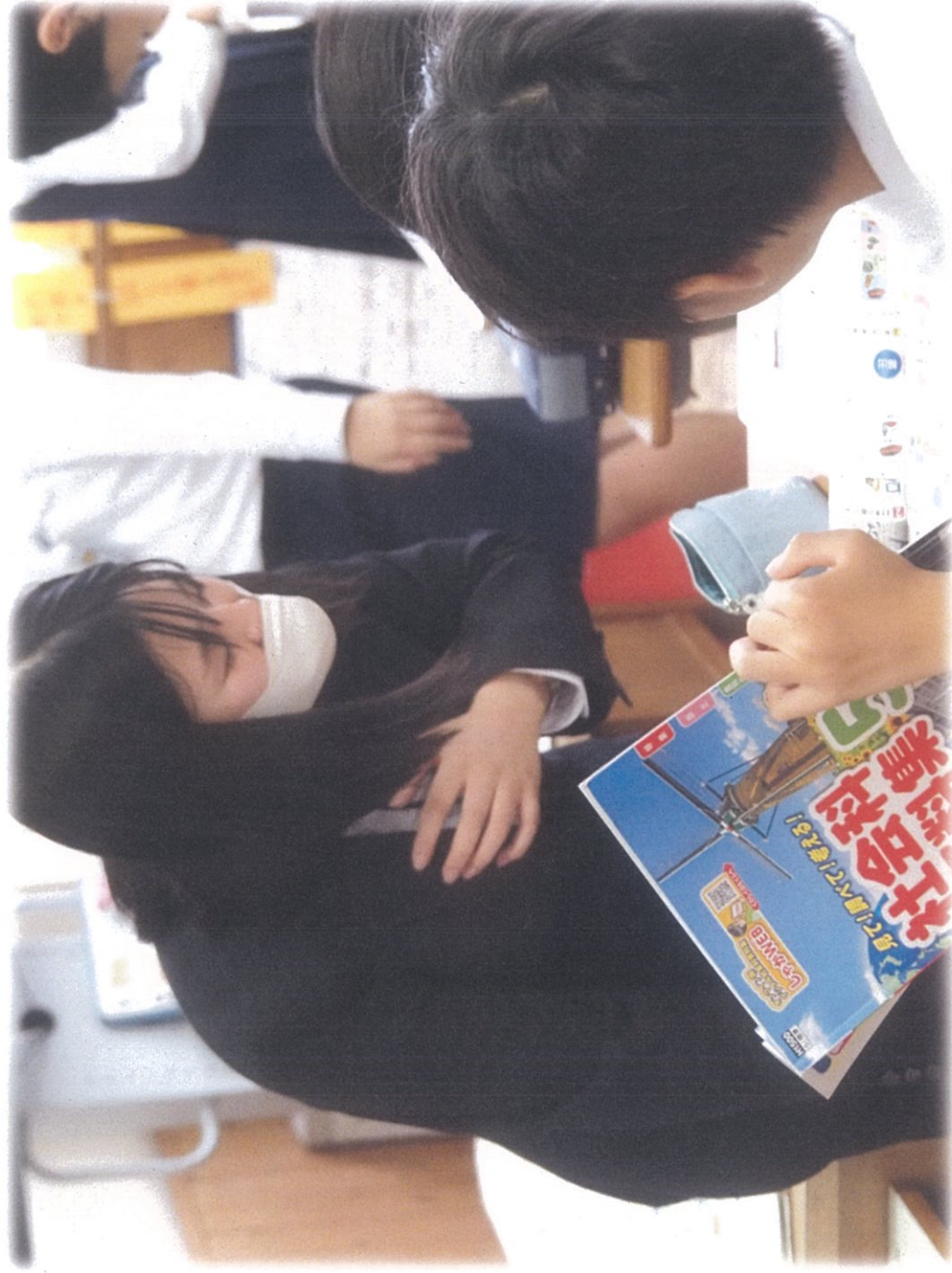
実習最後の掃除の振り返り。現状の様子と今後への期待を語る。子供たちにとって、期待されることは、明日からの実践意欲に大きくつながる。



R7. 11. 13 2年生授業の様子

ここできしか学べないこと

今、できることを精一杯考えて、最後まで自分たちで協力してやり切る。ここできしかできない貴重な学びを得ている。大きな成長と頼もしさを感じる。



R7. 11. 13 5年生授業の様子

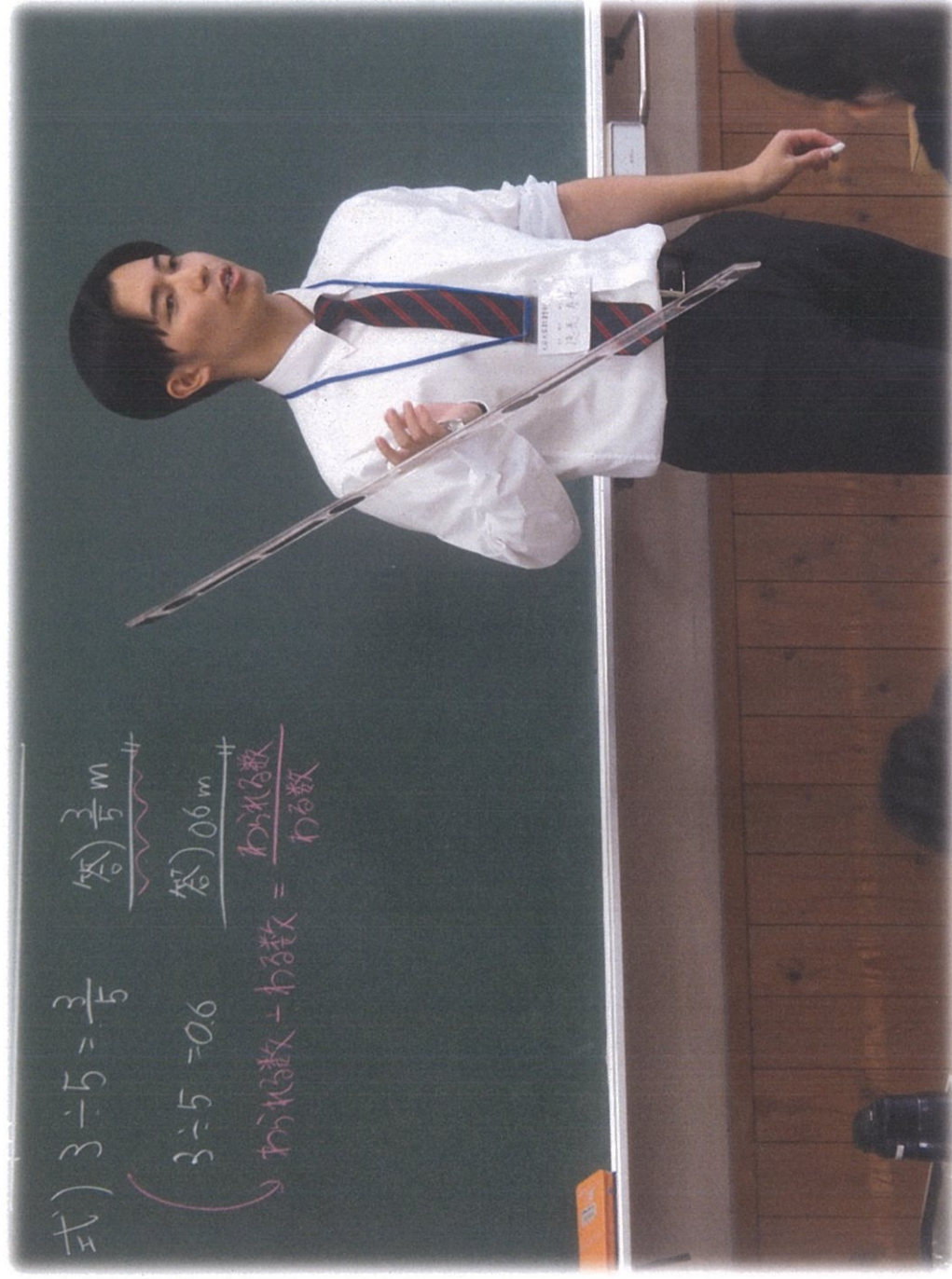
資料をもとに

日本の貿易について、資料をもとにして
考えることができるようにする。しっか
りとした根拠を持って、自分の意見を考
えることが社会の授業では重要です。



おかわり

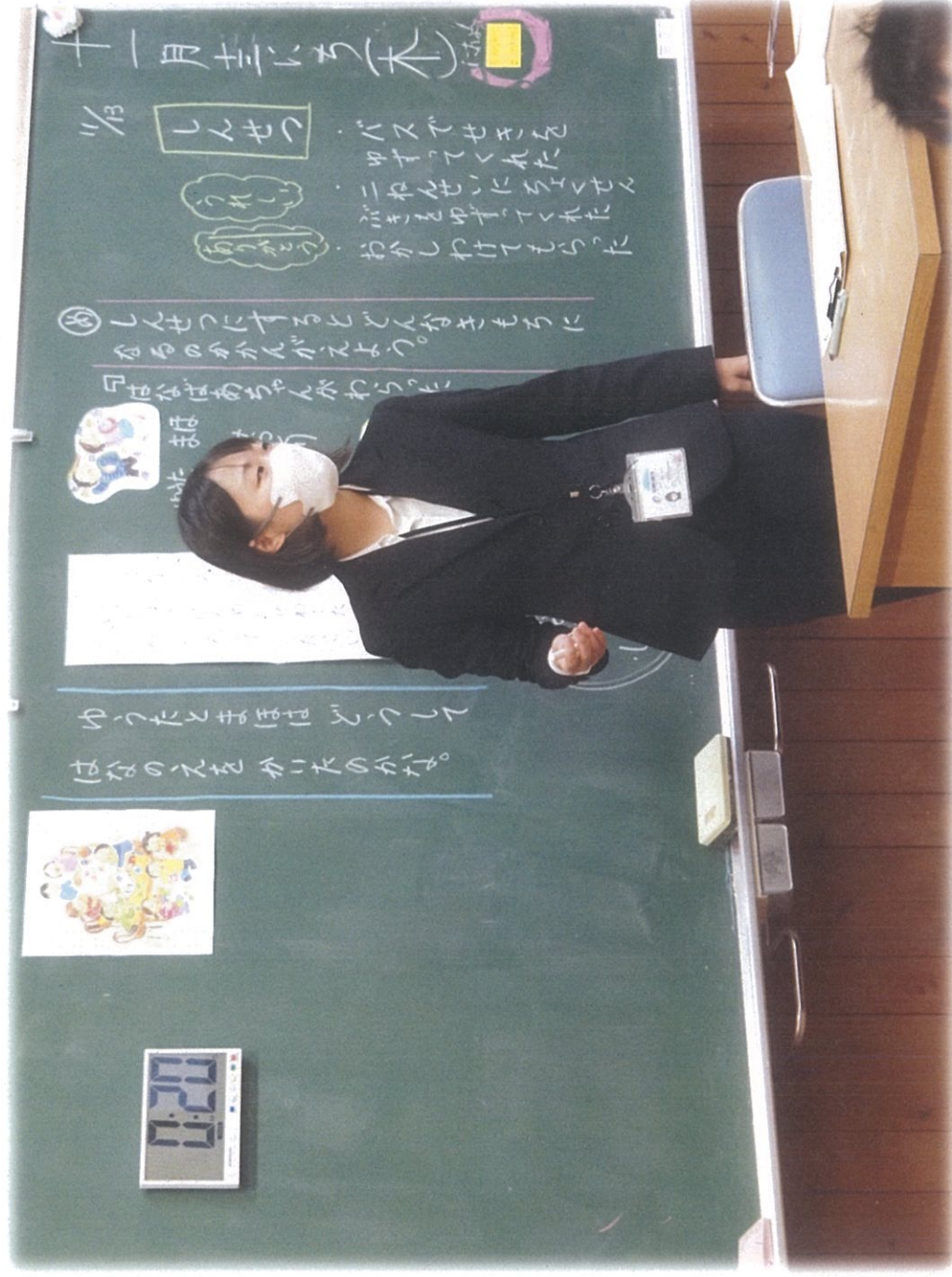
授業に最後まで、どんどん取り組んでいく。やってみたい新しい教科にもチャレンジする。その学びに対する積極的な姿勢が、自分を育てていく原動力に。



R7. 11. 13 5年生授業の様子

前に進む

授業に何度もチャレンジし、積み重ねていくことで、授業力も自信も付いてくる。向上心を持ち、前に進んでいくとする強い意志を感じる。



R7. 11. 13 1年生授業の様子

自分の生活とつなぐ

子供たちが自分事として考えることがで
きるように導入や問い返しの発問等を工
夫する。1時間を通し、教材と自分の生活
とつなぐことが、道徳では大切です。

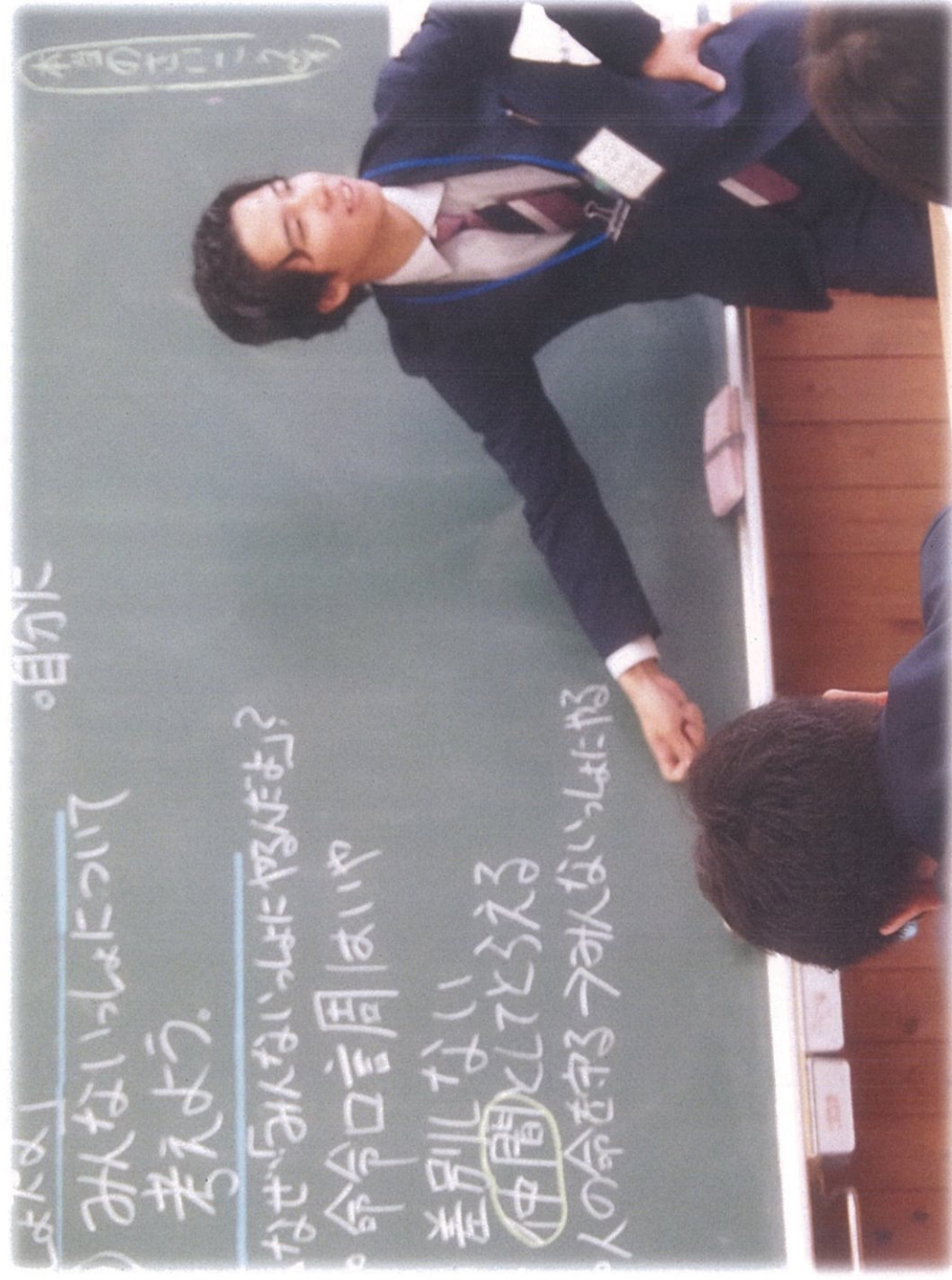


R7. 11. 13

下校時の様子

また明日

下校時の子供たちとの会話。楽しそうな様子に、充実した一日だったことが感じられる。一日の最後を笑顔で締めくくることが、明日の学校生活の活力に。



R7. 11. 13 6年生授業の様子

Full Swing

全力で授業に挑む。思いっきりやってみ
たからこそ分かることがある。授業を振
り返り、よさと課題の原因を分析するこ
とが、これからの成長に。



R7. 11. 13 キラキラ掃除の様子

成長を見取る

前回の掃除の様子と比べ、よくなったことを伝える。成長した姿を見取り、価値付けること、子供たちのやる気がアップしますね。



R7.11.14 終末反省会

達成感

教育実習4週間の経験を語る。一生懸命に取り組んだ成果。価値ある人生経験ができましたね。みんな達成感にあふれたいい笑顔でした。



R7.11.14

終末反省会

ふりかえる

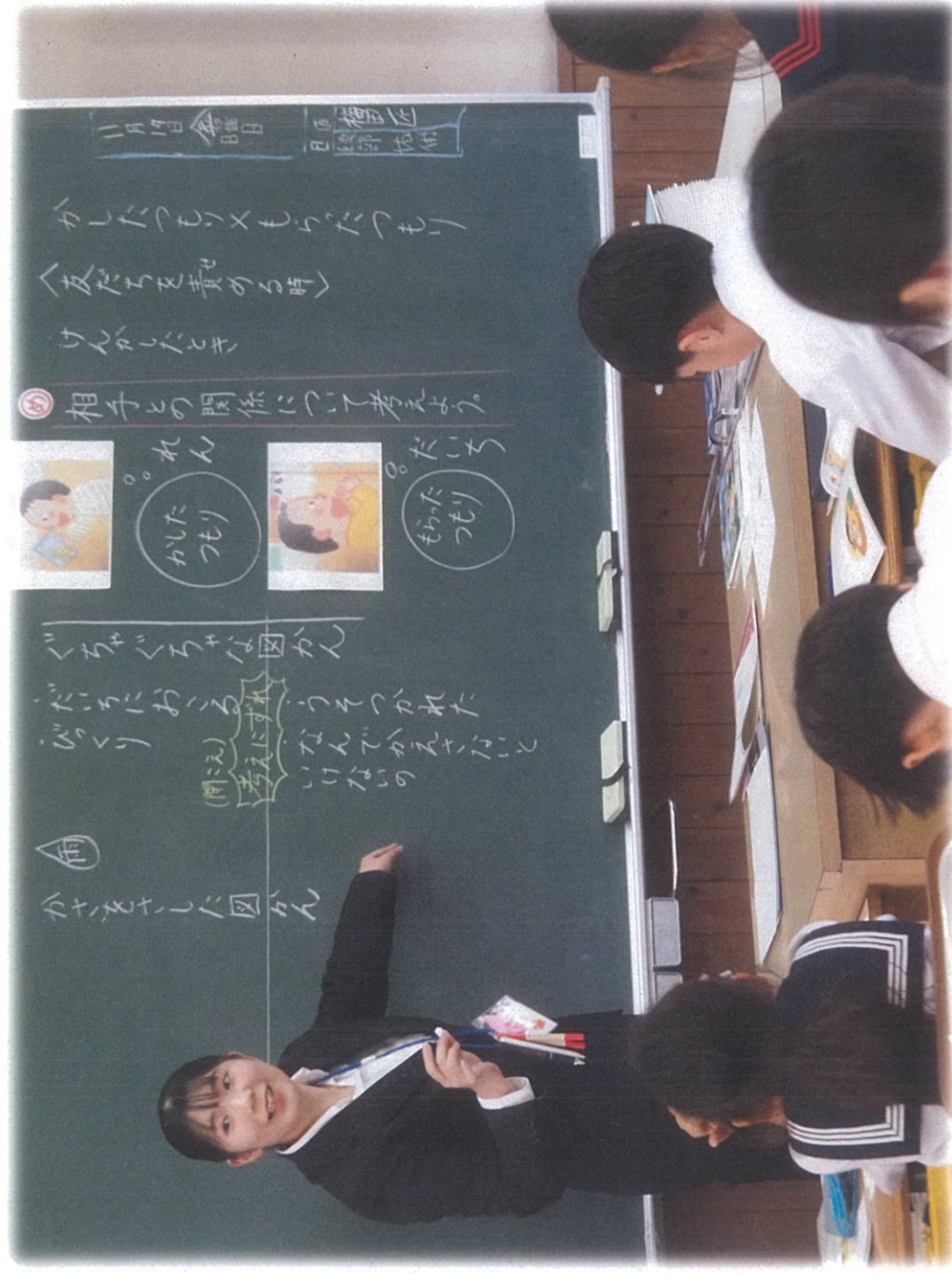
4週間の学びをふりかえる。様々な体験を経験から学びに。実習期間中の自分たちを見つめ直す。多くの成果・課題があり過ぎてまとめるのに困る程でした。



R7.11.14 終末反省会

先輩に学ぶ

終末反省会で、校長先生の話聴く。多くの経験を積んできた先輩の言葉一つ一つが、これからの人生の道標になるはずだ。



R7. 11. 14 3年生授業の様子

集大成

最終日まで、道徳の授業にチャレンジする。これまで吸収した4週間の学びを生かした集大成の授業でした。大きな成長の足跡。